

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

ベーシックインターナビ／ベーシックナビ

VXM-145VSi/VS

エントリーナビ

VXM-145C

ナビゲーション・オーディオ編



Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
ご購入いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによく読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/O401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お問い合わせのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。



アドバイス

- お車や本機のために守っていただきたいこと。
守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
- 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

A-1

アルファベットは章、数字は章のページを表します。



お願い

お車のために守っていただきたいことを表します。



参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。

MENU

パネル部のボタンを表します。

名称

タッチパネル部のボタンを表します。



画面上でタッチパネル操作を表します。

使用上の注意事項等

- 本機の操作
 - ・ 運転中の操作は避け、停車して行ってください。
 - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりSDカードやUSB機器内などの保存データの消失等については補償できません。

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書では代表としてVXM-145VSiのイラスト／画像を記載しています。
機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

VXM-145VSi : **VXM-145VSi**

VXM-145VS : **VXM-145VS**

VXM-145C : **VXM-145C**

型式	機能
VXM-145VSi	  Made for  iPod  iPhone <i>internavi LINC</i> Premium Club
VXM-145VS	  Made for  iPod  iPhone
VXM-145C	 Made for  iPod  iPhone 

●BLUETOOTH[®] 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。



T

R

A13-0088005
005-100454

もくじ

本書の見かた	3
もくじ	5

はじめに A-1

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-6
各部のなまえとはたらき	A-11
メニュー画面の操作方法	A-12
ディスプレイの角度を調整する	A-14
ディスクやSDカードを入れる／取り出す	A-14
文字／数字の入力方法について	A-16
本機を起動する	A-18

ナビゲーションの基本操作 B-1

地図画面の見かた	B-2
地図表示(方位)を切り替える	B-4
地図をスクロールする(地図を動かす)	B-5
地図を拡大／縮小する	B-7
現在地を表示する	B-8
Quick MENUを設定する	B-9
Quick 機能について	B-10
自宅を登録する	B-12
地点を登録する	B-13
右画面に地図／情報を表示する	B-14

目的地を探す C-1

名称で目的地を探す(施設50音)	C-2
電話番号で目的地を探す	C-4
住所で目的地を探す	C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する	C-7
周辺にある施設から目的地を探す	C-8
表示できる施設	C-10
施設のジャンルから目的地を探す	C-12
登録地点で目的地を探す	C-16
マップコードで目的地を探す	C-17
郵便番号で目的地を探す	C-18
地図から目的地を探す	C-18
緯度・経度で目的地を探す	C-19
スマートフォンアプリNaviConについて	C-20

ルート探索をする D-1

ルート設定について	D-2
ルート探索をする	D-4

クイック ルート探索をする	D-6
ルートを変更する	D-7
ルート案内をストップ／スタートする	D-12
現在のルートを表示する	D-12
現在のルートを保存する	D-13
現在のルートを削除する	D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
渋滞地点を確認する	D-14
経由地をスキップする	D-14
デモ走行をする	D-15
迂回探索をする	D-16
再探索をする	D-17
ルート探索条件の設定をする	D-18

情報を見る E-1

ETC 情報を見る	E-2
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-3
交通情報(VICS 情報)の画面	E-4
一般情報の画面	E-6
緊急情報を見る	E-7
交通情報／一般情報を選局する	E-8
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)呼び出しをする	E-12
プリセット(保存)の上書きをする	E-12
internavi 情報について	E-13
本体情報を見る	E-13
eco ドライブ情報を設定する	E-14

ナビゲーションの設定 F-1

地図画面の設定をする	F-2
地図の色を設定する	F-4
表示項目の設定をする	F-5
ルート案内画面の設定をする	F-7
ランドマーク表示の設定をする	F-14
自車マークの種類を設定する	F-15
現在地(自車)の位置を変更する	F-16
VICS 表示の設定をする	F-17
音声案内の音量調整／詳細設定をする	F-18
平均時速を設定する	F-20
登録地点の編集	F-21
登録地点を並び替える	F-25
自宅／登録地点の位置を修正する	F-27
自宅／登録地点を削除する	F-28
SD カードから地点を登録する	F-29
パーソナルHP と同期について	F-30
軌跡を使う	F-31

各種設定をする G-1

internavi 設定について	G-2
オプションボタンの設定をする	G-2
メンテナンス情報を設定する	G-3
ETC の各機能を設定する	G-7
セキュリティを設定する	G-9
フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する	G-10
リアカメラ映像を設定する	G-17
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	G-22
キー操作音の設定をする	G-23
データを初期化(消去)する	G-24
時計表示の設定をする	G-25

オーディオ／共通 H-1

基本操作	H-2
選曲／早戻し／早送りをする	H-4
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生	H-5
時計を表示する	H-8
音量を調整する	H-8
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	H-9
動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える	H-9
映像の調整のしかた	H-10
音声はそのまま画面を消す	H-13
フェード・バランスの調整をする	H-14
イコライザー(音質)の設定をする	H-16
サラウンドの設定をする	H-18
車速連動音量を設定する	H-19

FM／AM を聞く I-1

各部のなまえとはたらき	I-2
FM／AM 放送を切り替える	I-3
選局する	I-3
プリセットボタンにメモリーする	I-7
交通情報を受信する	I-8

CD・MP3／WMA を聞く J-1

各部のなまえとはたらき	J-2
好きなフォルダを選ぶ (MP3／WMA の場合)	J-2
好きなトラックを選ぶ (CD・MP3／WMA の場合)	J-3

USB 機器／SD カードを使う K-1

各部のなまえとはたらき	K-2
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	K-3
選曲モードより選ぶ	K-5
USB 機器を接続する	K-7
画像ファイルを表示させる	K-8
動画ファイルを再生する	K-10

iPod／iPhone を使う L-1

各部のなまえとはたらき	L-2
好きなトラックを選ぶ	L-3
選曲モードより選ぶ	L-4
再生を一時停止する	L-9
映像データを再生する	L-10
再生したい映像データを選ぶ	L-11
iPod／iPhone を本機に接続する	L-13

BLUETOOTH Audio を聞く M-1

初期登録設定	M-2
各部のなまえとはたらき	M-8
好きなトラックを選ぶ	M-9
選曲モードより選ぶ	M-10

DVD を見る N-1

各部のなまえとはたらき	N-2
DVD プレーヤーを使う	N-3
DVD の初期設定について	N-18

ワンセグを見る O-1

各部のなまえとはたらき	O-2
ワンセグを見る	O-5
中継・系列局サーチをする	O-6
番組表を見る	O-7
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	O-8
スキャンする	O-10
選局する	O-12
プリセットボタンにメモリーする	O-16
チャンネルリスト／プリセットリストを クリアする	O-18
設定をする	O-19

VTR / AUXを使う P-1

各部のなまえとはたらき	P-2
接続する	P-3

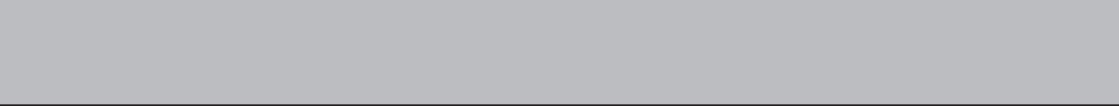
ハンズフリーを使う Q-1

初期登録設定	Q-2
電話を受ける	Q-14
電話をかける	Q-19
発着履歴を削除する	Q-24
通話中に地図画面を表示する	Q-24
QQ コールを利用する	Q-25
QQ コールを表示する	Q-25
Siri Eyes Free機能を使う	Q-27

必要なとき R-1

初期設定一覧	R-2
個人情報取り扱いについて	R-5
オーディオ / テレビ / ラジオの設定について	R-5
GPS 衛星の電波受信と測位	R-6
自律航法とマップマッチング	R-7
交通情報 (VICS 情報) について	R-8
交通情報 (VICS 情報) / 一般情報の受信に ついて	R-9
音声案内について	R-10
ETC について	R-11
ディスクの取り扱いかた	R-12
本機で再生できるディスクについて	R-13
SD カードの取り扱いかた	R-15
SD カードについて	R-16
USB 機器について	R-17
iPod / iPhone について	R-18
BLUETOOTH Audio について	R-19
ハンズフリーについて	R-20
音楽ファイル (MP3 / WMA / AAC) について	R-22
画像ファイル (JPEG) について	R-26
動画ファイル (MPEG4 / H.264) について	R-26
ワンセグについて	R-28
ワンセグの番組受信について	R-29
オーディオ リモコン スイッチ	R-30
地図ソフトについて	R-32
出発地・経由地・目的地の設定について	R-36
ルート案内時の注意点	R-38
地図に表示される記号	R-42
市街地図 (10 m / 25 m / 50 m スケール) の 収録エリア	R-44

VICS についてのお問い合わせ	R-48
故障かな? と思ったら	R-52
メッセージ表示について	R-69
用語説明	R-74
構成内容	R-78
主な仕様	R-79
別売品 (システムアップ) について	R-80
保証 / アフターサービスについて	R-82
商標など	R-83
さくいん	R-85



A

はじめに

はじめに

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-6
各部のなまえとはたらき	A-11
CLOSE 状態	A-11
OPEN 状態	A-11
メニュー画面の操作方法	A-12
AUDIO メニューの表示のしかた	A-12
目的地メニューの表示のしかた	A-12
トップメニューのボタンを変更する	A-13
ディスプレイの角度を調整する	A-14
ディスクやSDカードを入れる／取り出す	A-14
文字／数字の入力方法について	A-16
ひらがな／カタカナ／英数を入力する	A-16
漢字を入力する	A-16
数字を入力する	A-17
訂正する	A-17
本機を起動する	A-18

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



分解禁止

当商品を分解したり、改造しない
故障の原因となります。



注意



取り付け(取り外し)や配線は、Honda販売店に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります
ので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

ご使用になるとき

 警告**実際の交通規制に従って走行する**

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。

リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

フロントカメラ／コーナークメラはあくまで運転の補助手段として使用する

直接目視による安全確認をしながら運転してください。

運転者がテレビなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する

テレビは安全のため走行中は表示されません。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

**テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない**

車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ご使用になるとき

警告



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

安全のため運転者は、走行中に操作しない、また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする

前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

注意



ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

長時間で使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出す

長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。

ご使用になるとき

 注意

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない

火災の原因となることがあります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れて、ケガの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをす
るおそれがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

温度について

- 極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに結露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にいくと、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路(道幅5.5 m未満の道路)を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中でも細街路を表示します。
 - ・車のセレクトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

＜ディスプレイ部の清掃＞

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

＜本体の清掃＞

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

GPS アンテナについて

- GPS アンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPS アンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS 衛星の電波を受信できなくなります。
- GPS アンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPS アンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

外部接続機器(USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話)について

- USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器／iPodが接続されているときに、USB機器／iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSB機器などは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がちぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

その他

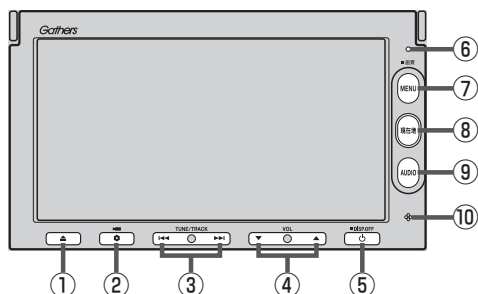
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミなど異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやテレビ、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

その他

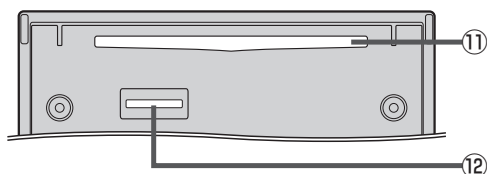
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出るがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

各部のなまえとはたらき

CLOSE 状態



OPEN 状態



① ㊦ ボタン

ディスク／SD カードの出し入れをするときに押します。

② ㊦ ボタン(オプション)

オプションボタン設定画面で選んだ機能の操作をします。

③ ㊦／㊦ ボタン

- 短押しで以下の操作になります。
 - 曲／ファイル：頭出し
 - FM／AM：選局
 - ワンセグ*¹：選局
 - DVD*¹：前後のチャプターへ移動
- 押し続けると以下の操作になります。
 - 曲／ファイル：早戻し(⏮)、早送り(⏭)
 - FM／AM：早戻し(⏮)、早送り(⏭)
 - DVD*¹：早戻し(⏮)／早送り(⏭)(再生中)
 - スロー戻し(⏮)*²／スロー送り(⏭)(一時停止中)

④ ㊦／㊦ ボタン(VOL)

オーディオの音量を調整します。

⑤ ㊦ ボタン

- オーディオ操作を ON／OFF するときに使います。
- 長押しで画面を消します。

⑥ セキュリティインジケータ

セキュリティコード設定時に点滅します。
(盗難抑止効果)

⑦ MENU ボタン

- メニュー画面を表示します。
- 長押しすると画質調整画面を表示します。
- DVD 視聴中に操作ボタン 1 表示画面を表示します。*¹

⑧ 現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。

⑨ AUDIO ボタン

AV MENU 画面または、選択中のオーディオ画面を表示します。

⑩ マイク

ハンズフリー通話で使用します。

⑪ ディスク挿入口

⑫ SD カード挿入口

* 1…VXM-145VSi／VS の場合

* 2…VR モードではスロー戻しに対応していません。

メニュー画面の操作方法

本機のほとんどの操作はメニュー画面から行います。

AUDIO メニューの表示のしかた

MENU を押してトップメニューを表示します。

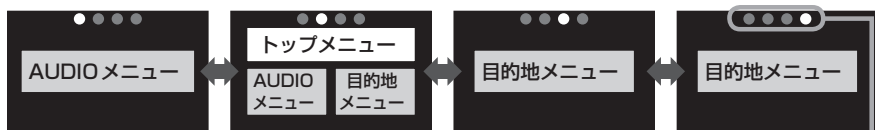


目的地メニューの表示のしかた

MENU を押してトップメニューを表示します。



- 各メニューは下図のように配置されています。
トップメニューには、AUDIO メニュー／目的地メニューの各4ボタンが表示されています。



メニューの現在の位置を表示

各メニュー画面共通で表示される項目について

- 携帯電話** …携帯電話の設定や発着信などのメニューが表示されます。
- 情報** …FM多重やecoドライブなどのメニューが表示されます。
- internavi LINC PremiumClub** *1…インターナビ・リンク プレミアムクラブのメニューが表示されます。
- 設定** …各種設定メニューが表示されます。
- ルート** …ルート編集などのメニューが表示されます。

* 1…VXM-145VSi の場合

トップメニューのボタンを変更する

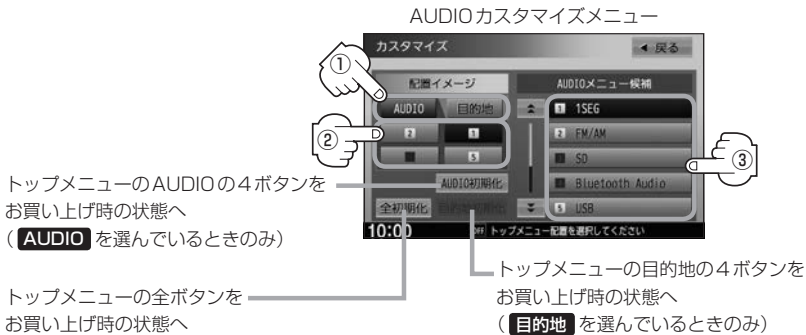
トップメニューに表示する AUDIO メニュー／目的地メニューの各 4 ボタンをお好みで設定できます。

- 1 AUDIO メニュー( A-12)／目的地メニュー( A-12)から **カスタマイズ** をタッチする。

：カスタマイズメニューが表示されます。

- 2 カスタマイズの操作をする。

- ① 配置イメージからカスタマイズしたいメニュー(**AUDIO** ／ **目的地**)を選び、タッチする。
- ② カスタマイズしたいボタンを選び、タッチする。
- ③ 右側のメニュー候補から設定したい機能を選び、タッチする。



- 3 **MENU** を押す。

：設定したボタンがトップメニューに表示されます。

ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を手動や工具を使って無理やり調整しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

1

を押す。

: TILT / EJECT画面が表示されます。

2

またはをタッチする。

※ディスプレイの角度を5段階に調節できます。



アドバイス

車のエンジンスイッチをO(ロック)にすると、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイが開きます。

ディスクやSDカードを入れる／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

1

を押す。

: TILT / EJECT画面が表示されます。

2

OPEN をタッチする。

: ディスプレイが開きます。



DISC IN : ディスク挿入済み
NO DISC : ディスク未挿入

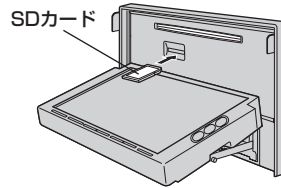
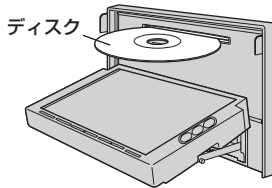
3

■ ディスク／SDカードを入れる

① ディスク／SDカード挿入口にディスク／SDカードを挿入する。

：挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。

※ SDカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



■ ディスクを取り出す

① **DISC EJECT** をタッチする。

：ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

② を押す。

：ディスプレイが閉じます。



■ SDカードを取り出す

① SDカードを1回押して取り出す。

② を押す。

：ディスプレイが閉じます。



アドバイス

- ディスプレイが開いたまま、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。
- 長時間ディスク／SDカードを挿入していると、ディスク／SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- ディスク挿入時に  を長押しすると、自動でディスクが押し出されます。

文字／数字の入力方法について

入力する場面によっては、入力できる文字の種類に制限があります。画面に表示されるボタンは、入力する画面によって異なります。

(例)施設名称検索(「 C-2」)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。

ひらがな／カタカナ／英数を入力する

1 入力したい文字の種類を選ぶ。



タッチするたびに
→ **かな** → **英数** → **かな** と切り替わります。

2 文字を入力し、**決定** をタッチする。

※ひらがなのままでよい場合は、**無変換** → **決定** をタッチしてください。
決定 が暗くなっている場合は、**無変換** / **変換** をタッチしてください。

※小文字に変換したい場合は、**小文字** をタッチしてください。
(パレットが変更可能な文字のみ小文字に変わります。)

漢字を入力する

1 ひらがなで文字を入力し、**変換** をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。



2 変換したい漢字を選び、**決定** をタッチする。

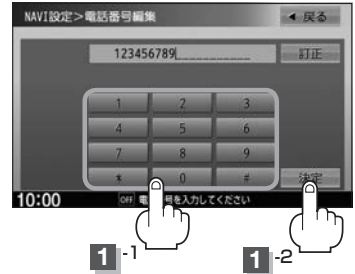


アドバイス

-  /  をタッチして変換する文字の範囲を選ぶことができます。
-  をタッチすると1文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。
- 設定を変更するときは **決定** をタッチして設定を保存してください。 **決定** をタッチしないで **現在地** / **MENU** を押すまたは **戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

数字を入力する

- 1 数字を入力し、**決定** をタッチする。



訂正する

入力した 1 文字を訂正	訂正 をタッチ
全ての文字を訂正	訂正 を長めにタッチ
途中の文字を訂正	← / → をタッチし、訂正したい文字の右側へカーソルを移動 → 訂正 をタッチ

本機を起動する

1

車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)
またはⅡ(ON)に入れる。

：起動初期画面が表示され、しばらくすると現在地の
地図が表示されます。

起動初期画面



自転車マーク

現在地表示画面



「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチを
0(ロック)にする前に表示していたモードの画面になります。
地図画面を表示しなかった場合は、**現在地**を押してください。

バッテリーまたは本機を一度車から外した場合

起動初期画面の後に、セキュリティコード入力画面が表示されます。下記操作を行ってください。

① 数字をタッチしてセキュリティコードを入力し、

決定 をタッチする。

：現在地の地図が表示されます。

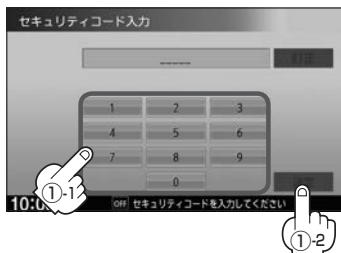
※規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。

※セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが
記載されています。セキュリティコード入力画面が
表示されたら、5桁の数字を入力してください。

セキュリティカードは、なくさないよう保管してく
ださい。セキュリティコードを忘れたり、セキ
ュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの
Honda販売店までお問い合わせください。

※セキュリティコードを変更することはできません。

※起動時のセキュリティコードの入力を省略するには **OFF** G-9



- 実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業株式会社本社付近を表示します。
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

B

ナビゲーションの基本操作

地図画面の見かた.....	B-2	
タッチパネル部について.....	B-2	
画面の表示内容について.....	B-3	
地図表示(方位)を切り替える.....	B-4	
地図をスクロールする(地図を動かす).....	B-5	
平面地図でスクロールする.....	B-5	
3D表示画面でスクロールする.....	B-6	
地図を拡大／縮小する.....	B-7	
現在地を表示する.....	B-8	
表示された現在地が実際の現在地と違うときは.....	B-8	
Quick MENUを設定する.....	B-9	
Quick 機能について.....	B-10	
道路切替ボタンの機能について.....	B-10	
自宅を登録する.....	B-12	
地点を登録する.....	B-13	
右画面に地図／情報を表示する.....	B-14	
全画面表示に戻す.....	B-16	

地図画面の見かた

操作するためのタッチボタンやさまざまな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネル部について



① 方位ボタン

地図表示(方位)を切り替えることができます。

[B-4]

② VICSタイムスタンプボタン

- VICS 情報が提供された時刻を表示します。
- 渋滞/規制地点を表示します。

③ internavi ボタン*¹

internavi画面を表示します。

[B-別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編]

④ [ZOOM IN/OUT] ボタン

地図の縮尺スケールを変更します。

スクロール画面



⑤ Quick ボタン

Quick MENUを表示します。

[B-10]

⑥ 戻る ボタン

現在地または1つ前の画面に戻ります。

⑦ 微調整 ボタン

スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)

[B-6]

⑧ 設定 ボタン

設定MENUを表示します。[B-11]

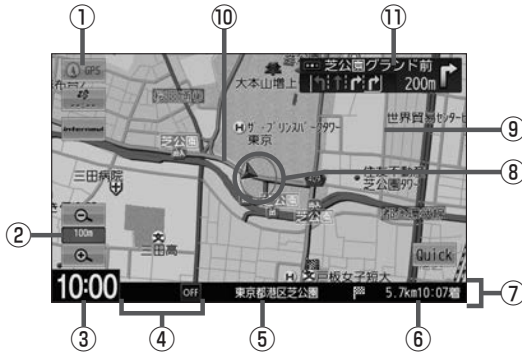
[閉じる] をタッチすると設定MENUを閉じます。

※設定MENU以外の画面をタッチしても閉じることができます。

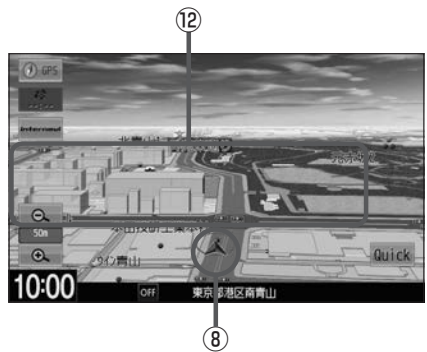
* 1…VXM-145VSiの場合

画面の表示内容について

平面地図画面



3D 地図画面



① GPS 受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。
 青色：現在地の測位ができています。
 灰色：現在地の測位ができていない、
 または測位計算中



アドバンス

測位に時間がかかる場合があります。電源を入れてからしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

② 縮尺スケール

地図のスケールを表示します。

③ 現在の時刻

④ 各種マーク表示

- 再生中のオーディオソースや接続されている機器のマークを表示します。
- ecoドライブを開始したときにマークを表示します。

⑤ 周辺の住所(または道路名)・AUDIO 情報

※どの情報を表示させるか設定できます。

[F-5]

⑥ 目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。

⑦ 情報バー

⑧ 自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

※設定により自車マークを変更することができます。

[F-15]

⑨ 道路

道路の種類を色で区別しています。

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路

灰色(細線)：細街路

青色(点線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。



アドバンス

道路色は「地図切り替え」で選んだボタンによって変わります。上記の色は **ノーマル** を選んだときの色を記載しています。
 [F-4]「地図の色を設定する」

⑩ 設定ルート

ルート探索を行うと、探索されたルートがピンクまたはイエロー(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

[F-8]

⑪ 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。

※お客様の設定によっては表示されません。

[F-7]

⑫ 立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

1 地図画面の方位ボタンをタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

北方向を上

地図の動きが気になるときは、北方向を上
に固定できます。



進行方向を上

進行方向が常に上になるようにして、自車
マークと画面の向きを一致させることがで
きます。走行に合わせて地図が回転します。



3D表示

進行方向は常に画面の上方向になります。



アドバイス

- 設定MENU表示中や目的地検索中などでは、地図表示(方位)を切り替えられない場合があります。

3D表示について

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3D表示の角度調整をすることができます。[設定]「3D表示の角度調整をする」F-3
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図をスクロールする(地図を動かす)

停車中、地図をスクロールして、見たい地域を表示することができます。

平面地図でスクロールする

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1

画面をタッチする。

：画面にカーソル(—|—)が表示されます。



2

地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする

- ① 画面のカーソル(—|—)近くを動かしたい方向にタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする

- ① 画面のカーソル(—|—)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。



アドバイス

- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 走行中は、スクロール操作が制限されます。

地図をスクロールする(地図を動かす)

微調整をする

1 地図をタッチし、**微調整** → 動かしたい方向の矢印をタッチする。

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※以外をタッチするとスクロールしません。

※微調整が終了したら **調整終了** をタッチしてください。スクロール画面に戻ります。

※微調整は平面地図のみ可能です。



3D表示画面でスクロールする

1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(→)とが表示されます。

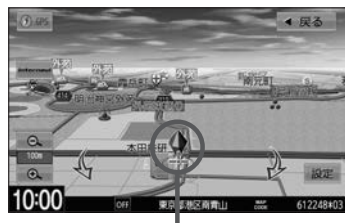
2 動かしたい方向をタッチし続ける。

：カーソル(→)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(→)より遠くなると高速で動きます。

※をタッチして向きを変えることもできます。

：カーソル(→)を中心に右回転(時計まわり)

：カーソル(→)を中心に左回転(反時計まわり)



自車マークはで表示

地図を拡大／縮小する

1

 /  をタッチする。



市街地図(10 m / 25 m / 50 m)表示の
スケールの背景色は茶系色、それ以外は
灰色で表示



広域(縮小)表示

詳細(拡大)表示



タッチしても拡大表示、縮小表示
させることができます。



- 右画面に地図を表示していて右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面上で、同じように操作してください。
- 縮尺ボタンをタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺スケールになったら指を離してください。

現在地を表示する

地図をスクロールしたり、住所などで目的地を探索したあとに、現在地表示に戻すには **現在地** を押します。

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



- 現在地(自車)マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 現在地(自車)マークの位置や角度が間違っている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。

Quick MENUを設定する

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

- 1 現在地表示時に **Quick** → **Quick 設定** をタッチする。

：Quick MENU 設定画面が表示されます。



- 2 配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

Quick MENUの設定を
お買い上げ時の状態へ

選んだメニューを消去

メニューを全て消去



現在設定されている
メニューの配置イメージ

- 3 メニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。



Quick MENUに追加できる機能

- | | | | |
|----------------|------------------|-------------------|----------------------|
| ① 自宅(自宅へ帰る) | ⑨ 登録地点検索(登録地点) | ⑰ 受信番組設定(受信番組) | ㉕ カーマーク設定(カーマーク) |
| ② 地点を登録 | ⑩ 目的地履歴検索(目的地履歴) | ⑱ VICS 文字情報(文字情報) | ㉖ ecoドライブ情報(ecoドライブ) |
| ③ 案内スタート/ストップ | ⑪ 郵便番号検索(郵便番号) | ⑲ VICS 図形情報(図形情報) | ㉗ 音声案内 |
| ④ 周辺施設検索(周辺施設) | ⑫ ルート編集 | ㉚ 渋滞地点 | ㉘ 右画面設定(右画面表示) |
| ⑤ 再探索 | ⑬ 全ルート表示(全ルート) | ㉛ ETC 情報 | ㉙ 昼夜切替 |
| ⑥ 住所検索(住所) | ⑭ 登録ルート | ㉜ 登録地点編集 | |
| ⑦ 電話番号検索(電話番号) | ⑮ 道路切替 | ㉝ 地図図表示設定 | |
| ⑧ ジャンル検索(ジャンル) | ⑯ VICS 表示設定 | ㉞ ルート案内設定(ルート案内) | |

() 内は Quick MENU 表示時のボタン名

Quick 機能について

主な操作を簡単にするため、Quick 機能(Quick MENU／設定MENU)を設けています。
Quick MENUを表示させるには **Quick** (現在地表示時)、設定MENUを表示させるには **設定** (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

- **自宅へ帰る**
自宅までのルートを探します。
※あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。[📍]「自宅を登録する」B-12
- **案内ストップ** / **案内スタート**
タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。
※ルートが設定されていない場合、**案内スタート** / **案内ストップ** ボタンは選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **渋滞地点**
設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。
※ルート案内を停止している場合、**渋滞地点** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **再探索**
探索条件を変えて、再探索することができます。
※ルート案内を停止している場合、**再探索** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **地点を登録**
地点の登録を行います。
- **周辺施設**
現在地の周辺施設を検索することができます。[📍]「周辺にある施設から目的地を探す」C-8
- **右画面表示**
右画面に表示する情報画面を選びます。(選択時表示点灯) [📍]「右画面に地図／情報を表示する」B-14
- **昼夜切替**
画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。
- **道路切替**
一般または有料道の切り替えをします。[📍]「**道路切替ボタンの機能について**」下記



アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時の Quick MENU に設定することができます。

[📍]「Quick MENU を設定する」B-9

道路切替ボタンの機能について

一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に **道路切替** をタッチすると強制的に他の道路へと切り替わります。

※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り替わるとは限りません。



アドバイス

有料道に切り替えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

設定 をタッチ(地図スクロール時)● **目的地セット**

目的地を登録し、ルートを探します。[📍]「**現在地から目的地までのルートを探索する**」D-6

● **出発地セット**

出発地を登録し、ルートを探します。[📍]「**出発地／目的地の変更**」D-7

※ルート編集画面で出発地の変更を行う場合に表示されます。

● **経由地セット**

経由地を登録し、ルートを探します。[📍]「**経由地の追加**」D-9

※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

● **複数探索**

複数ルート探索を行います。[📍]「**■ 複数ルート探索**」D-5

● **自宅セット**

自宅を登録します。[📍]「**自宅を登録する**」B-12

※自宅の登録を行う場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

● **テナント情報**

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。

※市街地図(10 m／25 m／50 m)表示のスケールでテナント情報のある物件にカーソル(—|—)をあわせませす。

● **地点登録**

地点の登録を行います。

● **地点編集**

登録地点の編集や並び替え、削除ができます。[📍]「**登録地点の編集**」F-21／「**登録地点を並び替える**」F-25

※登録地点マークにカーソル(—|—)をあわせませす。

● **周辺検索**

スクロール先の周辺施設を検索することができます。[📍]「**周辺にある施設から目的地を探す**」C-8

● **施設詳細**

ランドマーク表示する設定をして、その表示されたランドマークにカーソルを合わせると施設の詳細情報が表示されます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、自宅までのルートを探索することができます。

1 目的地メニュー(☞ A-12)から **自宅** → **はい** をタッチする。

2 登録方法を選び、タッチする。

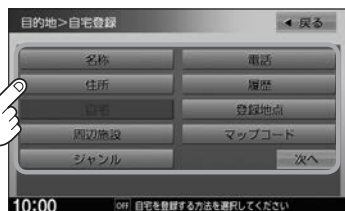
例 住所から自宅を探し登録する

① **住所** をタッチする。

② リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを順次選び、タッチする。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。
(**地図から** / **出発地付近** / **目的地付近** で探索した場合、地図のみ表示されます。)

該当する地名の頭文字を表示し、効率よく絞り込み
(該当しない地名の頭文字は暗くなります。)
頭文字をタッチすることに行のリストを切り替え



検索画面が表示され、
地名を入力して検索
☞ C-6



- 丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を表示するリスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは都道府県名、市区町村名、町名を選んだあと **代表地点** をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

3 自宅を登録する。

表示された位置で良いとき

自宅セット をタッチ

※ **設定** が表示されたら、**設定** → **自宅セット** をタッチ

位置修正やスケール変更を
するとき

閉じる / 地図画面をタッチ→カーソル(→←)を自宅に
合わせる→ **設定** → **自宅セット** をタッチ

：自宅が登録され、メッセージが表示されます。**はい** をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。**いいえ** をタッチすると、地図が表示されます。



- 自動的にマークは📍になります。マークを変更することができます。
- 登録地の表示をしない設定にしている場合は、地点を登録しても地図上にマークは表示されません。
- 自宅を変更したい場合は、登録した自宅を削除してから再登録するか、または自宅編集から変更してください。

地点を登録する

覚えておきたい場所にマークをつけて登録することができます。(最大300カ所・自宅は含まれません。)

1

マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、
位置の誤差が少なくなります。



2

地点登録をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



アドバイス

- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、上記手順 **2** の **地点登録** をタッチした後にメッセージが表示されます。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-29をご覧ください。
- マークを非表示にできます。(登録地検索時は表示)  F-5

右画面に地図／情報を表示する

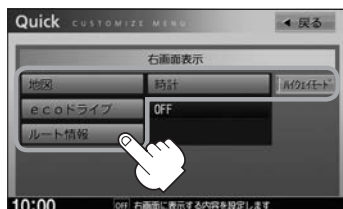
現在地表示時、画面を2つに分けて、右画面にルート情報やecoドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

1 現在地表示時に、**Quick** → **右画面表示** をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



2 表示項目を選んでタッチする。



■ 右画面に地図を表示する

① **地図** → **OK** をタッチする。

：地図が2画面で表示されます。



- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 右画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示 ↔ 全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面の地図はスクロールできません。

右画面の地図表示(方位)を変更



右画面の縮尺スケールを変更

■ 右画面にecoドライブ画面を表示する

① **ecoドライブ** → **OK** をタッチする。

：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。

(**表示切替** をタッチで表示の切り替え)



- ルート案内中は交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、交差点拡大図などを優先して表示します。
- ecoドライブ画面については「**E-18**」

■ 右画面にルート情報を表示する

① ルート情報 → OK をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。



アドバイス

ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。



経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示

■ ハイウェイモードの表示切り替えをする

① ハイウェイモード をタッチする。

：表示灯が点灯の時はハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示する設定になります。消灯の時は表示しない設定になります。



経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示



アドバイス

- ハイウェイモードはルート案内時とデモ走行時に表示されます。
- [F]「■ 右画面にルート情報を表示する」(上記)で「ルート情報」をタッチまたは、[F]「■ ルート情報の表示設定」F-8で「ルート情報の表示」を「する」に設定すると高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、「ハイウェイモード」が選べなくなります。
- ハイウェイモードを選んでいる場合、他の表示項目を選んでもハイウェイモードを優先して表示します。
- ハイウェイモードを表示する設定にしている場合、ルートを引きいていないと表示されません。

■ 右画面に時計を表示する

① 時計 → OK をタッチする。

：右画面に日付と時間が表示されます。



アドバイス

右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると全画面表示に切り替わります。

[現在地]を押す、または「戻る」をタッチすると、右画面表示に戻ります。

右画面に地図／情報を表示する

全画面表示に戻す

1

現在地表示時に **Quick** → **右画面表示** → **OFF** → **OK** をタッチする。



C

目的地を探す

名称で目的地を探す(施設50音).....	C-2
順番を並び替えて表示する.....	C-3
電話番号で目的地を探す.....	C-4
住所で目的地を探す.....	C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する.....	C-7
周辺にある施設から目的地を探す.....	C-8
表示できる施設.....	C-10
施設のジャンルから目的地を探す.....	C-12
道路名から地点を探す.....	C-15
登録地点で目的地を探す.....	C-16
マップコードで目的地を探す.....	C-17

郵便番号で目的地を探す.....	C-18
地図から目的地を探す.....	C-18
緯度・経度で目的地を探す.....	C-19
スマートフォンアプリNaviConについて.....	C-20
NaviCon対応スマートフォン.....	C-20
準備する.....	C-20
NaviConを使用する.....	C-20

名称で目的地を探す(施設50音)

施設の名前を直接入力したり、候補を絞り込んで探すことができます。

1 目的地メニュー(☰ A-12)から **名称** をタッチする。

：施設名入力画面が表示されます。

2 施設名をひらがなで入力し、 **検索** をタッチする。

：施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 **検索** は選べません。



- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

3 検索方法を選ぶ。

■ リストから施設名を選ぶ

① リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選び、**ここを** をタッチしてください。



■ 絞込みで施設を選ぶ

① **絞込み** をタッチする。

：条件入力画面が表示されます。

② 条件を選び、タッチする。

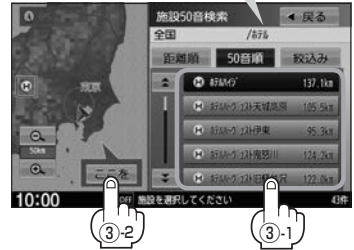
地域	都道府県名⇒市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル⇒施設の種類のタッチ

③ リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・
出入口情報のリスト画面が表示された場合
は、リストより選んでください。

条件入力画面で選んだ条件が
青色文字で表示されます。



アドバイス

- 検索施設の件数が増えるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 絞り込み検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせると絞り込むことができます。
- 指定した条件を変更したい場合は、変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

順番を並び替えて表示する

表示したい方法を選び、タッチする。

50音順	50音順に表示
距離順	地図上の直線距離で現在地から近い順に表示



4

地図を見る、または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
「ルート探索をする」D-4

■ 周辺の地図を見る

① 閉じる または地図画面をタッチする。

：設定MENUを閉じ、周辺の地図が表示されます。



名称で目的地を探す(施設50音)

■ 施設の詳細情報を見る

① **施設詳細** をタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※ **施設詳細** は、情報がある場合しか表示されません。

※ 電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** → **はい** をタッチすると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(あらかじめBLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。[**☞** Q-2])
携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります)

電話番号で目的地を探す

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して目的地を探すことができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報)が収録されています。

1

目的地メニュー([**☞** A-12])から **電話** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

2

電話番号を入力し、**検索** をタッチする。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



■ タウンページなどから個人宅以外の電話番号を入力する

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は [**☞** 「ルート探索をする」D-4



アドバース

- 入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選ぶと地図が表示されます。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合や該当する電話番号が収録されていない場合は、市内局番に該当する周辺地図を表示します。

■ 個人宅の電話番号を入力する

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

① 登録者名の名字を入力後、

検索 をタッチする。

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、メッセージが表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合、地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、再度入力してください。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
 「ルート探索をする」D-4



目的地



アドバース

- 入力方法は、ひらがなのみとなります。
- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合またはピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で目的地を探す

住所を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(「A-12」)から「住所」をタッチする。

：住所検索リスト画面が表示されます。

2 リストから選ぶまたは地名を入力して探す。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は「A-12」D-4

※郡は表示(選ぶまたは入力)できません。町村から選ぶまたは入力をしてください。

■ リストから探す

- ① リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを
順次選び、タッチする。

■ 地名を入力して探す

※市町村名で検索できます。

- ① 「地名入力」をタッチする。

：地名入力検索画面が表示されます。



- ② 地名をひらがなで入力し、
「検索」をタッチする。

：リストが表示されます。



- ③ リストから地名を選んでタッチする。



- ④ 丁目などを順次選び、タッチする。



目的地メニューから「地名」をタッチしても、地名
を入力して目的地を探すことができます。

※複数の都道府県に該当する地名がある
場合は「絞り込み」が表示されます。

「絞り込み」をタッチすると都道府県を絞
り込むことができます。

目的地履歴の中から目的地を探す／削除する

過去に設定した目的地周辺の地図を表示することができます。一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

1 目的地メニュー(A-12)から履歴をタッチする。

：目的地履歴検索画面が表示されます。

2 リストより目的地を表示させる、または履歴を削除する。

■ 目的地を表示

① リストから見たい履歴を選び、

ここを をタッチする。

：選んだ目的地付近の地図画面を表示します。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

A 「ルート探索をする」 D-4



目的地



アドバース

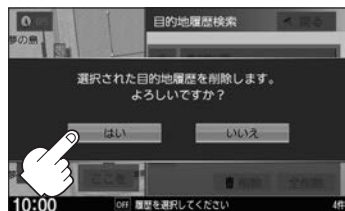
設定した目的地は、最新のものから順に20個まで自動的に登録されます。

登録数が20個を超えると古いものから順に消去されます。

■ 履歴を削除

① リストから削除したい履歴を選び、 **削除** → **はい** をタッチする。

※全履歴を削除する場合は **全削除** → **はい** をタッチしてください。



※リストに他の履歴がない場合はメニュー画面に戻ります。

周辺にある施設から目的地を探す

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から目的地を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」C-10

1

現在地を押す、

または地図上のカーソル()を検索したい場所に合わせる。

2

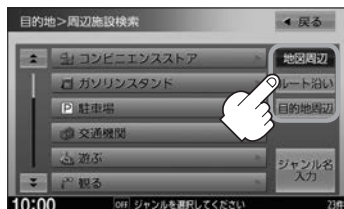
目的地メニュー( A-12)から**周辺施設**をタッチする。

：周辺施設検索画面が表示されます。

3

検索方法を選ぶ。

地図周辺	現在地またはスクロール先周辺を検索
ルート沿い	ルート沿いにある施設を検索
目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索



アドバイス

- ルート案内していない場合、**ルート沿い**／**目的地周辺**は選べません。(ボタンが暗くなります)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

4

探している施設のジャンルを選び、タッチする。

※詳細分類があるジャンルは▶マークが表示されます。

■ 施設の種類が表示されたとき

C-9 手順 **5** へ

■ 施設名が表示されたとき

C-9 手順 **6** へ

5

表示したい施設の種類の選び、

検索 をタッチする。

※リストに▶が表示された場合、▶をタッチすると、さらに細かくリストを選ぶことができます。

※選んだ種類にマーク(✓印)が付きます。

全選択 をタッチすると、全種類にマーク(✓印)が付きます。

※選択を解除したい場合は再度ボタンをタッチしてマーク(✓印)を消します。**全解除** をタッチすると、リストに付いているマーク(✓印)を全て消します。



6

リストから施設名を選び、**ここを** をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。



- C-8手順 **3** で **地図周辺** を選んだ場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、左画面の地図に現在地から施設の方向を赤い線で表示します。
ルート沿い を選んだ場合、現在地からの距離とルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
目的地周辺 を選んだ場合、右画面リストに目的地からの距離を表示します。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。(施設名がスクロールし続けます。)

7

地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法 **C-3**

※目的地として設定し、ルート探索する場合は**C-4**「ルート探索をする」D-4

表示できる施設

ジャンル	中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くんだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリナー
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場
	映画館
	城・城跡

ジャンル	中分類
観る(続き)	史跡
	名所・観光地等
	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店
	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店

ジャンル	中分類
買う(続き)	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懷石料理
	割烹・料亭
	スバゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング
	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館

ジャンル	中分類
生活施設 (続き)	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行 その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館

ジャンル	中分類
スポーツ施設(続き)	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
Honda Cars 店	Honda Cars 店
カーディーラー	Honda Cars 店
	スズキ スバル ダイハツ トヨタ 日産 マツダ 三菱 レクサス アウディ アルファロメオ クライスラー シトロエン ジャガー GM GMDAT BMW フィアット フェラーリ フォルクスワーゲン フォード ブジョー ベントレー ボルシェ ボルボ マセラティ MINI メルセデス・ベンツ ヤナセ ランドローバー ランボルギーニ ルノー ロータス ロールスロイス いすゞ 日野 三菱ふそう UDトラックス その他カーディーラー
自動車関連	自動車整備工場 中古車販売

ジャンル	中分類
自動車関連(続き)	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	レンタルバイク
	その他自動車・オートバイ・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業 農園・果樹園

施設のジャンルから目的地を探す

施設のジャンルや都道府県を指定して該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」C-10

1

目的地メニュー( A-12)から **ジャンル** をタッチする。

：ジャンル検索画面が表示されます。

2

検索方法を選ぶ。

※細かい分類がある場合は▶マークが表示されます。

■ リストから選ぶ

- ① 探している施設のジャンルを選び、さらに細かく分類された施設の種類を選んでタッチする。

■ ジャンル名を入力して選ぶ

- ① **ジャンル名入力** → 文字をタッチしてジャンル名を入力し、**検索** → ジャンル検索リストから該当するジャンルを選び、タッチする。

※候補が100件より多い場合は検索できません。

※ジャンル検索リストがさらに続く場合はリストより選んでタッチしてください。



3

さらに検索する条件を選ぶ。

現在地またはスクロール先周辺を検索	地図周辺 をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	目的地周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	ルート周辺 をタッチ
都道府県で検索	都道府県 → 都道府県名を選び、タッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
地域／路線で検索	地域／路線 → 地域を選び、タッチ → 路線を選び、タッチ



- ルート案内をしていない場合は **目的地周辺** / **ルート周辺** は選べません。(ボタンが暗くなります。)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先周辺から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート周辺にある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地域/路線** は、**交通機関** → **高速・都市高速/有料道路施設** → **IC** / **SA** / **PA** を選んだときのみ表示されます。

4

リストから施設名を選ぶ。

■ **地図周辺** / **目的地周辺** / **ルート周辺** を選んだとき

① リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選んで、**ここを** をタッチしてください。



コンビニエンスストア、ファストフード、ファミリーレストランの場合、選んだ施設に情報があるときは、アイコンが表示されます。

■ **都道府県** を選んだとき

① リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選び、**ここを** をタッチしてください。

選んだ頭文字の行をリストに表示します。(リストにない場合や **距離順** を選んでいる場合は、ボタンが暗くなり選べません。)

現在地から近い順に頭文字を送ることができます。



施設のジャンルから目的地を探す

■ 地域／路線 を選んだとき

- ① リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



アドバイス

リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

5

地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法  C-3

※ルート探索する場合は  「ルート探索をする」D-4

道路名から地点を探す

1

目的地メニュー(☰ A-12)から **ジャンル** をタッチする。

：ジャンル検索画面が表示されます。

2

交通機関 → **高速・都市高速・有料道路施設** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。



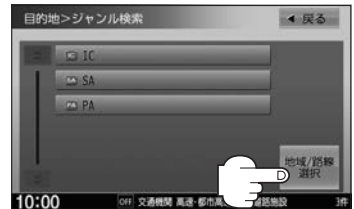
目的地

3

地域／路線選択 をタッチする。

：地域選択画面が表示されます。

※さらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。



4

リストから表示したい地点をタッチし、**ここを** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



登録地点で目的地を探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から目的地を探すことができます。よく利用する場所を登録しておく、簡単に目的地として設定することができます。



アドバイス

あらかじめ地点を登録しておく必要があります。[📍]「地点を登録する」B-13

1

目的地メニュー([📍] A-12)から**登録地点**をタッチする。

：登録地点検索画面が表示されます。

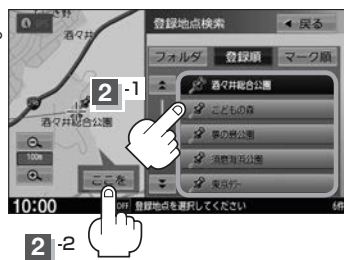
2

リストから登録地点を選び、**ここを**をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

[📍]「ルート探索をする」D-4



2-2



アドバイス

- 登録地点の表示方法を選ぶことができます。
- 登録地点をお好きなフォルダに入れるには [📁] F-22

同じマーク同士をまとめて表示

地点が登録された順に表示

フォルダごとに表示
(表示したい登録地点が
入っているフォルダを
タッチ)



マップコードで目的地を探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

1 目的地メニュー(「 A-12」)から **マップコード** をタッチする。

：マップコード入力画面が表示されます。

2 マップコードを入力し、**検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

「 「ルート探索をする」D-4



アドバイス

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。

***** について

マップコード入力後、***** をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。

郵便番号で目的地を探す

郵便番号簿などに掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

1

目的地メニュー(☞ A-12)から **郵便番号** をタッチする。

：郵便番号入力画面が表示されます。

2

郵便番号を入力し、**検索** をタッチする。

：周辺の地図画面が表示されます。

※ルート探索する場合は

☞ 「ルート探索をする」 D-4



アドバイス

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合、検索リストが表示されます。

地図から目的地を探す

表示中の地図から目的地を探すことができます。

1

目的地メニュー(☞ A-12)から **地図から** をタッチする。

：この画面に入る前の地図画面を表示します。

※ 目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞ 「ルート探索をする」 D-4

緯度・経度で目的地を探す

見たい場所の緯度と経度(日本測地系)を入力して目的地を探すことができます。

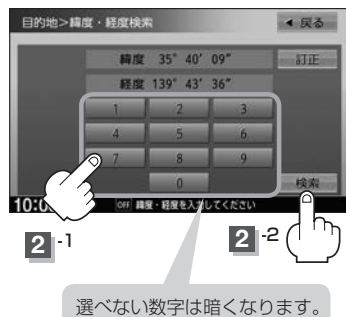
1 目的地メニュー(☞ A-12)から **緯度経度** をタッチする。

：緯度・経度入力画面が表示されます。

2 緯度・経度(日本測地系) 〔緯度(北緯)と経度(東経))を入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ 「ルート探索をする」 D-4



目的地



アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

スマートフォンアプリ NaviCon について

VXM-145VSi

VXM-145VS

本機はスマートフォンアプリ NaviCon に対応しています。

スマートフォンアプリ NaviCon で、行きたい場所を検索して目的地を本機に送信し、本機でルート探索・ルート案内を行うことができます。

NaviCon 対応スマートフォン

iPhone (iOS Ver5.1 以降)

Android スマートフォン (OS Ver2.3 以降)

※お手持ちのスマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備する

- 本機にスマートフォンをハンズフリー登録してください。(登録方法「[P](#)「初期登録設定」Q-2
- 本機とスマートフォンをケーブルで接続をしている場合は、スマートフォンをケーブルから外してください。
- 本機に iPod を接続している場合、iPhone で NaviCon は使用できません。iPod をケーブルから外してください。

NaviCon を使用する

NaviCon アプリ側での操作方法は、NaviCon のホームページまたは NaviCon アプリ上の説明をご覧ください。

1

スマートフォン側で NaviCon アプリを起動する。

※本機と BLUETOOTH 接続がされていることをアプリ側で確認してください。

2

アプリ側で目的地を設定する。

：本機に目的地が送信され、ルート探索を始めます。

3

本機で **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。



NaviCon アプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。

D

ルート探索をする

ルート設定について	D-2
ルート設定の流れ	D-3
ルート探索をする	D-4
クイック ルート探索をする	D-6
現在地から目的地までのルートを探索する	D-6
現在地から自宅までのルートを探索する	D-6
ルートを変更する	D-7
出発地／目的地の変更	D-7
目的地の追加	D-8
経由地の追加	D-9
経由地の変更／削除	D-10
経由地／目的地など地点の入れ替え	D-10
探索条件の変更	D-11

ルート案内をストップ／スタートする	D-12
現在のルートを表示する	D-12
現在のルートを保存する	D-13
現在のルートを削除する	D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
渋滞地点を確認する	D-14
経由地をスキップする	D-14
デモ走行をする	D-15
迂回探索をする	D-16
再探索をする	D-17
ルート探索条件の設定をする	D-18

ルート設定について

本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、ルート案内画面を表示します。このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

ルート設定は、主に下記の方法で行います。また、探索条件設定をすることができます。

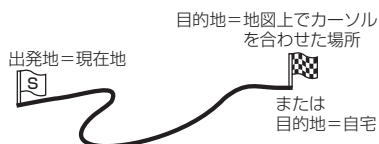
クイック ルート探索

- カーソル(→)を目的地に合わせ **設定 → 目的地セット** をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。

☞ 「**現在地から目的地までのルートを探索する**」 D-6

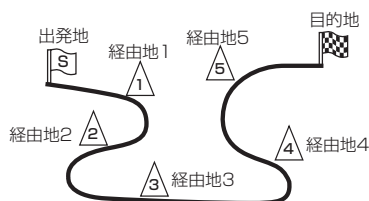
- 現在地表示時に、**Quick → 自宅へ帰る** をタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。

☞ 「**現在地から自宅までのルートを探索する**」 D-6



ルート から1ルート探索／複数ルート探索

- 複数探索** をタッチすると、5ルートを同時に探索します。
表示されたルートを見て、最適なルートを選んでください。
- 途中で寄りたい場所や通りたい道などを経由地として5つまで登録できます。
- 経由地を設定すると、**複数探索** は選べません。



目的地メニューから探索方法を選んでルート探索

電話番号／施設名称／ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

NAVI設定 から探索条件を設定 ☞ D-18

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

internaviルート*1

インターナビが提供するルート配信サービスで、下記の探索方法からお好みのルートを選ぶことができます。

- ① 時間と料金のバランスがよい **スマートルート**
- ② 燃料消費が最も少なく、CO₂排出量も削減する **省燃費ルート**
- ③ 最も早く目的地に到着できる **最速ルート**
- ④ 無料道路で最も早く目的地に到着できる **最速無料優先ルート**
- ⑤ ETC割引を最大限に活用できる **ETC割引ルート**

また、目的地を設定後にインターナビがおすすめルートを提案するサービスもあります。(シーニックルート)

※インターナビの提供サービス変更に伴い、ルートの種類は変更される場合があります。

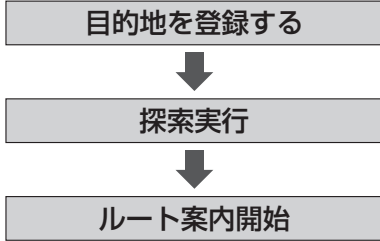
※設定した目的地によっては、シーニックルートを提案しない場合があります。

* 1…VXM-145VSiの場合

ルート設定の流れ

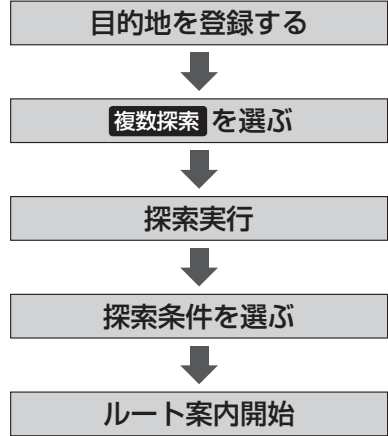
1 ルート探索

地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを1つ探索する簡単な方法です。



複数ルート探索

有料道路や距離、道幅などの条件から5ルートを表示し、その中から最適なルートを選ぶ探索方法です。



ルート

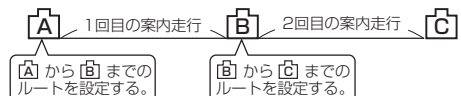
探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internavi ルート * 1	インターネットより配信される探索条件から選んでルートを探索 (複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。)

* 1…VXM-145VSiの場合



- ルート探索中に車のエンジンスイッチを0(ロック)に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。
- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 経由地が設定されている場合は複数ルート探索はできません。
- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎると、メッセージが表示され、ルート探索できない場合があります。
例えば、A地点からC地点に行く場合、途中のB地点で区切り、ルートを2回に分けてください。
- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。



ルート探索をする

1

目的地メニュー(📍 A-12)から検索方法を選ぶ、
または **ルート** → **ルート編集** → **📍** をタッチする。

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示します。

- **名称** 📍 C-2
- **電話** 📍 C-4
- **住所** 📍 C-6
- **履歴** 📍 C-7
- **自宅**
- **周辺施設** 📍 C-8
- **登録地点** 📍 C-16
- **ジャンル** 📍 C-12
- **地名** 📍 C-6
- **マップコード** 📍 C-17
- **郵便番号** 📍 C-18
- **地図から** 📍 C-18
- **緯度経度** 📍 C-19
- **目的地付近** : 目的地の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地の地図を表示
- **現在地付近** : 現在地の地図を表示



目的地メニューから **自宅** を選んだ場合、📍 D-5 手順 **3** に進んでください。

2

目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地で良い	目的地セット をタッチ
設定MENU表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ→カーソルを目的地に合わせる → 設定 をタッチ→ 目的地セット をタッチ

- 目的地メニューから探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- **ルート** から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。**探索開始** をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- 目的地を設定する際、設定MENUまたはルート編集画面の **複数探索** をタッチすると、複数ルート(最大5ルート)探索できます。最適なルートを選んでください。

3

ルート案内を開始する。

■ 1 ルート探索

① 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

全ルート表示画面



ルートの詳細情報を表示

■ 複数ルート探索

※経由地を設定しているときは複数ルート探索はできません。

① 別ルート をタッチする。

全ルート表示画面



② 探索条件をタッチしてルートを確認し、案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「---円」と表示されます。)



ルートの詳細情報を表示



アドバイス

- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしているでも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。自宅が登録済みの場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1 地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

 「地図をスクロールする(地図を動かす)」B-5

2 カーソル(-|-)を目的地に合わせ、**設定** → **目的地セット** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※メッセージが表示されたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は **有料道路** を、一般道路上に設定する場合は **一般道路** をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1 **現在地** を押し、**Quick** → **自宅へ帰る** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※すでに探索されているルートがある場合、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶとルート探索を開始します。

※自宅が登録されていない場合、メッセージが表示され、**はい** を選ぶと自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。



アドバイス

-  (オプション)に **自宅** を設定している場合は、 を押すと自宅までのルートを探索します。
(オプションボタンの設定方法  G-2)
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。

出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／出発地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

出発地／目的地の変更

1

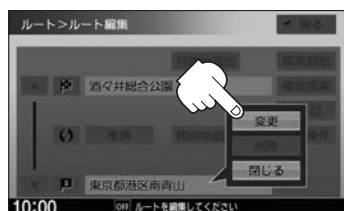
MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2

[S] または **[旗]** → 吹き出しから **変更** をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。



ルート

3

検索方法を選び、タッチする。

※この後は、選んだ方法で出発地／目的地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。



4

出発地または目的地を設定する。

地図のみ表示されたら

設定 → **出発地セット** ／ **目的地セット** をタッチ

設定MENUと共に表示された出発地または目的地で良い

出発地セット ／ **目的地セット** をタッチ

設定MENU表示中、出発地または目的地の位置調整をする

閉じる または地図画面をタッチ→カーソルを出発地または目的地に合わせる→ **設定** → **出発地セット** ／ **目的地セット** をタッチ

ルートを変更する

5

探索開始 / **複数探索** を選び、タッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5つのルートが表示されます。 (探索条件に設定したルートは優先的に探索されます。) 好きなルートを選び、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。



アドバンス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、**複数探索** は選べません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしている場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 出発地を現在地と異なる場所に設定した場合でも **案内スタート** をタッチすると、現在地からルート案内を開始します。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地としたルート案内を見たい場合は、**デモ走行** をタッチしてください。[D] D-15

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

1

MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** → **目的地追加** をタッチする。

2

検索方法を選び、タッチする。

3

目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地で良い	目的地セット をタッチ
設定MENUが表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ→カーソルを目的地に合わせ 設定 をタッチ→ 目的地セット をタッチ

：目的地が追加され、もとの目的地は経由地に変更されます。

4

ルートを探るには **探索開始** → **案内スタート** をタッチする。

経路地の追加

経路地を5つまで追加できます。

1 追加方法を選ぶ。

ルート編集画面から追加	MENU を押し、 ルート → ルート編集 → 追加する場所の 経路地追加 をタッチ → 経路地の検索方法を選ぶ
ルート案内中に目的地メニューから追加	目的地メニューから検索方法を選ぶ

※この後は、選んだ方法で追加経路地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。

2 経路地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 経路地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された経路地で良い	経路地セット をタッチ
設定MENUが表示中、経路地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ → カーソルを経路地に合わせ 設定 をタッチ → 経路地セット をタッチ

：ルート編集画面または経路地追加画面が表示されます。

3 ルート探索をする。

ルート編集画面が表示されたら	探索開始 をタッチ
経路地追加画面が表示されたら	追加 をタッチ

：ルート探索を開始します。

4 案内スタート をタッチする。



アドバンス

- となりあう経路地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に動かない場合があります。
- すでに通過した区間には経路地を設定することはできません。

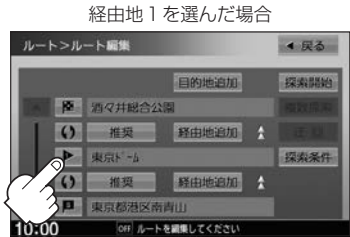
ルートを変更する

経由地の変更／削除

- 1

MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** をタッチし、変更／削除する経由地の **▶** をタッチする。

：吹き出しが表示されます。



- 2

変更または削除する。

変更する	変更 をタッチし、新しい経由地を設定する ※検索方法の画面が表示されますので、検索方法を選び、経由地を設定してください。
削除する	削除 をタッチ



アドバイス

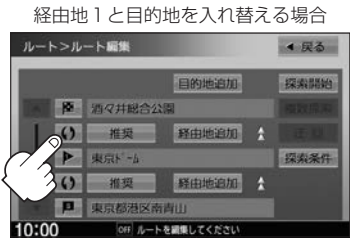
閉じる をタッチすると、変更／削除の操作を中止します。

経由地／目的地など地点の入れ替え

- 1

MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** をタッチし、入れ替えたい場所の **↔** をタッチする。
- 

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。



探索条件の変更

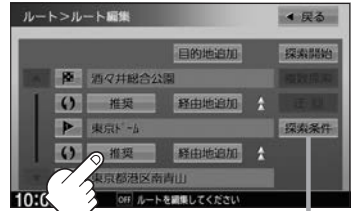
探索条件を変更することができます。

1

MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** をタッチし、変更する場所の **推奨** をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地1までの探索条件を変更する場合



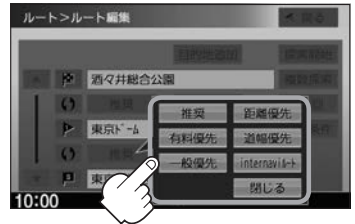
探索条件の変更

「ルート探索条件の設定をする」D-18

2

探索条件を選んでタッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、**閉じる** をタッチしてください。



ルート

探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internaviルート *1	インターネットナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 (複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。)



アドバイス

- **距離優先** を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- **距離優先** で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- internaviルートを利用するには、インターネットナビ・リンク プレミアムクラブに登録する必要があります。*1

* 1…VXM-145VSiの場合

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再度開始させることができます。

1

MENU を押し、**ルート** → **案内ストップ** または **案内スタート** をタッチする。

案内ストップ ルート案内を停止し、地図画面を表示

案内スタート 前回ルート探索したルート案内を開始



アドバイス

- ルート設定していない場合は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- 現在地表示時に **Quick** → **案内ストップ** / **案内スタート** をタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートと呼び出ししたりするまでは保存されています。

現在のルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1

MENU を押し、**ルート** → **全ルート表示** をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称

「出口」：目的地から一番近いICの名称

「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離

「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金

※高速道路を使わない場合や、一般道や一部の有料道路で

料金不明の場合は「---円」と表示されます。

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。



アドバイス

- 3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

現在のルートを保存する

20個まで保存することができます。保存したルートは、再度呼び出すことができます。

1

MENU を押し、 **ルート** → **ルート管理** → **ルート保存** をタッチする。



現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。

現在のルート削除する

1

MENU を押し、 **ルート** → **ルート管理** → **ルート削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を選ぶとルートを削除し、ルートメニューになります。



現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。

ルート

保存したルートの呼び出し／削除をする

保存したルート呼び出して、ルート探索をすることができます。また、保存しているルートを削除することができます。

1

MENU を押し、 **ルート** → **登録ルート** をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

2

保存しているルート呼び出す、または削除する。

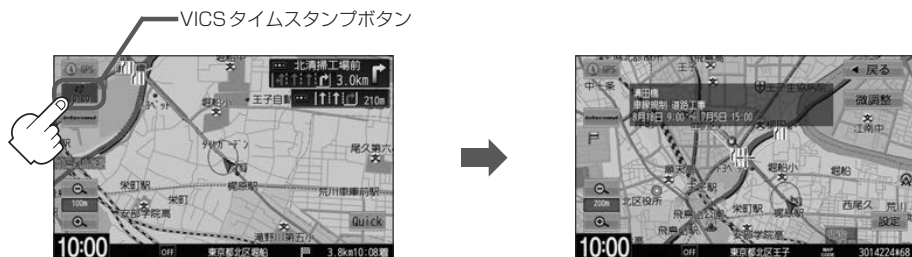
ルート呼び出す	リストから呼び出したいルートをタッチ ：ルート探索後、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※保存したときの探索条件でルート探索されます。 ※全ルート表示画面は、設定によっては表示されません。 ※すでに現在のルートがあるときは、メッセージが表示され、 はい を選ぶとルート探索を開始します。
ルート削除する	リストから削除したいルートの  をタッチ ：メッセージが表示され、 はい を選ぶと選んだルートを削除します。

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面でVICSタイムスタンプボタンをタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



アドバース

- ルート上に渋滞／規制がない場合、VICSタイムスタンプボタンをタッチしても地点は表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方 10 km 以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENU に **渋滞地点** を設定すると、**Quick** → **渋滞地点** で、渋滞地点を確認することもできます。
- ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプボタンは選べません。また、FM 多重の受信番組設定を **一般情報番組** に設定している場合も選べません。(VICSタイムスタンプボタンが“FM一般”と表示されているとき)

経路地をスキップする

ルート案内時、経路地を設定している場合、検索した経路地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経路地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

※通過していない経路地がある場合に選べます。

1 **MENU** を押し、**ルート** → **経路地スキップ** をタッチする。

：メッセージが表示されます。

2 **はい** をタッチする。

：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。

※経路地のスキップは、次の経路地がスキップ(通過済み)されます。

※経路地を通過済みにしない場合は、**いいえ** をタッチすると、ルートメニューに戻ります。



デモ走行をする

設定したルートを表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをデモ走行と呼びます。)ルート情報表示、音声案内をすることもでき、出発前に前もってルートを確認するのに便利です。

1

MENU を押し、**ルート** → **全ルート表示** をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

2

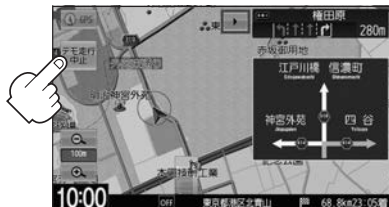
デモ走行 をタッチする。

：デモ走行が開始されます。



3

デモ走行を終えるには **デモ走行中止** をタッチ
または **MENU** を押す。



アドバイス

- デモ走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自転車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 上記手順 **2** で **詳細情報** をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
- デモ走行中に **▶** をタッチすると、JCTビュー、交差点拡大図表示を一時的に消すことができます。再度表示したい場合 **◀** をタッチしてください。

迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1

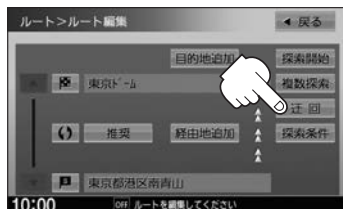
MENU を押し、**ルート** → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2

迂回 をタッチする。

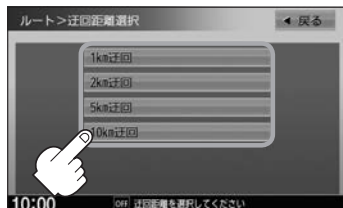
：迂回距離選択画面が表示されます。



3

迂回距離を選ぶ。

：選んだ距離の迂回ルートを再探索します。



アドバイス

- 保存ルート呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過している経由地は除く。)

再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索(リルート)するように初期設定されていますが、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で再探索することができます。

再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

※あらかじめQuick MENUに **再探索** を設定しておく必要があります。

☞「Quick MENUを設定する」B-9

1

現在地表示画面で、**Quick** → **再探索** をタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。



ルート

2

探索条件を選んでタッチする。

※探索を中止する場合は、**戻る** をタッチしてください。



アドバイス

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

ルート探索条件の設定をする

ルートを探索する条件を変更することができます。次に行うルート探索から、変更後の条件で探索します。

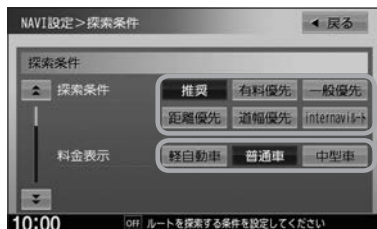
1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **探索条件** をタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。

2

探索条件を選んでタッチする。



探索する条件を設定

※ **internaviルート** は
VXM-145VSiのみ設定可能
です。

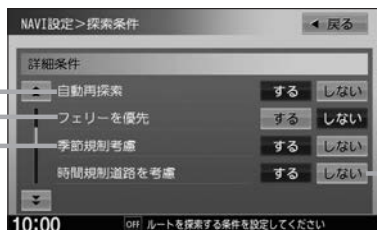
車種別に有料道路料金表示
を設定



自動再探索する／しないを
設定

フェリーを優先する／しないを
設定

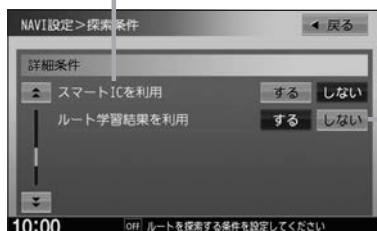
季節規制を考慮する／しないを
設定



時間規制／曜日規制を考慮
する／しないを設定

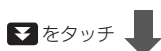
- 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

利用できるスマートIC(SA／PA
などから一般道に出入り可能な
ETC専用のインターチェンジ)
を利用する／しないを設定



過去の交通状況データや自車の
走行履歴などをもとにした
ルート学習結果を利用する／
しないを設定

※ 上記の探索条件で **距離優先**
を選んでいる場合は、ルー
ト学習結果を考慮しない場
合があります。



VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定

※ internavi 交通情報^{*1}を考慮

しない に設定するとボタンが暗くなり選べなくなります。

※ FM VICS のみの場合は、規制による自動探索は行いますが、渋滞による自動探索は行いません。



internavi 交通情報^{*1}をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定

VICS 情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定



- **推奨**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先**、**internavi ルート**^{*1}は、いずれか 1 つ設定できます。

- ルート探索条件の変更はルート編集からも変更することができます。[D-11]
- ルート案内中に探索条件を変更し **戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選んでいる場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にはない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、フェリー航路を優先しない場合もあります。

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC 割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所への IN、OUT の情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1 つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2 つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「――円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「――円」となります。)
- “〇〇IC” を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 全ルート表示画面では出発地から目的地までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「――円」または実際の料金と異なる場合があります。

* 1…VXM-145VSi の場合

ルート探索条件の設定をする

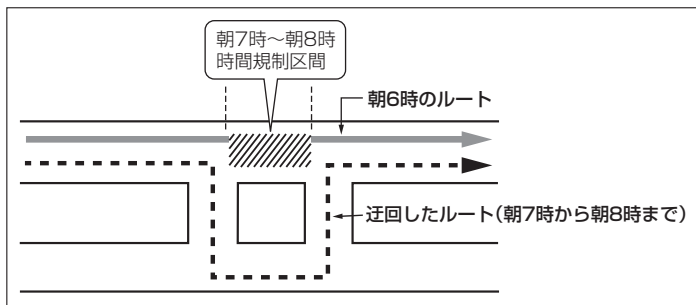


スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
 - 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)
- ※ETCを搭載していない車両は通行できません。
- ※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

時間規制道路を考慮について

下記斜線部分に朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



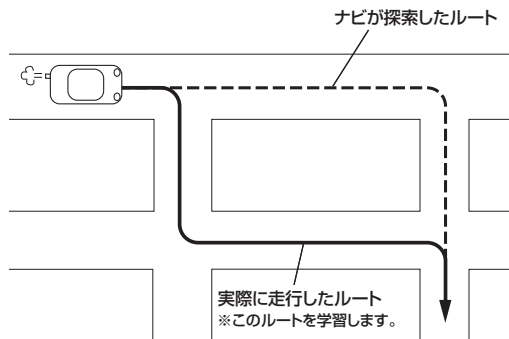
※ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。

※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

※ルート学習結果を初期化するには「」「データを初期化(消去)する」G-24をご覧ください。



VICS 自動再探索について

- VICS 自動再探索 **する** に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

E

情報を見る

ETC 情報を見る	E-2
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-3
情報の消去	E-3
交通情報 (VICS 情報) の画面	E-4
交通情報 (VICS 情報) とは	E-4
マーカー一覧表	E-5
一般情報の画面	E-6
一般情報とは	E-6
一般情報の内容 (番組)	E-6
一般情報放送局	E-6
緊急情報を見る	E-7
緊急情報について	E-7
交通情報／一般情報を選局する	E-8
自動選局	E-8
自動選局をやめる	E-9
手動選局	E-9
エリア選局	E-10

プリセット (保存) する	E-11
プリセット (保存) 呼び出しをする	E-12
プリセット (保存) の上書きをする	E-12
internavi 情報について	E-13
本体情報を見る	E-13
eco ドライブ情報を設定する	E-14
eco ドライブ設定をする	E-15
評価履歴を見る	E-16
グラフ表示で見る	E-16
評価履歴を削除する	E-17

ETC 情報を見る

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1

MENU を押し、**情報** → **ETC 情報** をタッチする。

：ETC 情報画面が表示されます。

2

管理情報または履歴を表示する。

車載器情報を表示する	車載器情報 をタッチ ：ETC 本体の登録内容が表示されます。
カード情報を表示する	カード情報 をタッチ ：カード情報内容が表示されます。
履歴を表示する	利用履歴 をタッチ ：今までの利用履歴が最大 100 件まで日付の新しい順に表示されます。 ※地図ソフトに収録されていない料金所の名称は“登録なし”と表示されます。



アドバイス

接続可能なETC車載器(ナビ連動タイプ)について詳しくは、Honda 販売店へご相談ください。

交通情報／一般情報の操作の流れ

FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

1

MENU を押し、 **情報** → **FM多重** → **受信番組設定** をタッチし、
受信する情報を選ぶ。

交通情報を表示する

交通情報番組(VICS) をタッチ

一般情報を表示する

一般情報番組 をタッチ

2

手順 **1** で選んだ情報を放送している放送局を受信し、見たい情報を選ぶ。

 「交通情報(VICS 情報)の画面」 E-4

 「一般情報の画面」 E-6

 「緊急情報を見る」 E-7

 「VICS 表示の設定をする」 F-17



アドバンス

- よく使う放送局はプリセット(保存)しておくとう便利です。 「プリセット(保存)する」 E-11
- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、VICS タイムスタンプボタンに、交通情報提供時刻を表示します。一般情報番組を受信する設定にしているときは、VICS タイムスタンプボタンに一般情報スタンプ(“FM一般”)を表示します。

情報の消去

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたり、受信周波数が変わると受信した情報が消去されることがあります。
- 渋滞情報保存時間が経過した場合、消去されます。
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

情報

交通情報(VICS 情報)の画面

交通情報(VICS 情報)とは

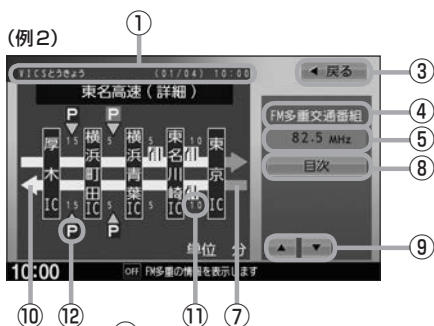
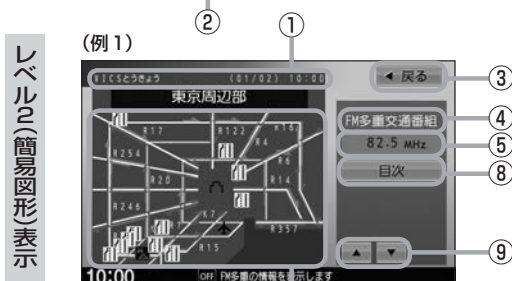
FM多重放送局の中には、VICS センターから提供される VICS 情報(レベル 1～レベル 3)を放送している局^{*1}があります。本書および画面表示では、この VICS 情報を“交通情報”とも呼んでいます。

* 1…本書では交通情報を放送している FM 多重放送局を“VICS 放送局”と呼んでいます。

交通情報の表示には、3 種類(レベル 1、レベル 2、レベル 3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

※表示内容は更新(変更)される場合があります。



① ヘッダー文

VICS 放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 表示内容

③ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

④ 受信中の情報

表示中の情報が交通情報であることを示します。

⑤ 受信中の周波数

⑥ 表示内容選択ボタン

⑦ 渋滞情報

【レベル2 表示の場合】

赤色：渋滞 橙色：混雑

※渋滞方向を矢印で表示します。

【レベル3 表示の場合】

赤色：渋滞 橙色：混雑 緑色：渋滞なし 黄色：規制

※渋滞の方向を矢印で表示します。

←：交通情報

⑧ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

※暗い項目は選ばれません。

⑨ ▲／▼ ボタン(ページ戻し／送り)

ページ戻し／送りをします。

※2ページ以上ある場合にのみ表示されます。暗い項目は選ばれません。

⑩ 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。

この先の情報提供がない場合は灰色です。

⑪ 矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)

この例の場合は、東京ICから東名川崎ICまで、約10分かかることを示しています。

⑫ VICS 情報マーク

「マーク一覧表」下記

⑬ VICS タイムスタンプボタン

● 交通情報の提供時刻を表示します。

※表示可能なレベル3情報がないときは

“—：—”を表示します。

※一般情報を受信する設定になっている場合は、

“FM一般”を表示します。

● ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。

⑭ マーク詳細情報

地図をスクロールさせてVICS 情報マークにカーソル

(-|-)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。



アドハイス

● 渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。

● 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。

● レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。

● 情報提供時刻が表示されているとき(“—：—”表示ではないとき)に、レベル3が表示できます。

● 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

※下記マークは一例です。

事故	工事	通行止め／閉鎖	進入禁止	駐車場(混雑)	対面通行	入り口閉鎖	速度規制 ^{80km/h}
故障車	凍結	片側交互通行	駐車場(空)	駐車場(不明)	車線規制	大型通行止め	
路上障害	作業	チェーン規制	駐車場(満)	駐車場(閉)	徐行	入り口制限	

一般情報の画面

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*¹があります。本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。

* 1…本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。



ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

① ヘッダー文

放送局名、番組名、ページなどを表示します。

② 表示内容

③ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

④ 受信中の情報

表示中の情報が一般情報であることを示します。

⑤ 受信中の周波数

⑥ 表示内容選択ボタン

⑦ ▲ / ▼ ボタン

ページ戻し／送りをします。

一般情報の内容(番組)

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。

番組は大きく次の2つに分けられます。

● 連動情報番組(番組情報チャンネル)

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。

● 独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテインメントチャンネルなど)

FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行う場合もあります。

※番組の名称、数、内容などは、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報放送局

一般情報放送局(民放FM放送局)には、JFN系列／JFL系列／独立局などがあります。

一般情報番組を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの放送局を受信します。



- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信できません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は親局の中継局でも受信できます。

緊急情報を見る

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

1

MENU を押し、 **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチする。

※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書き替えます。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地、スクロール画面、トップメニュー画面、AV画面表示時などに受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
※しばらくすると緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、**▶** をタッチして、割り込み前の画面に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、**戻る** をタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには **MENU** を押し、 **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチしてください。



アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。再度緊急情報を見るときは **MENU** を押し、 **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチすると表示されます。

※ 情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。

⏮ 「情報の消去」E-3

- 緊急情報表示をやめる場合は、**現在地** / **MENU** を押すか、**戻る** をタッチしてください。

交通情報／一般情報を選局する

交通情報を見るにはVICS放送局を受信、一般情報を見るには一般情報放送局を受信してください。
選局には、自動選局、手動選局、エリア選局の3つの方法があります。



アドバイス

受信した放送局をプリセット(保存)しておくと、後で呼び出すことができます。

「プリセット(保存)する」E-11

自動選局

自動選局に設定すると、受信中の電波が弱くなった場合、自動的に電波の強い周波数に切り替わります。

1

MENU を押し、**情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

: 周波数設定画面が表示されます。

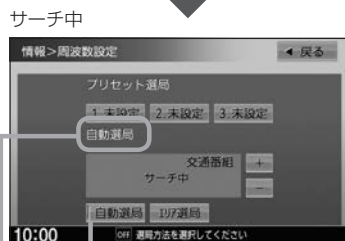
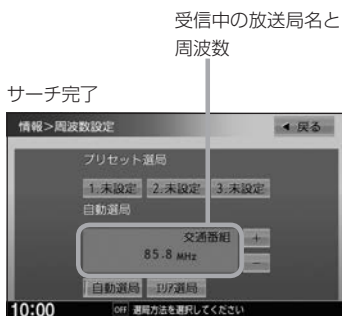
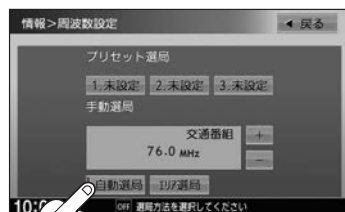
2

自動選局 をタッチする。

: 表示灯が点灯します。

※すでに表示灯が点灯している場合は、**自動選局** が設定されています。

周波数設定画面



自動選局表示に選択時表示灯点灯
変わります。



アドバイス

放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(E-9)またはエリア選局(E-10)を行ってください。

自動選局をやめる

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局をやめる場合は、**自動選局**をタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に変えてください。

手動選局

手動で周波数を合わせることができます。

1

MENU を押し、**情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2

+／**−** をタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

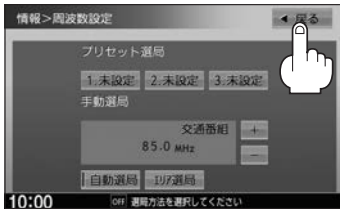
※ **+** をタッチすると、0.1 MHzアップ、長押しすると始めは0.1 MHzアップし、その後1 MHzずつアップします。
− をタッチすると、0.1 MHzダウン、長押しすると始めは0.1 MHzダウンし、その後1 MHzずつダウンします。



情報

3

戻る をタッチする。



手順 2 で表示させた周波数に変わります。

エリア選局

現在地周辺のFM放送局リストが表示され、選んだ放送局を受信します。



電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を設定してください。【「手動選局」】E-9

1

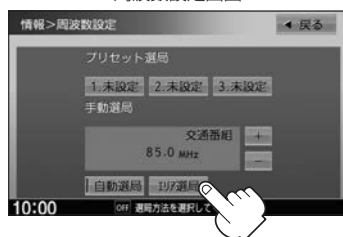
MENU を押し、**情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2

エリア選局 をタッチする。

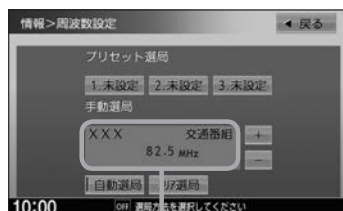
周波数設定画面



3

受信する放送局を選び、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト



リストで選んだ放送局を受信

プリセット(保存)する

放送局を3局までプリセット(保存)できます。

1

プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)



アドバース

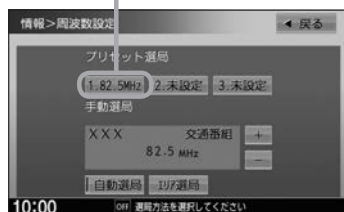
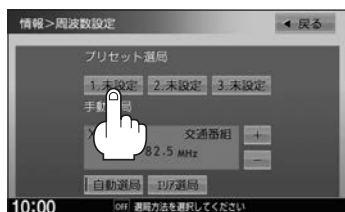
自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。

 「自動選局をやめる」E-9

2

保存する場所(**1.未設定** / **2.未設定** / **3.未設定**)を選び、長押しする。

未設定が82.5 MHzに変わります。



情報



アドバース

上記手順 **2** で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。

プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)した放送局を呼び出すことができます。

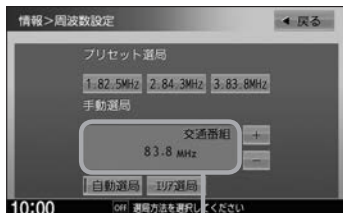
1

MENU を押し、**情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2

呼び出す周波数を選び、タッチする。



84.5 MHzが83.8 MHzに変わります。

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

プリセット(保存)の上書きをする

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1

MENU を押し、**情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

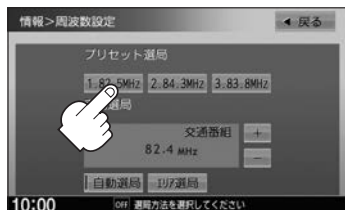
2

新しい放送局を呼び出す。

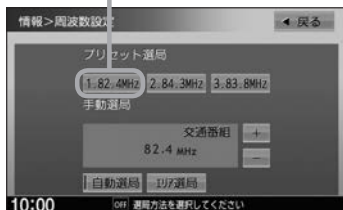
「交通情報／一般情報を選局する」E-8

3

上書きしたい場所を選び、長押しする。



長押しする



82.5 MHzが82.4 MHzに変わります。

internavi に接続して、インターナビが提供する情報を見ることができます。

1

MENU を押し、**情報** → **internavi 情報** をタッチする。

2

各操作は、別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

本体情報を見る

情報

地図データのバージョン、本体のシリアル番号を見ることができます。

1

MENU を押し、**情報** → **本体情報** をタッチする。

：本体情報画面が表示されます。

本体情報画面



地図データの詳細を表示

ecoドライブ情報を設定する

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(ecoドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

1

MENU を押し、 **情報** → **ecoドライブ** をタッチする。

: ecoドライブ情報画面が表示されます。



ecoドライブ情報画面について

- 1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル 初級で評価した場合、マークを表示

急加速 急に加速した回数

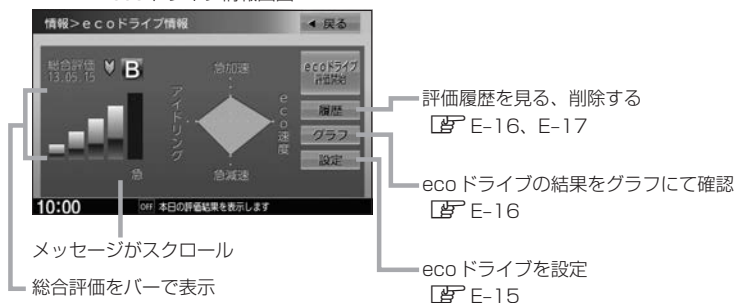
急減速 急に減速した回数

eco速度 規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

アイドリング 車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

総合評価 総合評価をA～Eの5段階で判定

ecoドライブ情報画面



- この評価は本機独自の評価です。グラフの数が5つのときはA、4つのときはB、3つのときはC、2つのときはD、1つのときはE評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。

2

ecoドライブ評価を中止／開始する。

ecoドライブ評価を開始する

ecoドライブ評価開始 をタッチする。

: ecoドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バーに

eco マークを表示します。

ecoドライブ情報画面



■ ecoドライブ評価を止める

ecoドライブ評価中止 をタッチする。

：ecoドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バーの

eco マークが消えます。

ecoドライブ情報画面



ecoドライブ設定をする

1

MENU を押し、**情報** → **ecoドライブ** → **設定** をタッチする。

：ecoドライブ設定画面が表示されます。

ecoドライブ情報画面



情報

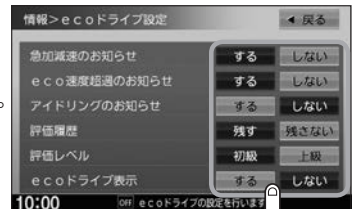
2

各種設定を選び、タッチする。

※評価レベルを変更する場合、メッセージが表示されるので、**はい** / **いいえ** を選び、タッチしてください。

※ecoドライブ評価中止時、ecoドライブ表示を **する** をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し、**OK** をタッチしてください。

※eco速度超過のお知らせの **する** をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し **OK** をタッチしてください。



アドバイス

- 手順 **2** でecoドライブ表示を **する** に設定した場合、ecoドライブ評価中は現在地の地図画面に戻ったとき右画面にecoドライブ情報を表示します。ecoドライブ情報の表示を止めたい場合は、ecoドライブ表示の **しない** をタッチしてください。
- 手順 **2** で評価レベルの **初級** を選ぶと、2画面表示またはecoドライブ情報を表示させるとき **B** マークが表示されます。
- ルート情報／ハイウェイモード表示中はecoドライブ表示を **する** に設定しても右画面にecoドライブ情報は表示されません。
- Quick** → **右画面表示** → **ecoドライブ** とタッチして、右画面にecoドライブ情報を表示することもできます。

ecoドライブ情報を設定する

評価履歴を見る

- 1** **MENU** を押し、 **情報** → **ecoドライブ** → **履歴** をタッチする。

： ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。



- 2** リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

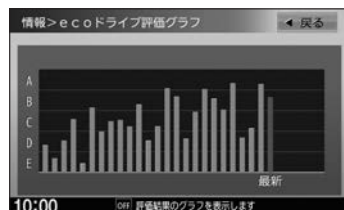
： ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。



グラフ表示で見る

- 1** **MENU** を押し、 **情報** → **ecoドライブ** → **グラフ** をタッチする。

： グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。



評価履歴を削除する

1

MENU を押し、**情報** → **ecoドライブ** →
履歴 をタッチする。

：ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。

ecoドライブ情報画面



2

削除したい履歴を選び、タッチする。

：ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

ecoドライブ評価履歴画面



全ての評価履歴を削除

情報

3

削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると
履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

ecoドライブ評価履歴の詳細画面



ecoドライブ情報を設定する



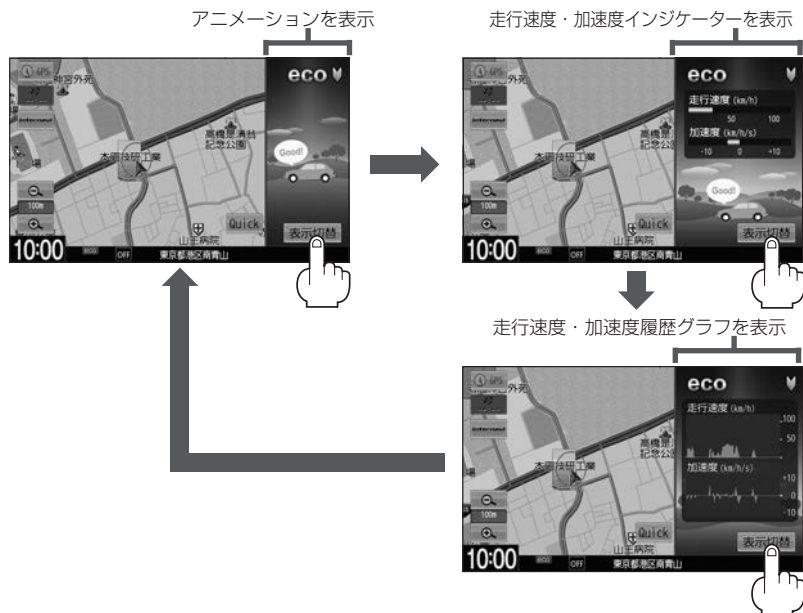
アドバイス

- E-14の手順 **2** でecoドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにはチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。

※ecoドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。

- 右画面にecoドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたecoドライブ情報は、**表示切替** をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大図などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大図などを優先して表示します。

※ecoドライブ評価を開始していない場合は、右画面にecoドライブ情報を表示しません。



- ecoドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。
- アニメーション、走行速度・加速度インジケータの場合、現在の走行状態によって車の色が変わります。(水色=優良、ピンク色=注意、茶色=要注意)
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- ecoドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

F

ナビゲーションの設定

地図画面の設定をする	F-2
3D表示の角度調整をする	F-3
地図の色を設定する	F-4
表示項目の設定をする	F-5
ルート案内画面の設定をする	F-7
ランドマーク表示の設定をする	F-14
自車マークの種類を設定する	F-15
現在地(自車)の位置を変更する	F-16
VICS表示の設定をする	F-17
音声案内の音量調整／詳細設定をする	F-18
音声案内の音量調整／消音設定をする	F-18
音声案内の詳細設定をする	F-19

平均時速を設定する	F-20
登録地点の編集	F-21
登録地点を並び替える	F-25
自宅／登録地点の位置を修正する	F-27
自宅／登録地点を削除する	F-28
SDカードから地点を登録する	F-29
パーソナルHPと同期について	F-30
軌跡を使う	F-31

地図画面の設定をする

メイン画面または右画面の名称の文字サイズ／吹き出し表示／標高地図を表示をする・しない／地図モード／3Dの視角調整をそれぞれ選ぶことができます。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

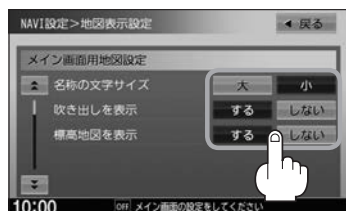
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定

① “メイン画面用地図設定” から変更したい設定項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ

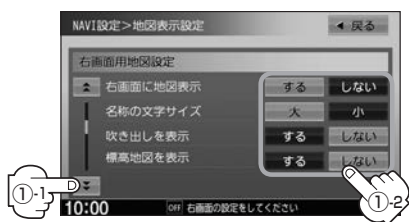


▲ をタッチ



■ 右画面の設定

① ▼ → “右画面用地図設定” を表示させ、変更したい設定項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ



▲ をタッチ



“名称の文字サイズ” について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

“吹き出しを表示” について

高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない交差点では表示しません。



“標高地図を表示” について

地図の縮尺が 10 km 以上の画面で、地形地図にする／しないの設定ができます。

“地図モード” について

- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3D” に設定できます。
地図表示(方位)は、地図画面の方位ボタンをタッチして切り替えることもできます。
各地図表示の特長については「[B-4](#)」 「地図表示(方位)を切り替える」 B-4
- 1 ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

3D 表示の角度調整をする

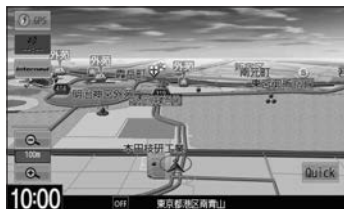
1 F-2 手順 **1**、**2** に従って操作する。

2  /  をタッチして調整する。

 : 角度を下げます。

 : 角度を上げます。

見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき



地図の色を設定する

平面・3D地図画面時の色、地図切り替え、標高地図の色を選ぶことができます。

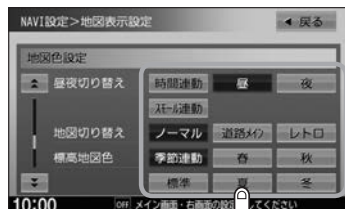
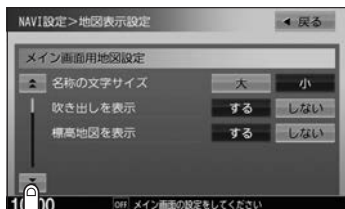
1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

▼ → “地図色設定” を表示させ、設定したい項目を選んでタッチする。



昼夜切り替え	時間連動	日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替え
	スモール連動	車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替え
地図切り替え	ノーマル	道路・文字が標準的に表示
	道路メイン	詳細地図で国道と一般道を識別しやすくするため、道路をしっかりと表示
	レトロ	彩度を落とした落ち着いた色調で表示
標高地図色	季節連動	GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替え

表示項目の設定をする

地図画面や情報バーに MAPCODE / AUDIO 情報 / 緯度・経度 / 登録地点の表示または非表示の設定、地図情報の表示設定を行います。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

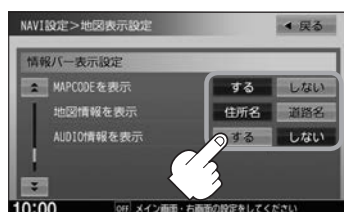
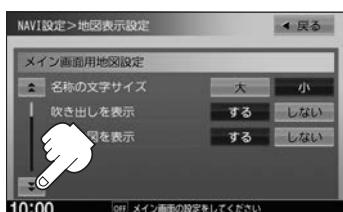
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

情報バー表示またはその他の設定をする。

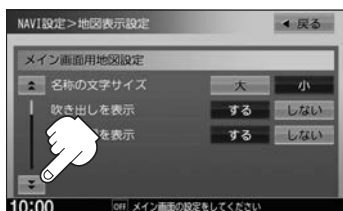
■ 情報バー表示設定

①  → “情報バー表示設定” を表示させ、設定項目を選んでタッチする。



■ その他の設定

①  → “その他設定” を表示させ、設定項目を選んでタッチする。



“MAPCODEを表示”について

情報バー（現在地表示時は除く）に、マップコードを表示することができます。



表示項目の設定をする

“地図情報を表示” について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合



“AUDIO 情報を表示” について

現在地表示時に、情報バーに再生中の曲名や周波数、放送局名などを表示することができます。

※ BLUETOOTH Audio 再生時は曲名がでない場合もあります。

曲名を表示する場合



“緯度・経度を表示” について

地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。

“登録地点を表示” について

しない にすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。



登録地点マーク

ルート案内画面の設定をする

ルート案内時に表示する内容を設定します。

1

MENU

を押し、**設定** → **NAVI設定** → **表示** → **ルート案内設定** をタッチする。
：ルート案内の設定画面が表示されます。

2

設定する項目を選んでタッチする。

☒ 全ルートの表示…………… F-7

☒ 交差点情報の表示…………… F-7

☒ ルート色の表示…………… F-8

☒ ETCレーンの表示…………… F-8

☒ ルート情報の表示…………… F-8

☒ ハイウェイモードの表示…………… F-9

☒ JCTビューの表示…………… F-10

☒ 交差点拡大図の表示…………… F-11

☒ リアル3D表示…………… F-11

☒ 方面看板の表示…………… F-12

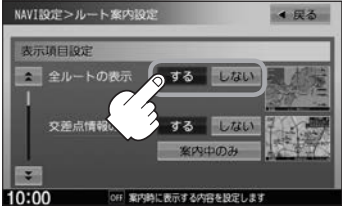
☒ AV画面中の案内割込み…………… F-12

☒ 盗難多発地点案内…………… F-13

☒ 目的地方向を表示…………… F-13

■ 全ルートの表示設定

する	ルート探索終了後全ルートを表示
しない	ルート探索終了後全ルートは非表示 ※複数ルート探索後は全ルート表示となります。



NAVI
設定

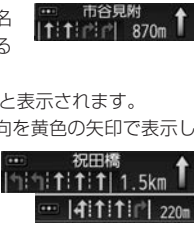
■ 交差点情報の表示設定

する	走行中は常に交差点情報を表示
しない	交差点情報を非表示
案内中のみ	ルート案内時のみ交差点情報を表示



アドバース

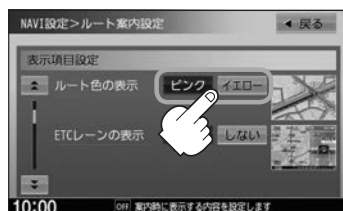
- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。（表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。）
※次の交差点が10 km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- **する** / **案内中のみ** に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。



ルート案内画面の設定をする

■ ルート色の表示設定

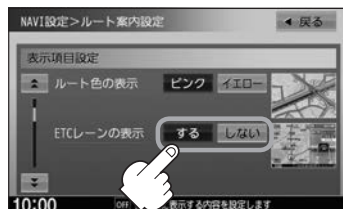
ピンク	設定ルートの色をピンクで表示
イエロー	設定ルートの色をイエローで表示



ピンク / **イエロー** のどちらを選んでも有料道路の設定ルートは青色になります。

■ ETCレーンの表示設定

する	料金所の手前でETCレーンを表示
しない	ETCレーンを非表示



- ETCレーン表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。

再度表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

- ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。

- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、

- ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。

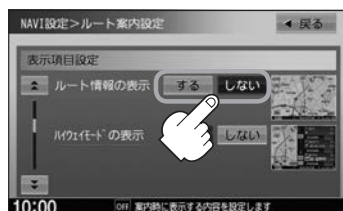
- ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ETCレーン表示など)が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

ETCレーンの表示



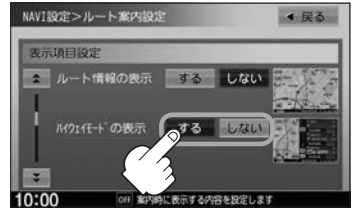
■ ルート情報の表示設定

する	ルート情報を表示
しない	ルート情報を非表示

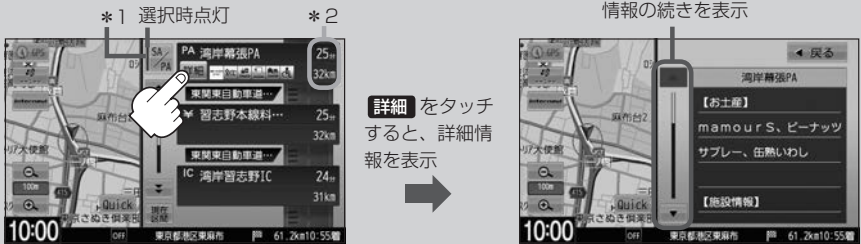


■ ハイウェイモード設定

する	高速道路／一般有料道路走行時のみ 情報を表示
しない	情報を非表示



- “ルート情報の表示”の**する**を選ぶと、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。
するを選んだ場合、ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。
- “ルート情報の表示”の**する**を選ぶと、高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”は選べなくなります。
- ハイウェイモードを表示する設定にしている場合、ルートを引き回すと表示されません。
- ハイウェイモード設定はQuick MENUから設定することもできます。
[右]「右画面に地図／情報を表示する」B-14
- 停車中に**詳細**をタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。（探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。）
- 走行中は詳細情報は表示できません。

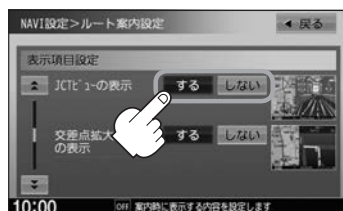


- * 1…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA／PA** をタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。
再度 **SA／PA** をタッチすると元の情報に戻ります。
 - * 2…ルート情報／ハイウェイモード表示に経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示します。
- ※探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選べません。
- VICS 情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS 情報マークを表示します。
[右]「**マーカー一覧表**」E-5

ルート案内画面の設定をする

■ JCTビューの表示設定

する	JCTビューを表示
しない	JCTビューを非表示



- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。

- JCTビュー表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、

- ・ データが収録されていない分岐点では、JCTビューは表示しません。
- ・ データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

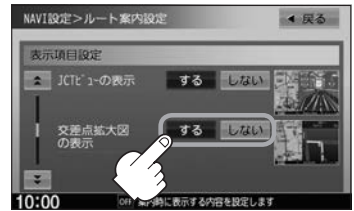
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

JCTビューの表示



■ 交差点拡大図の表示設定

する	交差点拡大図を表示
しない	交差点拡大図を非表示



- 主要な交差点に近づくとき、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設)とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合やGPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に動きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合も動きません。
- 交差点拡大図表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

交差点拡大図の表示

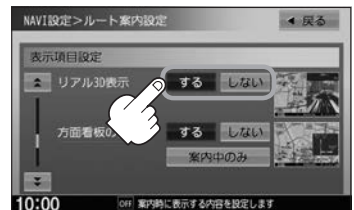


※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
 - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
 - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

■ リアル3Dの表示設定

する	リアル3D交差点を表示
しない	リアル3D交差点を非表示



- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- **▶** をタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

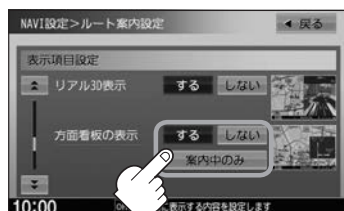
リアル3D表示



ルート案内画面の設定をする

■ 方面看板の表示設定

する	走行中は常に方面看板を表示
しない	方面看板を非表示
案内中のみ	ルート案内時のみ方面看板を表示



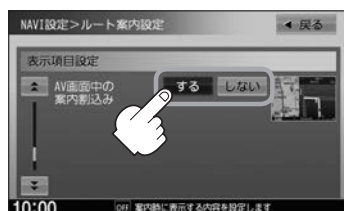
- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約 1 km 手前で表示され、案内ポイントに近づくとき約 150 m 手前で交差点拡大表示に切り替わります。



- 交差点までに距離がない(約 150 m 未満)の場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する** / **案内中のみ** に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
- **▶** をタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

■ AV 画面中の案内割込み設定

する	AV 画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替え、ルート案内画面を表示 ※ルート案内終了後、AV 画面に戻ります。
しない	案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面への切り替えなし



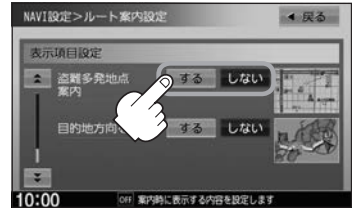
- **▶** をタッチするとルート案内画面を一時的に消すことができます。
- AV 画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、AV 画面表示中に、右折や左折などの案内割込みが発生しても、AV 画面を操作している場合はナビゲーション画面に切り替わりません。
- AV 画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、ナビゲーション画面に切り替わった際にナビゲーション画面を操作すると、AV 画面には戻りません。

盗難多発地点案内設定

する	地図上に盗難多発地点  (マーク)を表示
しない	盗難多発地点  (マーク)を非表示

- **する** を選んだ場合は、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。

 マークは地図の縮尺スケールが200 m以下で表示されます。



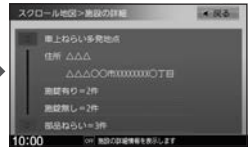
地図をスクロールして、
 マークに合わせる。



設定 をタッチ



施設詳細 を
タッチ



：過去に盗難があった地点
の情報が表示されます。

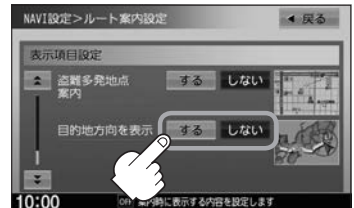


アドバイス

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。
- 盗難多発地点の  マークの表示は盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。(地域により基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、メッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行するとメッセージと音声でお知らせします。
- 3D表示では  マークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、**設定** をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。[ 「地図表示(方位)を切り替える」B-4

目的地方向表示の設定

する	自車マークから目的地まで直線で表示
しない	目的地方向を非表示



ランドマーク表示の設定をする

特定の施設を探したいとき、または道しるべとして利用したいときなどは、各施設を地図上にマークで表示(ランドマーク表示・最大300件)させることができます。

1

MENU を押し、 **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **ランドマーク設定** をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

2

リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

：詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、選んだジャンルにマーク(✓印)が付き、設定が完了します。



3

リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選んだ施設にマーク(✓印)が付きます。

※ **全選択** をタッチすると全施設にマーク(✓印)が付きます。



■ ランドマークの表示をやめる

① 上記手順 2 で表示を止めたいジャンルを選んでタッチする。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、マーク(✓印)が消え、設定が完了します。

② 詳細施設をタッチする。

：マーク(✓印)が消えます。

※全解除したい場合は、 **全解除** をタッチします。

4

戻る をタッチする。

：選んだジャンルにマーク(✓印)が付きます。



アドバイス

- ランドマーク表示は、縮尺スケールが400 m以下の場合に表示されます。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソル(→)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。

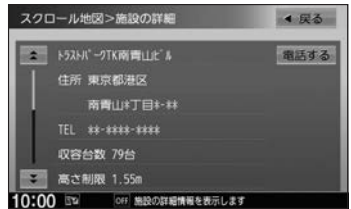
設定 → **施設詳細** をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

施設に電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。)

※携帯電話を接続(登録)していない場合、**電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります。)



詳細情報画面



自車マークの種類を設定する

自車マークの種類を選ぶことができます。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **表示** → **カーマーク設定** をタッチする。

：カーマーク設定画面が表示されます。

2

マークの種類を選んでタッチする。



現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

- 1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(—|—)を合わせる。

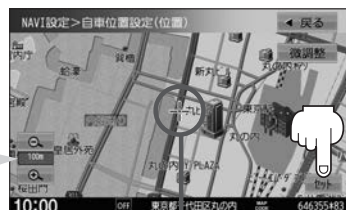


- 2 **MENU** を押し、**設定** → **NAVI設定** → **表示** → **自車位置設定** をタッチする。
：自車位置設定(位置)画面が表示されます。

- 3 カーソル(—|—)の位置を確認し、必要であれば微調整して修正する。

- 4 **セット** をタッチする。
：自車位置設定(角度)画面になります。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。



カーソル(—|—)

- 5 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、**セット** をタッチする。
：修正した現在地の地図画面が表示されます。

進行方向



5-2



現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。

VICS 表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** → **VICS** をタッチする。

： VICS 表示設定画面が表示されます。

2

表示したい道路を選んでタッチする。

： 表示灯が点灯／消灯し、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

一般道	一般道路に対し交通情報を表示
有料道	有料道路に対し交通情報を表示



3

表示したい項目を選んでタッチする。

： 表示灯が点灯／消灯し、選んだ項目の表示／非表示が切り替わります。



アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
 - 情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。
 - レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
 - 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、交通情報(VICS)を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。
- ☞ 「交通情報／一般情報の操作の流れ」 E-3
- ☞ 「交通情報／一般情報を選局する」 E-8

音声案内の音量調整／詳細設定をする

ルート案内時の音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／高速走行時の音声切替／VICS案内のお知らせの設定をすることができます。

音声案内の音量調整／消音設定をする

1

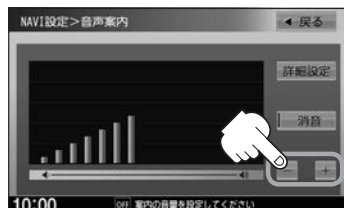
MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **音声案内** をタッチする。

：音声案内画面が表示されます。

■ 音声案内の音量調整

- ① **－**／**＋** をタッチして、
好みの音量に調整する。

：調整時にテスト音声がかかります。



■ 音声案内をやめる

- ① **消音** をタッチする。

：表示灯が点灯し、音声が消えます。

※音声を出したい場合は、再度**消音**をタッチしてください。



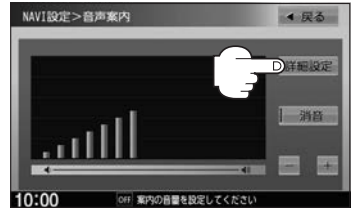
音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。

アドバイス

音声案内の詳細設定をする

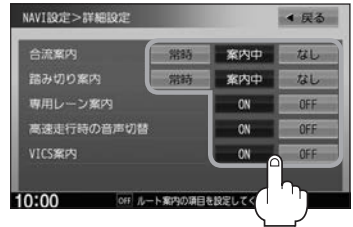
1

MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** →
音声案内 → **詳細設定** をタッチする。



2

設定したい項目をタッチする。



■ 合流案内／踏み切り案内の設定

高速道路で合流地点が近くなった際の音声案内や踏み切りが近くなった際の音声案内の設定を変えることができます。

① 合流案内／踏み切り案内の設定を選んでタッチする。

常時	ルートを設定していないときでも音声案内をする
案内中	ルート案内中に音声案内をする
しない	音声案内をしない

■ 専用レーン案内の設定

ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせないを設定することができます。

① 専用レーン案内の設定を選んでタッチする。

ON	ルート案内中に音声案内をする
OFF	音声案内をしない

■ 高速走行時の音声切替の設定

高速走行時の音声案内の音量を自動で設定することができます。

① 高速走行時の音声切替の設定を選んでタッチする。

ON	高速走行中に自動で音量を上げる
OFF	高速走行中に自動で音量を上げない

■ VICS 案内の設定

発生した渋滞や交通規制をお知らせする音声案内の設定をすることができます。

① VICS 案内の設定を選んでタッチする。

ON	渋滞／規制情報がある場合に音声案内をする
OFF	情報がある場合でも音声案内しない



アドバイス

VICS 情報を受信できない場合などは、VICS 案内の **ON** を選んでいても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

平均時速を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。

そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

1

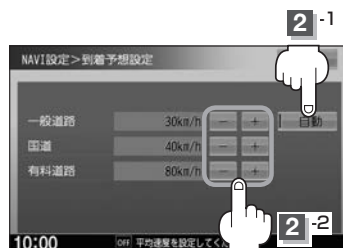
MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** → **到着予想** をタッチする。

：到着予想設定画面が表示されます。

2

自動 → **−** / **+** をタッチして平均走行速度を設定する。(5 km/h 単位)

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。



アドバイス

自動 をタッチして表示灯を消灯にしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。

登録地点の編集

登録した地点の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモを登録したり、登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくなったりすることができます。また、低速でカメラ地点に近づいたときに自動でカメラ映像に切り替える設定をすることもできます。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2

編集したい項目を選んでタッチする。



■ 自宅／登録地点を編集する

① 自宅編集／登録地点編集 をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **登録地点編集** をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選んでください。



アドバイス

● 前回 **フォルダ** を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには **全表示** をタッチしてください。

● カーソル(—|—)を登録地点マークに合わせ **設定** → **地点編集** をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

※この場合、位置修正はできません。

フォルダ選択画面



② 変更／登録する項目をタッチする。

名称 …名称を変更します。

フォルダ …フォルダを選びます。
(登録地点編集時のみ表示)

TEL …電話番号を登録します。

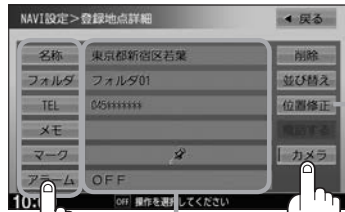
メモ …メモを登録します。

マーク …マークを変更します。

アラーム …アラーム音を変更します。

カメラ …カメラ地点の自動表示を設定します。
(別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示)

登録地点詳細画面



現在登録している
情報を表示

登録地点の位置を修正



電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。[車 Q-2] 携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります。)

□ 名称／メモを編集する

1. **名称** または **メモ** をタッチする。

：名称編集またはメモ編集画面が表示されます。

2. 文字を入力し、**決定** をタッチする。

：登録地点詳細画面に戻ります。



□ フォルダを変更する

1. **フォルダ** をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

2. リストから移動したいフォルダを選んでタッチする。

：選んだフォルダに登録地点が移動し、登録地点詳細画面に戻ります。



□ 電話番号を編集する

1. **TEL** をタッチする。

：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字をタッチし、**決定** をタッチする。

※ 20文字まで入力できます。



□ **アラームを編集する**1. **アラーム** をタッチする。

：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。

※ **OFF** を選んだ場合、アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離を選んでタッチする。

※ 選んだ距離まで近づくと、アラーム音が鳴ります。

4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、**進入角度** をタッチする。

：進入角度編集画面が表示されます。

5. 矢印をタッチして自車マークの方向を修正し、**セット** をタッチする。

：アラーム編集画面に戻り、**進入角度** の表示灯が点灯します。

6. **戻る** をタッチする。**アラーム音の種類**

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音 1
アラーム7	効果音 2
アラーム8	効果音 3
アラーム9	効果音 4



アドバンス

音声案内の音量設定(「F-18」で消音設定している場合はアラーム音が鳴りません。

□ **マークを編集する**1. **マーク** をタッチする。

：マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして **戻る** をタッチする。

※ 選んだマークが地図上に表示されます。

※ F-24の「カメラ地点編集をする」で「カメラ地点」を表示する(ON)に設定している場合は、マークの変更はできません。

登録地点の編集

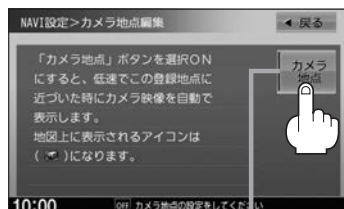
□ カメラ地点編集をする

1. **カメラ** をタッチする。

：カメラ地点編集画面が表示されます。

2. **カメラ地点** をタッチする。

：表示灯を点灯／消灯するたびにカメラ映像を自動で表示する(ON)／しない(OFF)が切り替わります。



表示灯

3. **戻る** をタッチする。



表示する(ON)に設定した場合、カメラ地点として設定されます。地図上のマークは  になり、他のマークには変更できません。

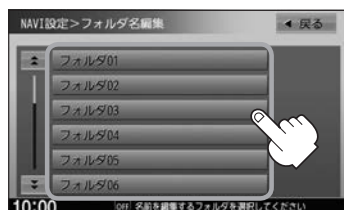
■ フォルダ名を編集する

① **フォルダ名編集** → リストから編集するフォルダを選び、タッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。



フォルダ指定なし は編集できないため表示されません。



② 文字を入力し、**決定** をタッチする。



本機は“かな”を1度に入力できる文字数が14文字までのため、14文字まで入力したら一度 **変換** / **無変換** をタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

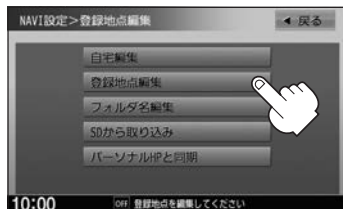
1

MENU を押し、**設定** → **NAVI 設定** → **地点編集** をタッチする。

2

登録地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。



【F-21でフォルダ】を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3

並び替えをしたい地点を選んでタッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内での並び替えをします。

登録順で表示

表示方法を選択



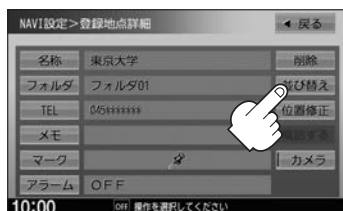
地点が登録された順
(古いものから)に表示

同じマークのもの同士を
まとめて表示

4

並び替え をタッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。



登録地点を並び替える

5 挿入したい場所の **挿入** をタッチする。

例 1. 東京ドームの上に挿入する場合

並び替えたい
地点の番号を
青色で表示



アドバイス

- 登録地点が自宅以外に2個以上ある場合に並び替えができます。1個の場合は **並び替え** は表示されません。
- カーソル(→)を登録地点マークに合わせ、**設定** → **地点編集** をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

自宅／登録地点の位置を修正する

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2

自宅編集／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **4** へ進んでください。



F-21 で **フォルダ** を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3

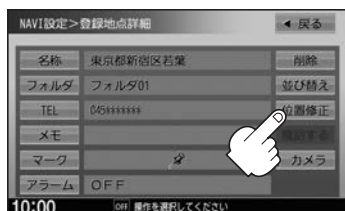
登録地点をタッチする。



4

位置修正 をタッチする。

：自宅または選んだ登録地点の地図が表示されます。



5

カーソル(—|—)の位置を修正する。

6

セット をタッチする。

：位置が修正されます。

自宅／登録地点を削除する

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2

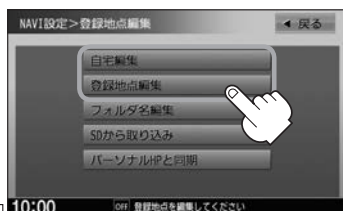
自宅編集／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **4** へ進んでください。



【F-21で**フォルダ**を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。



3

削除したい地点を選び、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

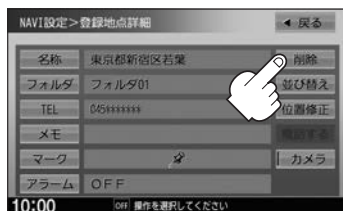
全ての登録地点を削除



4

削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



登録地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称などの項目も全て消えます。

SDカードから地点を登録する

VXM-145VSi

パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。(最大300カ所)
あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした
位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

1

△ を押し、**OPEN** をタッチする。

: ディスプレイが開きます。

2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

: 自動でディスプレイが閉じます。

3

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

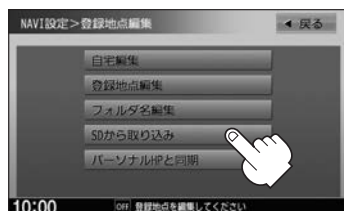
: 登録地点編集画面が表示されます。

4

SDから取り込み をタッチする。

: SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

※SDカードに位置情報ファイルがないとメッセージが表示されるので、**OK** をタッチしてください。



NAV
I
設
定

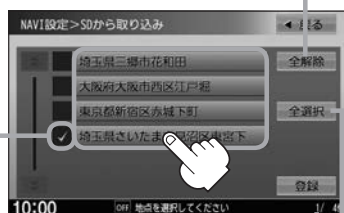
5

本機に登録したい地点を選んでタッチする。

: 選んだリストにマーク(✓印)が付きます。

マーク(✓印)は全て消去

マーク(✓印)



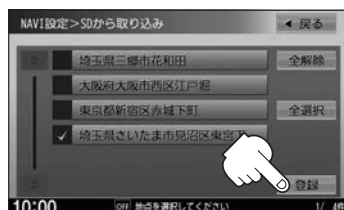
マークされた数

全リストにマーク(✓印)が付加

6

登録 をタッチする。

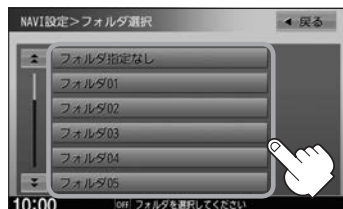
: フォルダ選択画面が表示されます。



7

保存したいフォルダを選んでタッチする。

：メッセージが表示され、登録地点編集画面に戻ります。



- 登録した地点を確認するには、**[MENU]** を押し、**設定** → **NAVI設定** → **地点編集** → **登録地点編集** をタッチしてください。
- 本機に登録しないと、名称／フォルダ／TEL／メモ／マーク／アラーム／カメラなどの編集を行うことはできません。
- SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。[F]「登録地点の編集」F-21
- 地点情報により、アラームが設定される場合もあります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

パーソナルHPと同期について

VXM-145VSi

登録地点の情報を、本機とインターナビ・リンク プレミアムクラブ会員専用のパーソナル・ホームページを同期することにより、お互いの情報を最新の内容に更新できます。

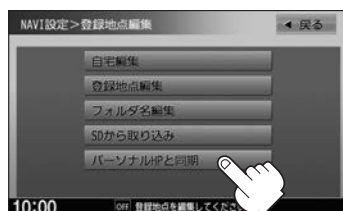
1

[MENU] を押し、**設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2

パーソナルHPと同期 をタッチする。



3

操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

軌跡を使う

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1

MENU を押し、**設定** → **NAVI設定** → **走行軌跡** をタッチする。

：走行軌跡の設定画面が表示されます。

2

軌跡の記録開始／停止／表示／非表示／確認／削除をする。

■ 軌跡の記録をする

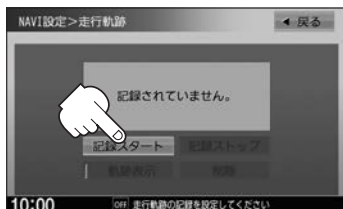
① **記録スタート** をタッチする。

：軌跡の記録を開始します。現在地(自転車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。また、それら軌跡の登録も開始します。



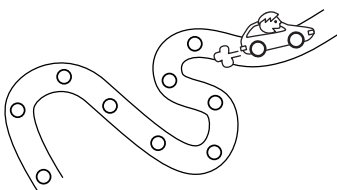
アドバイス

- 軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再度軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。



10:00

走行軌跡の記録を設定してください

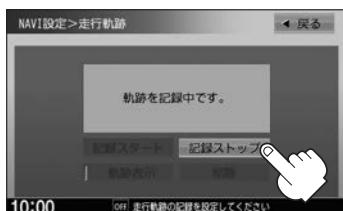


NAVI
設定

■ 軌跡の記録をやめる

① **記録ストップ** をタッチする。

：軌跡の記録をやめます。



10:00

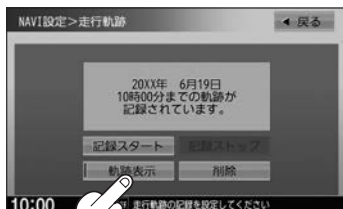
走行軌跡の記録を設定してください

■ 地図上に軌跡を表示する

① **軌跡表示** をタッチして表示灯を点灯させる。

：記録されている軌跡を表示します。

※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。



10:00

走行軌跡の記録を設定してください

軌跡を使う

■ 地図上の軌跡の表示をやめる

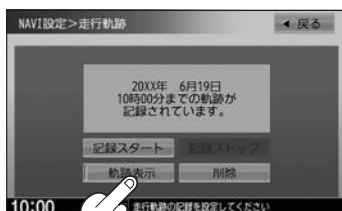
- ① **軌跡表示** をタッチして表示灯を消灯させる。

：記録されている軌跡の表示をやめます。



アドバイス

軌跡を記録中は、軌跡の表示をやめることはできません。

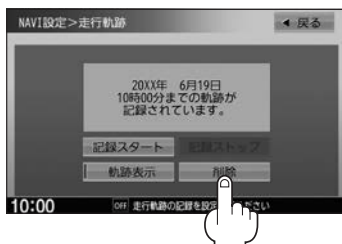


■ 軌跡を削除する

- ① **削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので、**はい** をタッチします。

※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。



G

各種設定をする

internavi 設定について	G-2
オプションボタンの設定をする	G-2
メンテナンス情報を設定する	G-3
設定したメンテナンス情報のお知らせを 止める／消去する	G-6
ETCの各機能を設定する	G-7
セキュリティを設定する	G-9
フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する...	G-10
フロントカメラ／コーナカメラの設定をする...	G-10
フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する...	G-12
リアカメラとコーナカメラを組み合わせて 使用する	G-12
フロントカメラ／コーナカメラ地点を登録する...	G-13
コーナカメラガイドを表示／非表示する	G-14
コーナカメラのビューを切り替える	G-14
コーナカメラガイドの見かた	G-15
カメラの映像について	G-16

リアカメラ映像を設定する	G-17
リアカメラ映像を表示する	G-17
ビューの切り替えをする	G-17
リアカメラガイドを表示／非表示する	G-18
警告文の位置を上げる	G-19
リアカメラガイドの見かた	G-20
カメラの映像について	G-21
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	G-22
キー操作音の設定をする	G-23
データを初期化(消去)する	G-24
時計表示の設定をする	G-25

インターナビの各種設定をすることができます。

1

MENU を押し、**設定** → **internavi 設定** をタッチする。

：internavi 設定画面が表示されます。

2

各操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

オプションボタンの設定をする

本機の  (オプション) によく使う機能を設定することができます。設定すると  を押して、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1

MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **オプションボタン** をタッチする。

：オプションボタン設定画面が表示されます。

2

設定する機能を選んでタッチする。



自宅	自宅までのルート探索をします。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示の右画面に地図を表示します。
ミュート	画面はそのまま、オーディオの音量のみ消します。再度  を押すと音量が出ます。
昼夜切替	 を押すたびに、画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えます。地図設定色も昼用・夜用の色に切り替えます。
フロントカメラ切替 コーナーカメラ切替	画面をフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えます。 (別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示) ※フロントカメラまたはコーナーカメラを接続した直後は、強制的に フロントカメラ切替 または コーナーカメラ切替 に設定されます。

メンテナンス情報を設定する

VXM-145VS

VXM-145C

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のオイルや消耗部品の交換・イベント時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

1

MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **お知らせ** をタッチする。

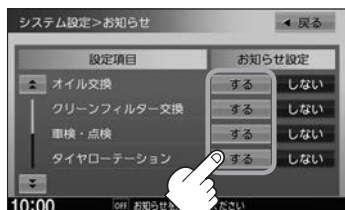
：お知らせ設定画面が表示されます。

2

設定したい項目の **する** をタッチする。

：各設定の詳細画面が表示されます。

お知らせ設定画面 1



▼ をタッチ

▲ をタッチ

お知らせ設定画面 2



3

詳細な設定をします。



アドバイス

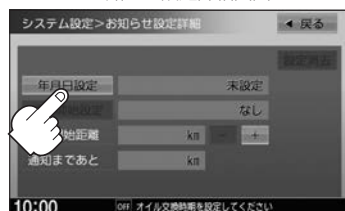
日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定してください。項目によっては日付のみの場合があります。

■ 日付の設定

① **年月日設定** をタッチする。

：年月日設定画面が表示されます。

お知らせ設定詳細画面



② **日付を選びタッチ**する。

：各設定の詳細画面に戻ります。



ここをタッチするとカレンダー送りができます。



アドバイス

設定した日付がすぎたら、再度、日付の設定をしてください。

システム
設定

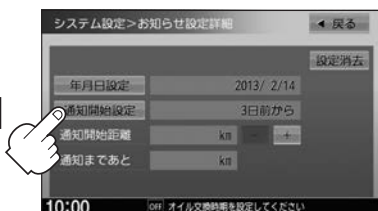
■ 通知開始日の設定

① 通知開始設定 をタッチする。

：タッチするたびに

→ 3日前から → 7日前から → なし(当日)

と切り替わります。



■ 通知開始距離の設定 (オイル交換・クリーンフィルター交換・タイヤローテーション選択時)

① - / + をタッチして距離を設定する。

※設定距離は500～30,000 kmの範囲で、
500 km単位で設定できます。



アドバイス

- 一定通知距離を設定した後、通知距離に満たない距離を走行した状態で、通知開始距離を短く設定した場合(通知距離“0”表示)次のエンジンスイッチⅠ(アクセサリ)／Ⅱ(ON)でメンテナンス情報が表示されます。このような場合は一度、設定消去(⌫ G-6)を行い、通知開始距離を現在の走行距離から通知距離に再設定してください。
- 設定した距離がすぎたら、メンテナンス情報の設定を消去(⌫ G-6)を行ってから再度距離の設定をしておってください。



距離の設定をする場合に表示され
ます。

■ 毎年通知の設定 (結婚記念日・誕生日1・誕生日2・お好み選択時)

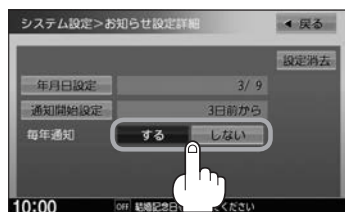
① する / しない をタッチして設定する。

する	設定した日付に毎年お知らせします。
しない	設定した日付だけお知らせします。



アドバイス

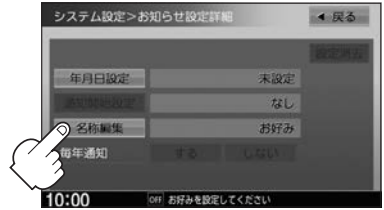
設定した日付がうるう日の場合、うるう日のない年は2月28日にお知らせします。



■ 名称の編集（お好み選択時）

① 名称編集 をタッチする。

：名称編集画面が表示されます。



② 文字をタッチして入力し、

決定 をタッチする。

☞ 入力方法はA-16

※ひらがな、カタカナ、漢字は5文字まで、
半角英数字は10文字まで入力できます。

：お好み設定詳細画面に戻ります。



4

戻る をタッチする。

：メンテナンス設定画面が表示され、設定した項目のメンテナンス設定は **する** が点灯します。
（ボタン点灯）



アドバイス

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーションを立ち上げた（起動した）ときにそれぞれの画面でお知らせします。

※設定当日のお知らせ画面で **今後表示しない** をタッチすると次回以降はお知らせしません。

※毎年通知の設定を **する** にしている場合の設定当日のお知らせ画面で **来年表示する** をタッチすると、今年のお知らせを終了し、来年また表示してお知らせします。

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきましたHonda 販売店へご相談ください。

- メンテナンス情報の設定をしていても、お知らせ設定を **しない** にしているときはお知らせしません。

☞ 「■ メンテナンス情報のお知らせを止める」 G-6

- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期はお車の使用状況によって異なる場合があります。

- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

設定したメンテナンス情報のお知らせを止める／消去する

■ メンテナンス情報のお知らせを止める

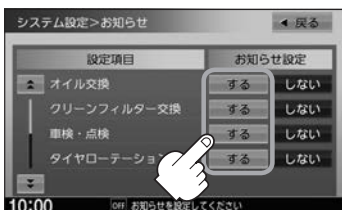
- ① **MENU** を押し、**設定** → **システム設定** → **お知らせ** → 各設定項目の **しない** をタッチする。

※お知らせしたいときには、再度 **する** をタッチしてください。



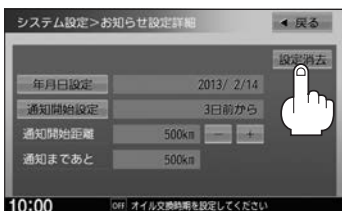
■ メンテナンス情報の設定を消去する

- ① **MENU** を押し、**設定** → **システム設定** → **お知らせ** → 設定を消去する項目の **する** をタッチする。



- ② **設定消去** をタッチする。

：設定を消去してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** をタッチします。



一度設定したメンテナンス情報は **設定消去** によって消去できます。新たにメンテナンス情報を設定したい場合には、必ず **設定消去** による設定の消去を行ってください。

ETCの各機能を設定する

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンの表示／非表示、料金所通過確認ブザーやETCカード有効期限内の設定をすることができます。
詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の説明書をご覧ください。

1

MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **ETC** をタッチする。

: ETC 設定画面が表示されます。

2

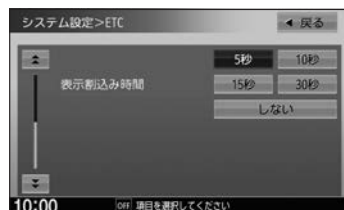
設定する項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ



▲ をタッチ



■ カード挿入アイコン表示の設定

する	ETCカードを挿入すると情報バーに ETC アイコンが表示
しない	ETCカードを挿入しても情報バーに ETC アイコンは非表示



カード挿入アイコン表示を **する** に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーに **ETC** アイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

システム
設定

■ 本体ブザー音の設定

する	ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせ
しない	ブザーでのお知らせなし

■ 音声案内の設定

する	利用料金などをナビゲーション本体から音声案内
しない	音声案内なし

■ カード入れ忘れ警告の設定

する	車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリ)またはⅡ(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、画面と音声でお知らせ
しない	お知らせなし

■ カード有効期限案内の設定

する	ETCカードの有効期限の2か月前または有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI（アクセサリ）またはII（ON）にすると、音声とメッセージ画面でお知らせ
しない	お知らせなし

■ 表示割込み時間の設定

5秒	10秒	ETC関係のお知らせをそれぞれの時間で表示
15秒	30秒	
しない		ETC関係のお知らせはなし



アドバイス

しない に設定していても料金所通過時、料金支払時は表示割込みされます。

セキュリティを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。設定すると、ナビゲーションがバッテリーから外され、再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないとナビゲーションが起動しません。

また、セキュリティインジケータの設定もすることができます。

セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが記載されています。

※セキュリティカードは、なくさないよう保管ください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げのHonda 販売店までお問い合わせください。

※セキュリティコードを変更することはできません。

1

MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **セキュリティ** をタッチする。

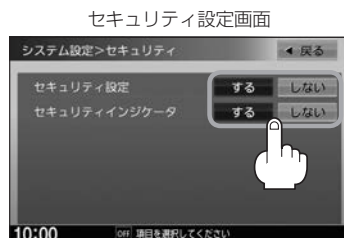
：セキュリティ設定画面が表示されます。

2

設定する機能を選んでタッチする。

■ セキュリティ設定

する	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続した際にセキュリティコード入力画面を表示
しない	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続してもセキュリティコード入力画面は非表示



■ セキュリティインジケータの表示設定 ※セキュリティ設定が **する** のときのみ設定可能

する	車のエンジンスイッチが0(ロック)時に、インジケータが点滅
しない	インジケータの点滅なし

フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的に画面がフロントカメラ／コーナカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイドコーナ付近から前方をモニター画面で確認することができます。

フロントカメラ設定／**コーナカメラ設定**は別売のフロントカメラ／コーナカメラ接続時に表示されます。

※フロントカメラ／コーナカメラの画質を調整するには **「映像の調整のしかた」** H-10

フロントカメラ／コーナカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、**アイ** アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

1 **MENU** を押し、**設定** → **システム設定** をタッチする。

2 **フロントカメラ設定**／**コーナカメラ設定** をタッチする。

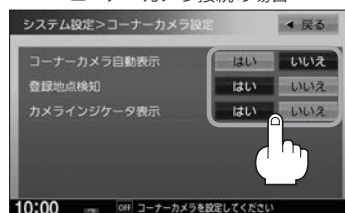
：カメラ設定画面が表示されます。

フロントカメラを接続している場合は、
ボタン表示が **フロントカメラ設定**



3 設定したい項目を選んでタッチする。

コーナカメラ接続の場合



4 **戻る** をタッチする。

：設定を保存し、システム設定画面に戻ります。

“フロント／コーナーカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

“登録地点検知” について

- 登録したカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- あらかじめカメラ地点を登録しておく必要があります。
設定「(フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する)」G-13
- カメラ地点編集画面で **カメラ地点** の表示灯を消灯している場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
設定「カメラ地点編集をする」F-24

“カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナーカメラを接続すると情報バーに



アイコンを表示する／しないの設定ができます。

アイコンの色について

茶系色：低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。

灰色：低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。



アイコン

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

“フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示”や“登録地点検知”で **はい** に設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

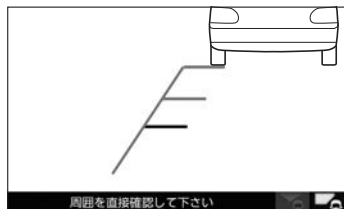
低速で走行すると・・・

：前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。

走行速度が上がると・・・

：もとの画面に戻ります。

コーナーカメラ映像



アドバンス

フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示 **いいえ** を設定した場合

- カメラの操作は、オプションボタンの設定を **フロントカメラ切替**／**コーナーカメラ切替** にしておく必要があります。[G-2]
- 低速走行または停車時に **[G-2]** を押して、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。もとの画面に戻りたいときは、再度 **[G-2]** を押してください。
- 高速走行時は **[G-2]** を押しても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。低速走行になると、1回だけカメラ映像を表示します。（**[G-2]** を押すとメッセージが表示され、低速走行になってもカメラ映像は表示しません。）

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する

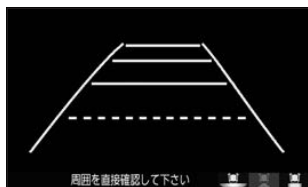
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のセレクトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

1

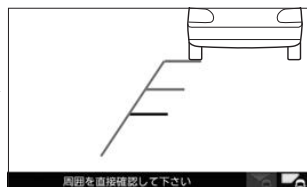
車のセレクトレバーをリバースに入れる。

※ **[G-2]** を押すたびに、映像画面が切り替わります。

リアカメラ映像画面



コーナーカメラ映像画面



アドバンス

車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

1

地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



2

地点登録をタッチする。



3

カメラ地点をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上にカメラ地点マークが追加されます。



システム
設定



アドバイス

フロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するか
のメッセージは表示されません。

コーナーカメラガイドを表示／非表示する

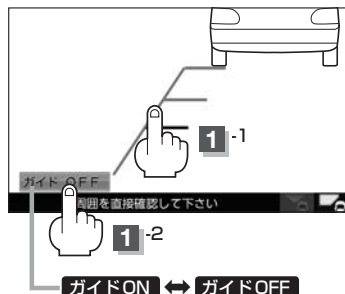


- 必要なガイド線はHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1

コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、**ガイドOFF** をタッチする。

：コーナーカメラガイドが非表示になります。



2

再度、表示させるには画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。

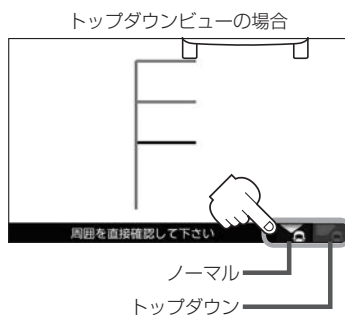
コーナーカメラのビューを切り替える (コーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ)

1

ビュー(ノーマル／トップダウン)
切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのコーナーカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



コーナーカメラガイドの見かた

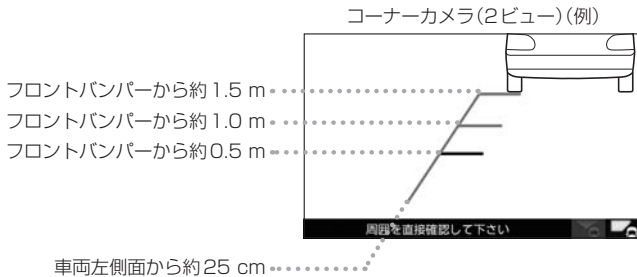
画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。



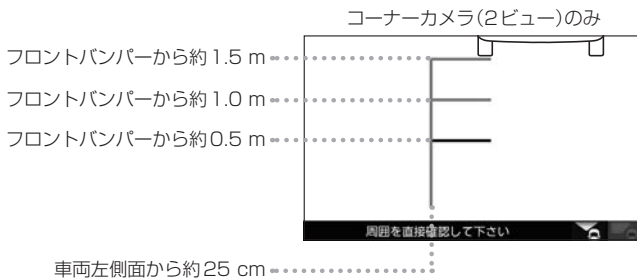
お願い

- 画面上に表示されるコーナーカメラガイドは目安です。コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

■ コーナーカメラ(ノーマルビュー)画面



■ コーナーカメラ(トップダウンビュー)画面



アドバイス

- ガイド線は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
- 図に示すガイド線の距離は、車種によって異なります。
- 次のようなときはガイド線と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナークメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。



お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナークメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナークメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナークメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

リアカメラ映像を設定する

車両標準装備
別売

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

※リアカメラの映像を調整するには「」映像の調整のしかた」H-10

リアカメラ映像を表示する

■ 車のセレクトレバーをリバースに入れる

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れる

：もとの画面に戻ります。



リアワイドカメラ接続時のみ表示

ビューの切り替えをする（リアワイドカメラ接続時のみ）

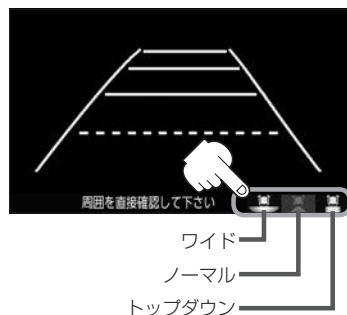
1

ビュー（ワイド／ノーマル／トップダウン）

切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



システム
設定



お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

リアカメラ映像を設定する

リアカメラガイドを表示／非表示する

- 1 パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れリアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチしボタンを表示させ、**ガイドOFF**をタッチする。

：リアカメラガイドが非表示になります。



アドバイス

ガイドON ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行ってください。

- 2 再度、表示させるには画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。



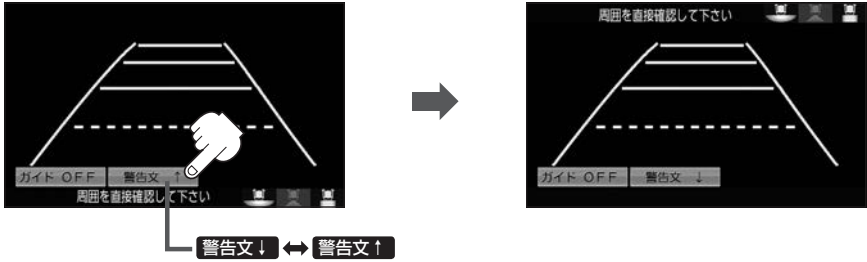
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

警告文の位置を上げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。

：画面下部の警告文が画面上部に表示されます。



2 位置を下げるには画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。



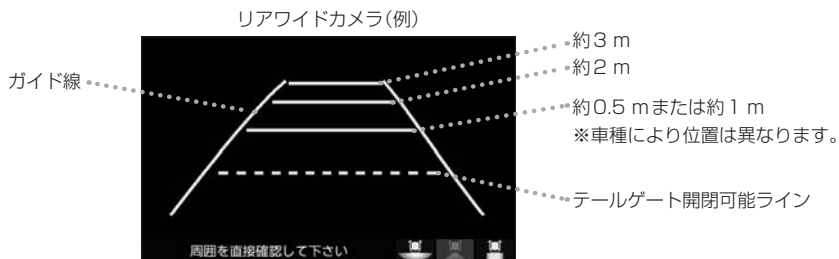
車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。

リアカメラ映像を設定する

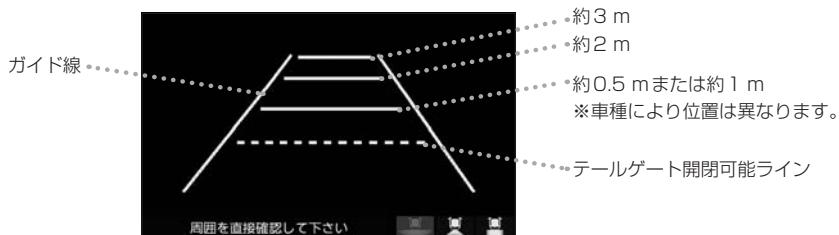
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類および選んだ表示ビューにより見え方が異なります。

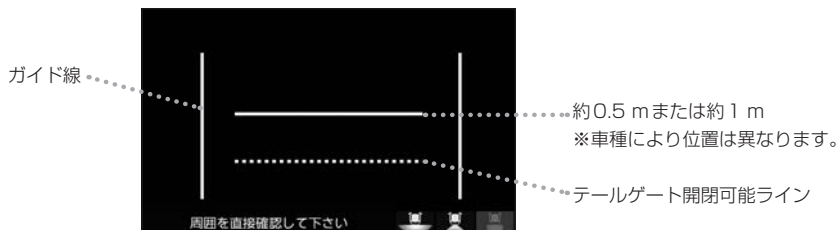
■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)画面



■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)画面

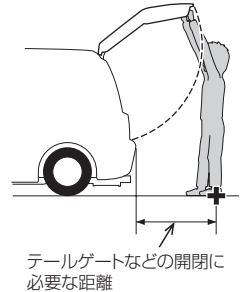


■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)画面





- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda 販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、Honda 販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・ 図(15 G-20)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - ・ 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。

リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1

MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

：リアカメラ設定画面が表示されます。

2

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。

- 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える

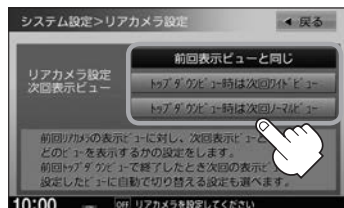
- ① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** / **トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー** をタッチする。

※リアカメラ表示終了後に 10 km/h を超えて走行していない場合は、次回表示ビューは切り替わりません。

- 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする

- ① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。

リアカメラ設定画面



キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1

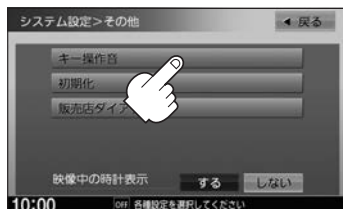
MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2

キー操作音 をタッチする。

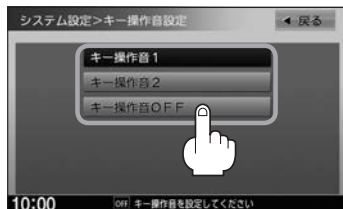
：キー操作音設定画面が表示されます。



3

キー操作音を選んでタッチする。

キー操作音 1	キー操作音 1 を出す
キー操作音 2	キー操作音 2 を出す
キー操作音 OFF	キー操作音を出さない



データを初期化(消去)する

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

1

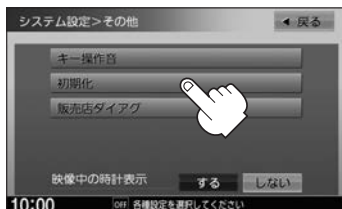
MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2

初期化 をタッチする。

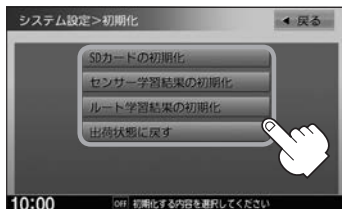
：初期化画面が表示されます。



3

初期化したい項目をタッチする。

※メッセージが表示されるので **はい** を画面に従って選びます。



SDカードの初期化	SDカードにあるデータを初期化します。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。 オーディオモードはOFFになります。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。
※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。



- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチをOFF(0(ロック))にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行ってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかったも、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

時計表示の設定をする

映像の全画面表示中に時計を表示する／しないを選べます。

1

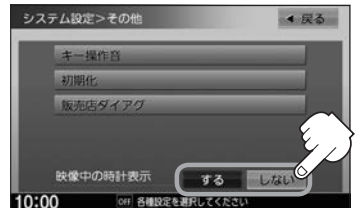
MENU を押し、**設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2

表示設定を選んでタッチする。

する	時計を表示する
しない	時計を表示しない



システム
設定

オーディオ／共通

基本操作	H-2
各ソースを選ぶ	H-2
映像の表示について	H-2
オーディオをON／OFFする	H-3
選曲／早戻し／早送りをする	H-4
1曲ずつトラックを戻す／進める	H-4
早戻し／早送りをする	H-4
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生	H-5
時計を表示する	H-8
音量を調整する	H-8
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	H-9
動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える	H-9

映像の調整のしかた	H-10
昼夜切替をする	H-12
画質調整を初期値に戻す	H-13
音声はそのまま画面を消す	H-13
フェード・バランスの調整をする	H-14
イコライザー(音質)の設定をする	H-16
イコライザーの値を初期値に戻す	H-17
サラウンドの設定をする	H-18
車速連動音量を設定する	H-19

基本操作

各ソースを選ぶ

1

AUDIO を押す。

： AV MENU 画面または前回最後に選んでいたソース画面が表示されます。前回のソース画面から他のソースに変えたい場合は再度 **AUDIO** を押して AV MENU 画面を表示させてください。

2

操作したいソースをタッチする。

： 選んだそれぞれのソース画面が表示されます。

AV MENU 画面



映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧にすることができます。(走行中は音声のみになります。)

DVD モード画面(走行中)* 1



* 1…VXM-145VSi / VS の場合

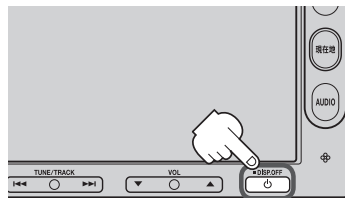
オーディオをON / OFFする

1

 を押す。

：オーディオの各ソースを再生／終了します。

※前回、音楽またはDVD*¹を再生していた場合は
つづきから再生を始めます。


 ボタン


アドハイス

BLUETOOTH Audio*¹ソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、AV電源OFF／車のエンジンスイッチをO(ロック)にしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

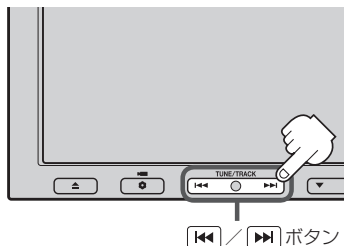
* 1…VXM-145VSi／VSの場合

選曲／早戻し／早送りをする

1 曲ずつトラックを戻す／進める

1 曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

前のトラックに戻る	 を2回押す ※ 1 回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。CD／iPodソースのとき、トラック再生開始後すぐに押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。
次のトラックに進む	 を押す



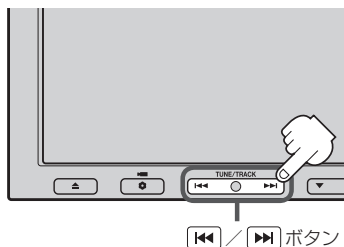
アドバース

BLUETOOTH Audioソース*¹のとき、BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。

早戻し／早送りをする

早戻しで戻る	 を押し続ける
早送りで進む	 を押し続ける

※それぞれのボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



アドバース

- DVDソース*¹の場合、通常の10倍の速さでの早戻し／早送りをします。
- BLUETOOTH Audioソース*¹のとき、BLUETOOTH Audio 機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や操作できない場合があります。また、早戻し／早送り中に再生時間表示が変化しない、正しい時間を表示しない場合があります。早戻し／早送りをすばやく解除すると、機器によっては早戻し／早送りが解除されない場合があります。(その場合は  (再生)／ (一時停止)をタッチして解除してください。)

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選ぶことができます。

1

再生モード をタッチする。

* 1…手順 **2** で選んだ再生モードのマークを表示



オーディオ
共通

2

再生したいモードを選び、タッチする。

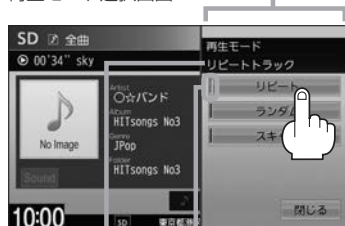
■ リピート(繰り返し)再生

① **リピート** をタッチする。

: 表示灯が点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチすることにより下記の
ように切り替わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

CD／USB／iPod／SD／
BLUETOOTH Audio*2*3

再生中の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

* 2…AVRCP Version1.4対応でリピート再生可能な
BLUETOOTH Audio機器を接続している
場合(機器によってはモードが正しく反映され
ない場合があります。)

* 3…VXM-145VSi／VSの場合

MP3／WMA

再生中の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

フォルダ内の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT FOLDER** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

■ ランダム(順序不同)再生

① **ランダム** をタッチする。

：表示灯が点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

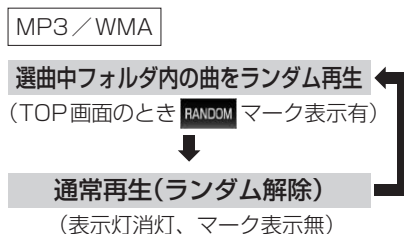
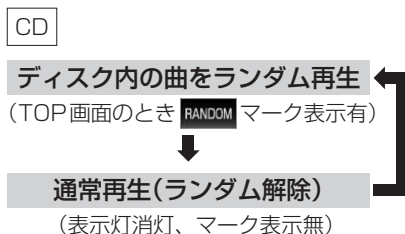
再生モード選択画面



選択中の再生モード

選択時点灯

の状態を表示



*1…AVRCP Version 1.4 対応でランダム再生可能な BLUETOOTH Audio 機器を接続している場合(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

*2…VXM-145VSi／VS の場合



ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯が点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード

選択時点灯

の状態を表示

CD・MP3／WMA

ディスク内の曲をスキャン再生
(TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

SD／USB

今聞いているリストの中からスキャン再生
(TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

オーディオ
共通



スキャンを解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生(iPodソースのみ)

① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯が点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(TOP画面のとき **SHUFFLE TRACK** マーク表示有)



今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(TOP画面のとき **SHUFFLE ALBUM** マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

3

設定を終えるには、**閉じる** をタッチする。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 各ソースのTOP画面で、**切替**をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するソースの場合、本設定はできません。

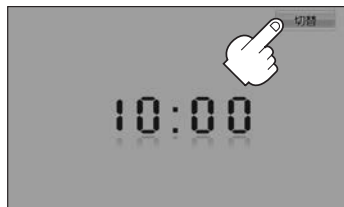
SDソースの場合



■ 再度、画面を表示する

① 画面をタッチし、**切替**をタッチする。

：手順**1**で表示させていたソースの再生画面が表示されます。



音量を調整する

1 ▼／▲を押す。

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※押し続けても調整することができます。

SDソース画面



▲を押すと音量を上げ、
▼を押すと音量を下げます。



アドバイス

- DVD^{*1}／BLUETOOTH Audio^{*1}／VTR／AUXソースの場合は個別に設定可能です。
 -  (オプション)にミュート機能を設定している場合は、を押して音を消すことができます。
-  「オプションボタンの設定をする」G-2

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のソースの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

オーディオ
共通

1 各ソース画面で、**現在地**を押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているソースの画面に戻す

① **AUDIO**を押す。

：今聞いているソースの画面に戻り、操作が可能になります。



音量調整や / を使った操作は、ナビゲーション画面のままでできます。

動作モード(音楽／画像／動画*¹)を切り替える

SD／USB ソースのとき、再生したいファイル(音楽／画像／動画*¹)に切り替えます。

1 **モード切替** をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SD ソース画面



2 再生したいファイルの種類をタッチする。

音楽ファイル	MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生 K-2
画像ファイル	写真などのJPEG 画像を表示 K-8
動画ファイル* ¹	MPEG4／H.264 ファイルの映像を表示 K-10



音楽ファイル……
画像ファイル……
動画ファイル……

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

映像の調整のしかた

明るさ／色の濃さ／コントラスト／色合いの調整やディスプレイを選ぶことができます。

※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。

映像の調整は停車中に行ってください。



アドバイス

- 映像の調整は各ソースごとに設定できます。(音楽／画像ファイル再生画面を除く)
- 携帯電話 タッチ後は、**[MENU]**を長押ししても画質調整を行うことはできません。

1

[MENU]を長押しする。

：画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するソースで画面調整画面が表示された場合は下記手順**2**へ、
画質調整画面が表示された場合は下記手順**3**へ、
音楽／画像再生の場合は下記手順**3** アドバイスへ進んでください。

2

画質調整をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面



3

調整したい項目をタッチする。



アドバイス

音楽／画像再生の場合、**明るさ**／**コントラスト**の調整となります。



画質調整画面

映像を表示するソースの場合



4

◀ / ▶ をタッチして値を調整する。



アドバイス

調整はタッチパネルの ▶ または ◀ をタッチし続けても調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのをやめてください。

画質調整画面



明るさ(1～31)調整

◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

コントラスト(1～31)調整

◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

色の濃さ(1～31)調整

◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

色合い(1～31)調整

◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると緑が強くなる。



アドバイス

人間の肌の色が自然な感じになるように調整してください。

映像の調整のしかた

■ ディスプレイ選択のとき

- ① **MENU** を長押しし、画面調整画面を表示する。
- ② ノーマル／フル／ワイド／シネマの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。



ノーマル : 4 : 3 の映像の画面
フル : 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
シネマ : 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



- シネマを選んだ場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- ワイドを選んだ場合、映像を拡大して表示するため映像の左右が画面から切れて見えなくなります。

昼夜切替をする

画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。

1

画質調整画面で **昼夜切替** をタッチする。

: タッチするたびに昼／夜と画面の輝度が切り替わります。



車のライトを ON / OFF した場合、昼／夜も連動して切り替わります。



画質調整を初期値に戻す

調整した画質をお買い上げ時に戻すことができます。

1

画質調整画面で **初期値** をタッチする。

：設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。

画質調整画面



音声はそのまま画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

[電源] を長押しする。

：画面が黒くなります。

■ 再度、画面を表示する

画面をタッチするか、再度 **[電源]** を押す。

：画面が表示されます。



アドハイス

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、**[電源]** を長押ししても画面を消すことはできません。

フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

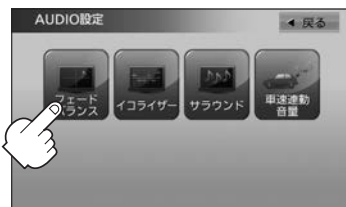
※ AV 電源 OFF の場合、フェード・バランスの調整することはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

※ DVD ソース*¹ 時は **MENU** を 2 回押します。

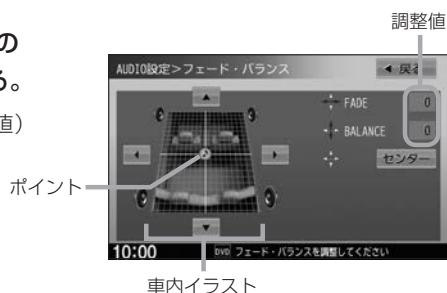
2 **設定** → **AUDIO 設定** → **フェードバランス** をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



3 調整したい項目(フェード／バランス)の
◀ / ▶ または ▼ / ▲ をタッチする。

※ 車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。



FADE(前9～後9)調整	▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、 ▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。
BALANCE(左9～右9)調整	◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、 ▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

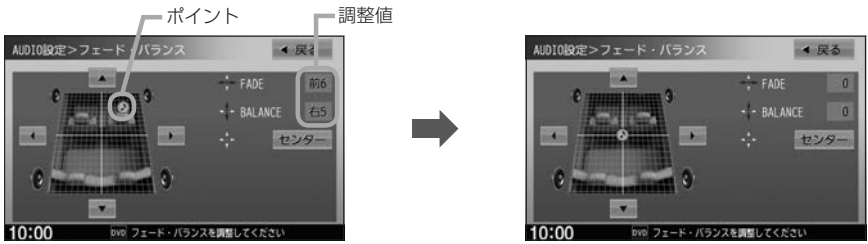
* 1…VXM-145VSi / VS の場合

フェード・バランスの調整をする



アドバイス

- **センター** をタッチすると ^{フェード}“FADE” と ^{バランス}“BALANCE” の値が “0” になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選んだり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。

※ AV 電源 OFF の場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

※ DVD ソース*¹ 時は **MENU** を 2 回押します。

2 設定 → **AUDIO 設定** → **イコライザー** をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。



アドバイス

交通情報受信画面(T-2) の場合、イコライザーの設定はできません。(ボタンは選べません。)



3 お好みの音質を選ぶまたは値を設定する。

■ お好みの音質を選ぶ

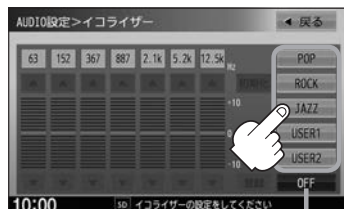
① 設定したい音質をタッチする。

：音質が確定され、選んだ音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

H-17

イコライザー画面



イコライザー画面で **OFF** をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。



アドバイス

POP / **ROCK** / **JAZZ** の値は本機に既存の値が設定されています。

USER1 / **USER2** の値は OFF 状態(±0)に設定されています。

* 1…VXM-145VSi / VS の場合

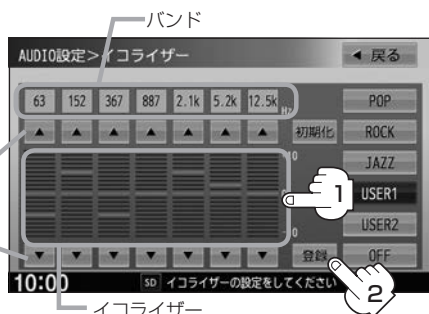
□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲／▼をタッチする方法の
2種類があります。



- ▲：レベルアップ
- ▼：レベルダウン



イコライザー
※イコライザーの — の部分
が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。



走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



アドバイス

- **登録** をタッチする前に音質を変更 (**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2** を選択) すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- 手順 **3** で音質を選ぶと DSP (H-18) は自動的に **OFF** となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき **EQ** マークが表示されます。

SD ソース画面



イコライザー画面を表示

マーク表示

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値をお買い上げ時に戻すことができます。

1

イコライザー画面で初期化したい音質をタッチする。

2

初期化 をタッチする。

：設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。



サラウンドの設定をする

※ AV 電源 OFF の場合、サラウンドの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** を押す。

※ DVD ソース*¹時は **MENU** を 2 回押します。

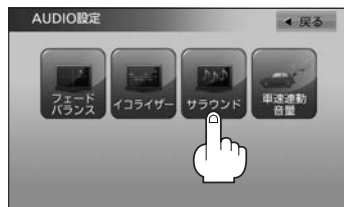
2 設定 → **AUDIO 設定** → **サラウンド** をタッチする。

：サラウンド設定画面が表示されます。



交通情報画面(「**ナビ**」-8)の場合、サラウンド(臨場感)の設定はできません。(ボタンは選べません。)

AUDIO 設定画面



3 **DSP** をタッチし、お好みのサラウンドをタッチする。

：選んだサラウンド効果で再生されます。

LIVE	サラウンドをライブハウスに設定
HALL	サラウンドをコンサートホールに設定
STADIUM	サラウンドをスタジアムに設定
CHURCH	サラウンドを残響音の多い教会に設定

サラウンド設定画面



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



SD ソース画面



手順 **3** で選んだサラウンドを表示

手順 **3** で **DSP** を選ぶとイコライザーの設定は自動的に **OFF** となります。

* 1…VXM-145VSi / VS の場合

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

オーディオ
共通

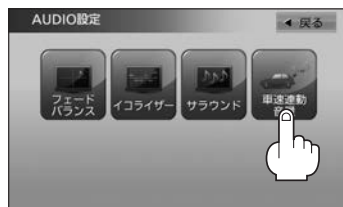
1 オーディオ画面で **[MENU]** を押す。

※DVDソース*¹時は **[MENU]** を2回押します。

2 **設定** → **AUDIO 設定** → **車速連動音量** をタッチする。

：車速連動音量画面が表示されます。

AUDIO 設定画面



3 設定したい連動音量をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
 - MIDDLE…HIGHとLOWの間
 - LOW…小さい
- となります。

連動音量



連動音量を設定しない場合は
OFF をタッチ

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



音量変化量

大

↑

なし

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

↑

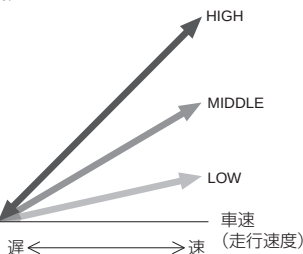
↑

↑

↑

↑

↑



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げます。
※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定されます。

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

FM / AM を聞く

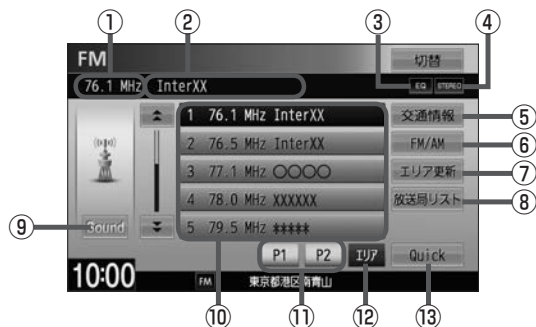
FM
AM

各部のなまえとはたらき	1-2
FM / AM 放送を切り替える	1-3
選局する	1-3
プリセットボタンにメモリーする	1-7
交通情報を受信する	1-8
道路交通情報を聞く	1-8
道路交通情報の受信を止める	1-8
道路交通情報の周波数を切り替える	1-8

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-12)から **FM/AM** をタッチすると、ラジオ画面が表示されます。

FM画面(**エリア** 選択時)



- ① 周波数
- ② 放送局名
- ③ イコライザー設定／選択中のサウンドマーク
- ④ ステレオ放送受信マーク
- ⑤ 交通情報を受信
- ⑥ FM／AMの切り替え
- ⑦ 現在いるエリアの放送局リストを更新
(**エリア** をタッチしたときのみ表示)
- ⑧ 放送局リスト画面を表示
- ⑨ イコライザー設定画面を表示
- ⑩ **プリセット** / **エリア表示** / **リスト表示**
(タッチして選局)
- ⑪ ユーザープリセットした放送局を⑩に表示
(下記アドバイス)
- ⑫ 現在地周辺の放送局を⑩に表示
- ⑬ Quick MENUを表示
- ⑭ 1つ前の画面に戻る
- ⑮ 周波数の切り替え

交通情報受信画面



アドバイス

放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ユーザープリセットについて

P1 **P2** それぞれに1～6のボタンがあり、ボタンを長押しすると、現在聞いている放送局をメモリーし、お好みの局リストにすることができます。

交通情報について

初期設定では1620 kHzに設定されています。

FM / AM 放送を切り替える

1

FM / AM をタッチする。

: タッチするたびにAM放送↔FM放送を切り替えます。

AM ↔ FM

FM放送の場合



FM / AM

選局する

1

選局する。

■ 手動選局で放送局を選ぶ

ひとつずつ上下する	/ を押す : 操作するたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHz ずつ変わります。
連続して上下する	/ を押し続ける : 周波数が早送り／早戻しします。 ※お好みの周波数で指をはなしてください。

■ 自動選局で放送局を選ぶ

① / を長押し(約1秒間)する。

: 自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
お好みの放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に / を押すと、自動選局は止まります。



アドバース

- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞「プリセットボタンにメモリーする」ト7

① **P1** または **P2** をタッチする。

: 選択中モード(FM / AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット** (1～6)をタッチする。

: 選んだラジオ放送を受信します。



TOP画面(プリセット表示)



TOP画面(エリア表示)



エリア
タッチ
→
P1
/
P2
タッチ

戻る
タッチ

放送局リスト
タッチ

放送局リスト画面



■ エリア選局で放送局を選ぶ

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** をタッチする。



：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12) に表示されます。

② **エリア表示** (1～12) の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリア表示 ボタン
(1～12)
※地域によって放送局
の数は変わります。



：選んだラジオ放送を受信します。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。

選局する

■ 放送局リスト選局で放送局を選ぶ

受信できる放送局のリストを表示します。

※FM／AMソース以外のとき、自動で放送局をサーチします。

① 放送局リスト をタッチする。



：受信できる放送局を **リスト表示** に表示します。

② リスト表示 (1～12) の中で聞きたい放送局をタッチする。



：選んだラジオ放送を受信し、TOP画面に戻ります。

□ 放送局リスト選局でリストを更新する

手動で車の現在地周辺で放送されている放送局のリストへ更新します。

① リスト更新 をタッチする。



：サーチ中はリスト表示や音声が消え、サーチが完了すると更新された放送局リストが表示されます。受信できる放送局がない場合は、**リスト更新** をタッチする前のリストを表示します。



アドバンス

- リスト更新を行うとエリア選局の放送局名も更新されます。
- 自動で取得した放送局リストが正しく表示されない場合、リスト更新をすることで最新の放送局に更新することができます。

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1～6) にメモリーします。
FM、AMの各バンドで、P1／P2に6局ずつ、計24局メモリーできます。

1 プリセットを選ぶ。

2 / を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

 「■ 手動選局で放送局を選ぶ / ■ 自動選局で放送局を選ぶ」 I-3

3 **プリセット** (1～6) のうち、メモリーしたいボタンを**プリセット** ボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで長押しする。

例 手順 **1** で“P1”を、手順 **2** で“85.1 MHz”を選び、**プリセット** 2 にメモリーする場合



プリセット ボタン(1～6)



プリセット ボタン2 にメモリーできた



アドバース

- すでに**プリセット**されているボタンに新たに**プリセット**すると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6) をタッチします。

交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

1

交通情報 をタッチする。

： 交通情報受信画面になり、
道路交通情報を受信します。



アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面の **交通情報** をタッチ
しても表示させることができます。



道路交通情報の受信を止める

戻る をタッチ

最後に選んでいたソースが表示され、交通情報の受信を終了します。

電源 を押す

AV電源がOFFになります。

道路交通情報の周波数を切り替える

1620 kHz をタッチ

周波数が1620 kHzに切り替わります。

1629 kHz をタッチ

周波数が1629 kHzに切り替わります。

J

CD・MP3／WMAを聞く

WMA
MP3
CD

各部のなまえとはたらき	J-2
好きなフォルダを選ぶ (MP3／WMAの場合)	J-2
好きなトラックを選ぶ (CD・MP3／WMAの場合)	J-3

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-12)から **CD/DVD** (VXM-145Cは **CD**) をタッチすると、CD・MP3/WMA ファイル再生画面が表示されます。

CD再生画面() をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶: 通常再生 ▶▶: 早送り ◀◀: 早戻し)
- ② 再生時間
- ③ トラック名/ファイル名
- ④ アーティスト名/アルバム名/フォルダ名*1
- ⑤ イコライザー設定/選択中のサラウンドマーク
- ⑥ 再生モードマーク
- ⑦ 再生ファイルマーク
- ⑧ 再生モードを選択
- ⑨ Quick MENUを表示
- ⑩ トラックリストを表示
- ⑪ 再生中トラックの詳細情報表示
- ⑫ イコライザー設定画面を表示
- ⑬ 前後のフォルダに移動

* 1…MP3/WMA 再生時

MP3/WMA 再生画面() をタッチ時)



- 1 枚のディスクに音楽データと MP3/WMA データが混在する場合は MP3/WMA データは再生しません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

好きなフォルダを選ぶ (MP3/WMA の場合)

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダ / **フォルダ** をタッチする。

前のフォルダに戻る **フォルダ** をタッチ

次のフォルダに進む **フォルダ** をタッチ



好きなトラックを選ぶ (CD・MP3／WMAの場合)

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

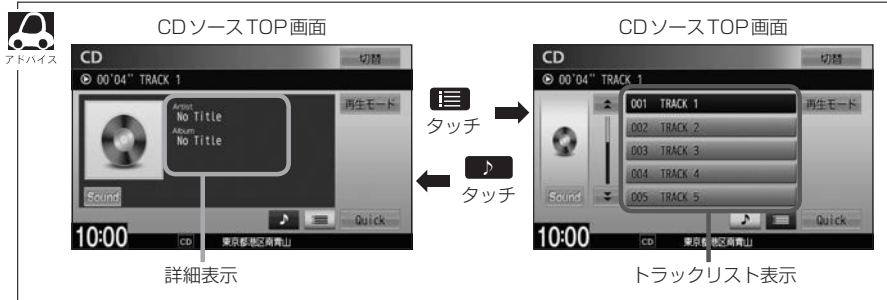
※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順1を省略することができます。

CDソースTOP画面(詳細情報表示)



WMA・MP3



2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。

CDソースTOP画面(トラックリスト表示)



アドバイス

-  /  を押してトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。
- CDソース時のトラックリストについて
 - ・ CD-TEXT 情報が表示されます。
 - ・ タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。

K

USB機器／SDカードを使う

USB機器
SDカード

各部のなまえとはたらき	K-2
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	K-3
選曲モードより選ぶ	K-5
USB機器を接続する	K-7
USB機器を本機に接続する	K-7
USB機器の接続をやめる	K-7
画像ファイルを表示させる	K-8
スライドショーを表示する	K-8
画像を回転させる	K-9
リストより画像を選ぶ	K-9
動画ファイルを再生する	K-10
再生を一時停止する	K-10
リストより動画を選ぶ	K-11

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-12)から **USB** / **SD** をタッチすると、USB 機器 / SD カード再生画面が表示されます。

※ USB フラッシュメモリの画面を例にしています。SD カードの再生時も同様の操作になります。

音楽(MP3 / WMA / AAC ファイル)再生画面(をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶: 通常再生 ▶▶: 早送り ◀◀: 早戻し
||: 一時停止)
※一時停止は動画のみ
- ② USB または SD を表示
- ③ 再生時間
- ④ 選曲モード
- ⑤ トラック名 / ファイル名
- ⑥ イコライザー設定 / 選択中のサラウンドマーク
- ⑦ 再生モードマーク
- ⑧ 再生ファイルマーク
- ⑨ ジャケット写真
(ジャケット写真が追加されている場合のみ)
- ⑩ アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名 / フォルダ名
- ⑪ イコライザー設定画面を表示
- ⑫ 選曲モードを選択
- ⑬ 再生モードを選択
- ⑭ 動作モード(音楽 / 画像 / 動画*¹)を切り替え
- ⑮ 再生中トラックの詳細情報を表示
- ⑯ トラックリストを表示
- ⑰ フォルダリストを表示
- ⑱ Quick MENU を表示
- ⑲ 画像名
- ⑳ サムネイル画面に戻る
(サムネイル画面からファイルを選んだときのみ)
- ㉑ 撮影年月日
- ㉒ フォルダ内の画像を順次表示
- ㉓ 表示中の画像を 90 度回転
- ㉔ 画像が入っているフォルダリストを表示
- ㉕ フォルダ名表示
※「全ファイル」再生時は、フォルダ名は表示されません。
- ㉖ 再生中のファイル名
- ㉗ 再生 / 一時停止
- ㉘ 動画リストを表示

- アドバース
- トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / フォルダ名の表示文字数は全角 32 (半角 64) 文字です。
 - アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名が記録されていない場合は、「No Title」と表示されます。
 - タイトル名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

画像(JPEG ファイル)再生画面



- ⑲ 画像名
- ⑳ サムネイル画面に戻る
(サムネイル画面からファイルを選んだときのみ)
- ㉑ 撮影年月日
- ㉒ フォルダ内の画像を順次表示
- ㉓ 表示中の画像を 90 度回転
- ㉔ 画像が入っているフォルダリストを表示
- ㉕ フォルダ名表示
※「全ファイル」再生時は、フォルダ名は表示されません。
- ㉖ 再生中のファイル名
- ㉗ 再生 / 一時停止
- ㉘ 動画リストを表示

動画(MPEG4 / H.264 ファイル)再生画面*¹



※ 画像再生画面 / 動画再生画面で画面をタッチすると、全画面表示されます。

* 1…VXM-145VSi / VS の場合

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル

1

 または  をタッチする。

※すでに表示したいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

	トラックリストを表示
	選んだ選曲モードのトラックリスト表示となります。
	フォルダリストを表示

TOP画面(詳細情報表示)



アドバース

TOP画面



詳細情報表示

TOP画面



トラックリスト表示

タッチ

タッチ

タッチ

TOP画面

タッチ

タッチ

フォルダリスト表示

タッチ

USB
機器
SD
カード

2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示)



アドバース

- / を押してトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

音楽ファイル

1

選曲モード をタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。

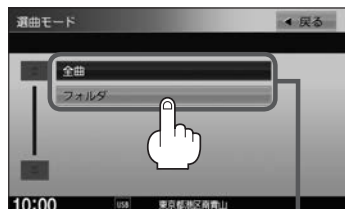
TOP画面(詳細情報表示)



2

選曲モードより選曲する方法を選ぶ。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。



選曲モード

□ **全曲** をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

□ **フォルダ** をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

① 再生したいフォルダをタッチする。



：選んだフォルダに収録されているトラックリストが表示されます。

② 再生したいトラックをタッチする。



：選んだ曲を再生します。

3

再生中画面 をタッチする。

：TOP画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

- USB機器に収録されている曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

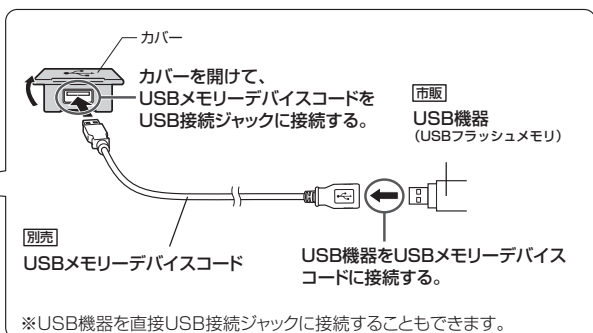
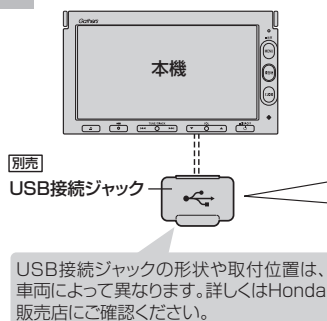
走行中のリストの操作について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

USB機器を接続する

USB機器を本機に接続する

1 別売のUSB接続ジャックとUSB機器を接続する。



USB機器
SDカード



- 車のエンジンスイッチがU(ロック)の状態で行ってください。
 - USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。  L-13
- ※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

1 を押す。

: AV電源をOFFします。

2 USB接続ジャックからUSB機器を外す。

3 カバーを閉じる。

※開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。



- USB 機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※ USB 機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中に USB 機器を外すとデータがこわれたり、USB 機器が破損するおそれがあります。
必ず USB モードを終了(OFF)にして外してください。

画像ファイルを表示させる

USB／SDソースのとき、画像を本機に表示させることができます。画像は回転させたり、スライドショーをすることができます。

※JPEG画像の入ったUSB機器／SDを本機に接続／挿入しておく必要があります。

1

モード切替 → **画像ファイル** をタッチする。

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

※すでに画像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

※画像再生画面で表示しているフォルダ内に2枚以上の画像がある場合、**▶▶** で次の画像、**◀◀** で前の画像を表示します。

2

操作したい項目をタッチする。

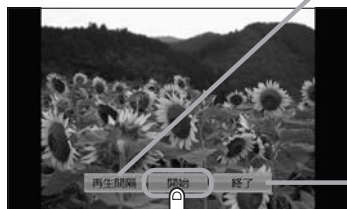
スライドショー	 「スライドショーを表示する」 下記
回転	 「画像を回転させる」 K-9
リスト	 「リストより画像を選ぶ」 K-9

SDソース(画像ファイル)の場合



スライドショーを表示する

選んでいるフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。



スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. 画面をタッチし、**再生間隔** をタッチする。
2. お好みの間隔(**3秒** / **10秒** / **30秒** / **1分**) をタッチする。
3. **閉じる** → **開始** をタッチする。
：選んだ間隔でスライドショーを行います。

■ スライドショーを止める

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**終了** をタッチする。

画像を回転させる

- ① **回転** をタッチする。



：タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転(時計まわり)します。

リストより画像を選ぶ

- ① リストより表示したいフォルダをタッチする。



：ファイルがサムネイル表示されます。

- ② 表示したいファイルをタッチする。



：選んだファイル(画像)が表示されます。



アドバース

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。



アドバース

- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限については「「画像ファイル(JPEG)について」R-26

動画ファイルを再生する

VXM-145VSi

VXM-145VS

USB／SD ソースのとき、動画再生をすることができます。

※動画ファイルの入ったUSB 機器／SD を本機に接続／挿入しておく必要があります。

1

モード切替 → **動画ファイル** をタッチする。

：映像が再生されます。

※すでに映像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

2

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、操作したい項目をタッチする。

▶ 	再生を一時停止する」下記
再生リスト	リストより動画を選ぶ」K-11

SD ソース(動画ファイル)の場合



再生を一時停止する

再生を一時停止します。

※本機は再生を止めた位置をメモリーします。



再度再生を始める

① **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより動画を選ぶ

① リスト変更 をタッチする。

：リスト選択画面が表示されます。



■ 全ファイルから選ぶ

1. 全ファイル をタッチする。

：ファイルリストが表示されます。



2. 再生したいファイルをタッチする。

：選んだファイルが再生されます。



USB機器
SDカード

■ 任意のフォルダからファイルを選ぶ

1. フォルダ をタッチする。

：フォルダリストが表示されます。



2. 再生したいフォルダをタッチする。

：ファイルリストが表示されます。



フォルダリスト

3. 再生したいファイルをタッチする。

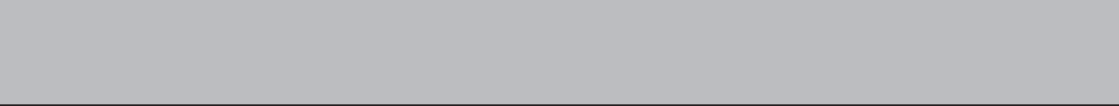
：選んだファイルが再生されます。



ファイルリスト



動画表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。



L

iPod / iPhone を使う

iPod

各部のなまえとはたらき	L-2
好きなトラックを選ぶ	L-3
選曲モードより選ぶ	L-4
再生を一時停止する	L-9
映像データを再生する	L-10
再生したい映像データを選ぶ	L-11
iPod / iPhone を本機に接続する	L-13

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-12)から **iPod** をタッチすると、iPod／iPhone再生画面が表示されます。

ミュージックモード画面(をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶：通常再生 ▶▶：早送り ◀◀：早戻し
||：一時停止)
- ② 再生時間
- ③ トラック名
- ④ イコライザー設定／選択中のサラウンドマーク
- ⑤ 再生モードマーク
- ⑥ ジャケット写真
(ジャケット写真が付加されている場合のみ)
- ⑦ イコライザー設定画面を表示
- ⑧ 選曲モードを選択
- ⑨ 再生／一時停止
- ⑩ 再生モードを選択
- ⑪ ビデオモードに切り替え
- ⑫ アーティスト名／アルバム名／ジャンル名
- ⑬ 再生中トラックの詳細情報表示
- ⑭ トラックリストを表示
- ⑮ Quick MENUを表示

ビデオモード画面

ビデオ再生中に画面をタッチすると、ビデオファイルリストを表示させることができます。

■ビデオファイルリスト表示



- ① 再生状態マーク
(▶：通常再生 ▶▶：早送り ◀◀：早戻し
||：一時停止)
- ② 再生時間
- ③ 再生中のファイル名
- ④ ビデオファイルのリスト
- ⑤ イコライザー設定／選択中のサラウンドマーク
- ⑥ 映像画面を表示
- ⑦ 再生モードマーク
- ⑧ ビデオのカテゴリを選択
- ⑨ 再生／一時停止
- ⑩ 再生モードを選択
- ⑪ ミュージックモードに切り替え
- ⑫ Quick MENUを表示



●表示内容はiPod／iPhone本体で表示されるトラック名／アーティスト名／アルバム名となります。ただし、iPod／iPhoneの機種やバージョンによっては、アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が正しく表示されないことがあります。

●本機は日本語／英数字のみ表示可能です。

●iPod／iPhone本体で表示される～(半角波形表示)は、本機ではー(ハイフン表示)となります。

●iPod／iPhoneはiPodソースで再生します。USBソースでは動作しません。

●iPod／iPhone本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

好きなトラックを選ぶ

ミュージック

選曲モード(L-4)で選んだボタンのトラックをリストより選択再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は
手順 **1** を省略することができます。

TOP画面(詳細情報表示)



アドバイス

TOP画面



詳細情報表示

 タッチ

 タッチ

TOP画面



トラックリスト表示

iPod

2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。



アドバイス

-  /  を押してトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

選曲モードより選ぶ

ミュージック

再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細情報表示)



選曲モード画面

2

選曲モードより選曲する方法を選び、タッチする。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

選曲モード



■ **全曲** をタッチ

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **アルバム** をタッチ

：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生したいアルバムをタッチする。

② 再生したいトラックをタッチする。

アルバムリスト画面



：選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内全曲のトラックリストが表示されます。

トラックリスト画面



：選んだ曲を再生します。

■ アーティスト をタッチ

：アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生したいアーティストをタッチする。 ② 再生したいアルバムをタッチする。

アーティストリスト画面



：選んだアーティストのアルバムが表示されます。

アルバムリスト画面



：選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内の全アルバムが表示されます。 —さらに—

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内全曲のトラックリストが表示されます。

手順①で再生したいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選んだアーティストの全曲のトラックリストが表示されます。

iPod

- ③ 再生したいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選んだ曲を再生します。

■ ポッドキャスト をタッチ

：ポッドキャスト画面が表示されます。

- ① 再生したいポッドキャストをタッチする。 ② 再生したいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面



：選んだポッドキャストに収録されているリストが表示されます。

ポッドキャストリスト画面



：選んだポッドキャストを再生します。

■ **ジャンル** をタッチ

: ジャンルリスト画面が表示されます。

- ① 再生したいジャンルをタッチする。 ② 再生したいアーティストをタッチする。

ジャンルリスト画面



: 選んだジャンルに該当するアーティストが表示されます。

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod / iPhone 内の全曲のトラックリストが表示されます。➡手順④へ

アーティストリスト画面



: 選んだアーティストのアルバムが表示されます。

すべて をタッチすると①で選んだジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリストが表示されます。➡手順④へ

- ③ 再生したいアルバムをタッチする。 ④ 再生したいトラックをタッチする。

アルバムリスト画面



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると②で選んだアーティストのトラックリストが表示されます。➡手順④へ

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。



アドバース

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)は iPod 本体に収録されている内容となります。

■ **プレイリスト** をタッチ

：プレイリスト画面が表示されます。

- ① 再生したいプレイリストをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。

プレイリスト画面



プレイリスト

：選んだプレイリストに収録されている
トラックリストが表示されます。

トラックリスト画面



トラックリスト

：選んだ曲を再生します。

■ **作曲家** をタッチ

：作曲家リスト画面が表示されます。

- ① 再生したい作曲者をタッチする。 ② 再生したいアルバムをタッチする。

作曲家リスト画面



：選んだ作曲者のアルバムが
表示されます。

すべて をタッチすると iPod/iPhone 内の
全アルバムが表示されます。さらに
すべて をタッチすると iPod/iPhone 内の
全曲のトラックリストが表示されます。

➡手順③へ

アルバムリスト画面



：選んだアルバムに収録されている
トラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると①で選んだ作曲者
に該当する全曲のトラックリストが表示さ
れます。➡手順③へ

③ 再生したいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。

3

再生中画面 をタッチする。

: TOP 画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- iPod / iPhone のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチすると TOP 画面に戻ります。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

表示中のリストの操作について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

再生を一時停止する

1

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めます。

■ 再度再生を始める

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。



iPod

映像データを再生する

VXM-145VSi

ビデオ

VXM-145VS

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されている映像データを本機に表示することができます。ビデオに対応しているiPod／iPhoneについては「**対応可能なiPod／iPhone**」R-18

1

ビデオ をタッチする。

：映像が表示されます。

ミュージックモード画面
(**ビデオ** をタッチ時)



映像



アドバイス

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

再生したい映像データを選ぶ

VXM-145VSi

ビデオ

VXM-145VS

1

ビデオ再生中に画面をタッチする。



■ ビデオファイルリストより選び、再生させる

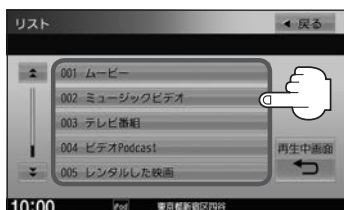
① **リスト** をタッチする。



② リストより再生したい動画をタッチする。

：選んだ動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



■ 再生中のビデオを繰り返し再生させる

① **再生モード** をタッチする。



② **リピート** をタッチする。



表示灯

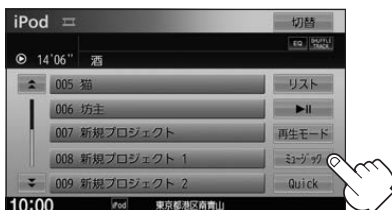
：表示灯が点灯し、リピート再生します。

※再度タッチして表示灯を消灯すると、リピート再生をやめます。

③ **閉じる** をタッチする。

■ ビデオモードのときミュージックモードに戻る

- ① 操作ボタン表示中に **ミュージック** をタッチする。



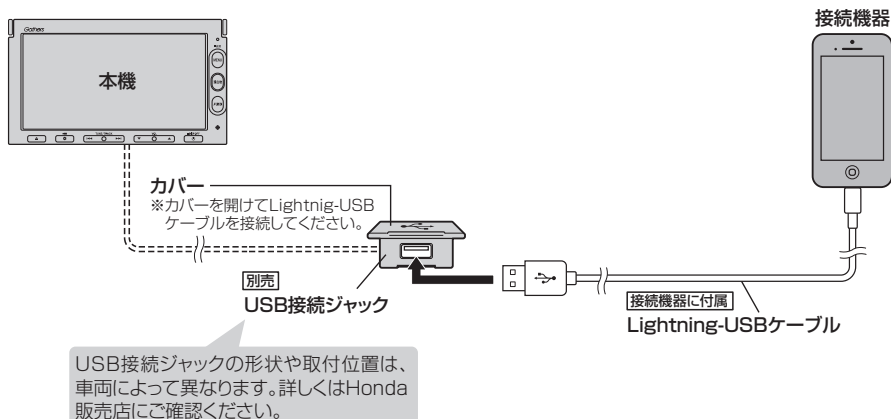
アドバイス

- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod / iPhone 本体の操作はできません。
- ビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPod / iPhoneがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度ビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のエンジンスイッチを「O(ロック)」にしたりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは再生できません。

iPod / iPhone を本機に接続する

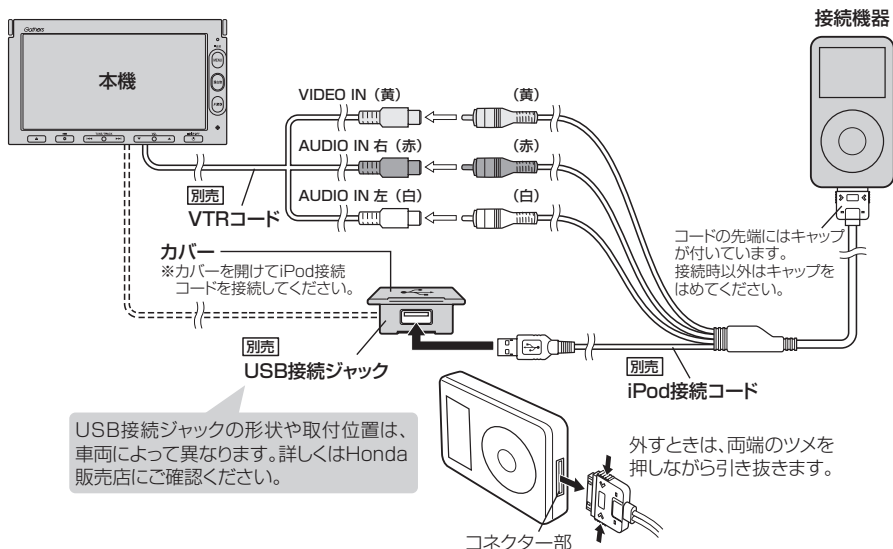
Lightning コネクタの場合

※ビデオ再生はできません。



Dock コネクタの場合

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると音楽・ビデオの再生が可能となります。
(VXM-145Cは、ビデオ再生には対応していません。)



iPod／iPhoneを本機に接続する



- USB 接続ジャックに USB 機器や USB デバイスコードが接続されている場合は外してください。[P] K-7
※ iPod 使用時は、USB 機器は使用できません。
- USB 接続ジャックから Lightning-USB ケーブルや iPod 接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそがあります。
- VTR コードに VTR 機器が接続されている場合は外してください。[P] P-3
- 未接続の場合、AV MENU 画面で **iPod** は選べません。

iPod／iPhone を本機に接続すると

- iPod／iPhone に収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。)
- 本機に接続すると、起動中は iPod や iPhone へ充電を行います。
- 接続中は iPod／iPhone 本体を操作しないでください。
- iPod／iPhone が正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod／iPhone を外して iPod／iPhone をリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod／iPhone を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod／iPhone 単体でお使いください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを O (ロック) にすると数分後に iPod 本体の電源も OFF されます。(ただし、車のエンジンスイッチを O (ロック) にした場合の動作は iPod に依存しますので保証するものではありません。)
- iPod ソースのときに、iPod／iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) を OFF にしたあとは、必ず iPod／iPhone を取り外してください。iPod／iPhone の電池を消耗することがあります。

M

BLUETOOTH Audioを聞く

VXM-145VSi
VXM-145VS

Bluetooth
I-001-001

初期登録設定	M-2
機器を初期登録設定する	M-2
登録した機器の詳細情報を見る／	
登録した機器を削除する	M-3
登録機器を切り替える	M-4
登録した機器の自動接続／優先接続を設定する	M-5
本機のBLUETOOTH情報を確認／変更する	M-6
各部のなまえとはたらき	M-8
好きなトラックを選ぶ	M-9
選曲モードより選ぶ	M-10

機器を初期登録設定する

BLUETOOTH Audioを使用するには、はじめに初期登録(BLUETOOTH Audio対応機器の登録)をする必要があります。また、登録の削除や登録したBLUETOOTH Audio対応機器の切り替えなどの各設定をすることができます。(最大2台まで登録することができます。)

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

2

BLUETOOTH Audio対応機器側を操作して登録を行う。

※登録方法は、お手持ちのBLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご覧ください。



※接続待機中に**中止**をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。



※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい**をタッチすると登録が完了します。



アドバイス

- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
※パスキーは任意の数字に変更することができます。[F]「**パスキーを変更する**」M-7
- 上記手順2でハンズフリー機器として登録しても、BLUETOOTH Audioとしてはご利用いただけません。誤って登録してしまった場合には、一度削除([F] M-4)したあと、再度登録してください。
- BLUETOOTH Audioの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- BLUETOOTH Audio対応機器の登録はBLUETOOTH Audioソース画面からも設定することができます。
 - ・BLUETOOTH Audioソース画面から設定する場合、BLUETOOTH Audioソース画面にしたとき、機器未登録／未接続の場合は**設定**をタッチして登録または接続を行ってください。
 - ・登録 [F] 上記
 - ・接続 [F] M-4

BLUETOOTH Audio
BLUETOOTH未登録／未接続の場合



登録した機器の詳細情報を見る／登録した機器を削除する

本機に登録している機器の詳細情報を確認したり、登録している機器を削除することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** →
登録機器一覧 → **Bluetooth Audio** をタッチする。

：登録機器一覧画面が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている
BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、
登録機器一覧 → **Bluetooth Audio** は選べません。



2

情報を確認／登録機器を削除する。

■ 登録機器の詳細情報を見る

① **詳細** をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。



登録している BLUETOOTH Audio 対応機器の
詳細情報を確認

■ 登録機器を削除する

① 削除したい機器の **削除** をタッチする。

：メッセージを確認し、**はい** をタッチすると、登録機器を削除します。



アドバイス

2台の登録があり、現在使用中のBLUETOOTH Audio対応機器を削除した場合は、残り1台を接続可能なBLUETOOTH Audio対応機器として自動で切り替えます。

登録機器一覧画面



アドバイス

安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録機器を切り替える

1

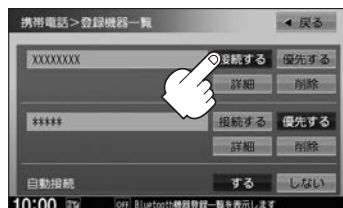
MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

※表示は最大2件です。登録されているBLUETOOTH Audio対応機器がない場合、**登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** は選べません。

BLUETOOTH設定画面



登録機器一覧画面



2

切り替えたい機器名の **接続する** をタッチする。

：タッチするたびにBLUETOOTH接続する対象が切り替わります。



アドバイス

- BLUETOOTH Audio対応機器を切り替えた際、接続するまでに時間がかかることがあります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の自動接続／優先接続を設定する

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

Bluetooth Audio をタッチする。

：登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器の一覧が表示されます。

3

設定をする。

■ 自動接続の設定

① 設定を選び、タッチする。

する	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と BLUETOOTH Audio 対応機器を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器から接続が行われた場合は接続を行います。

登録機器一覧画面



- 自動接続をする設定にしても BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない状況（端末の電源が入っていない、端末の BLUETOOTH 接続を OFF にしているなど）の場合は接続できません。
- BLUETOOTH Audio 対応機器を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

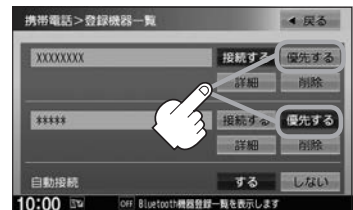
■ 優先接続の設定

① 優先したい BLUETOOTH Audio 対応機器の **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチを I（アクセサリ）または II（ON）にしたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると **優先する** は選べません。☞ 上記

登録機器一覧画面



- 登録機器が 1 台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。

本機のBLUETOOTH情報を確認／変更する

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

： BLUETOOTH本体情報画面が表示されます。

※変更する場合は手順 **2** へ進んでください。



2

デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する

① **デバイス名変更** をタッチする。



② デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。

カーソルの位置を変更



大文字↔小文字 お買い上げ時の
デバイス名に戻す

： デバイス名が変更され、BLUETOOTH
本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する

① **パスキー変更** をタッチする。



② **Bluetooth Audio** をタッチする。



③ 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。



：パスキーは変更されBLUETOOTH本体情報画面に戻ります。



アドバイス

- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録する際に使用するパスワードです。
- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

各部のなまえとはたらき

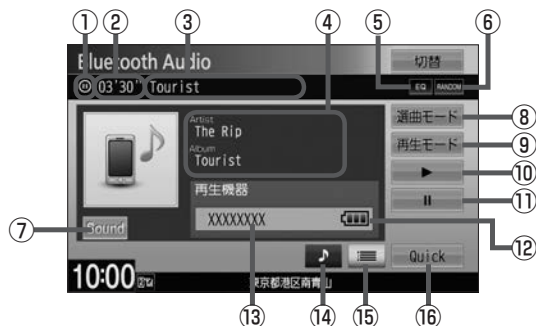
VXM-145VSi

VXM-145VS

AUDIOメニュー(「」A-12)から **Bluetooth Audio** をタッチすると、BLUETOOTH Audio再生画面が表示されます。

※接続するBLUETOOTH Audio対応機器により、表示画面は異なります。

BLUETOOTH Audio再生画面(「」をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶：通常再生 ▶▶：早送り ◀◀：早戻し
||：一時停止)
- ② 再生時間
- ③ トラック名／ファイル名*¹
- ④ アーティスト名／アルバム名*¹
- ⑤ イコライザー設定／選択中のサラウンドマーク
- ⑥ 再生モードマーク*²
- ⑦ イコライザー設定画面を表示
- ⑧ 選曲モードを選択*²
- ⑨ 再生モードを選択*²
- ⑩ 再生
- ⑪ 一時停止
- ⑫ 再生機器の電池残量表示*¹

表示	   
残量	無し 少 ◀────────▶ 多 充電中

- ⑬ 再生機器の名称
- ⑭ 再生中トラックの詳細情報表示
- ⑮ トラックリストを表示*²
- ⑯ Quick MENUを表示

* 1…AVRCP ver.1.0では非表示

* 2…AVRCP ver.1.3以下では非表示



アドバンス

- 機器によってはリストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 機器の仕様によっては、機器側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 機器の機種によっては、オーディオ出力先を切り替えられる場合があります。その場合は出力先をBLUETOOTHにしてください。
- BLUETOOTH Audioではリストの先頭から最後尾または最後尾から先頭へ直接スクロールすることはできません。
- BLUETOOTH Audioでは、スクロールバーの位置表示／操作はできません。
- 機器によっては、機器側で操作を行うと、本機で表示される内容と機器側で表示される内容が異なる場合があります。
- 機器によっては、再生モードが正しく反映されない場合があります。
- 機器の仕様によっては、表示部の内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、ナビゲーション上に表示できないことがあります。
- 早送り／早戻しをすばやく解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生) または  (一時停止) で解除してください。
- 電池残量表示は機器によって表示されない場合があります。

好きなトラックを選ぶ

VXM-145VSi

VXM-145VS

選んだ選曲モードのトラックをリストより選択再生させることができます。

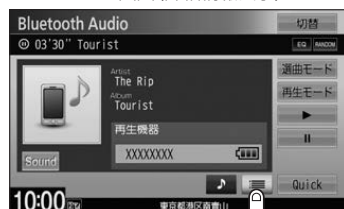
1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※機器によってはリスト表示されない場合または、表示するのに時間がかかる場合があります。

TOP画面(詳細情報表示)



アドバイス

TOP画面



詳細情報表示

タッチ

タッチ

TOP画面



トラックリスト表示

AUX-001

2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。

※機器によっては、現在再生中の曲のハイライト表示がされない場合があります。

スクロールバーの位置表示／
操作はできません。

TOP画面



アドバイス

-  /  を押してトラックを選ぶこともできます。
- BLUETOOTH Audio ではリストの先頭から最後尾、または最後尾から先頭へ直接スクロールすることはできません。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

VXM-145VSi

VXM-145VS

再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細情報表示)



2

選曲モードより選曲する方法を選び、
タッチする。

：以降の操作は機器によって異なります。

※選曲モードに表示される内容は、機器に収録されている内容となります。機器によって異なる場合があります。

選曲モード画面



アドバンス

- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。
- 機器によっては、ボタン表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。

■ **プレイリスト** をタッチ (例)

：プレイリスト選択画面が表示されます。

① 再生したいプレイリスト⇒トラックをタッチする。

：選んだ曲を再生します。

N

DVDを見る

VXM-145VSi
VXM-145VS

映像
DVD

各部のなまえとはたらき	N-2
DVDプレーヤーを使う	N-3
視聴制限ディスクを挿入したとき	N-3
メニュー画面が表示されたときの 操作方法について	N-3
再生を停止する	N-4
再生を一時停止(静止)する	N-5
再生中にチャプターを戻す／進める	N-5
スロー戻し／スロー送りをする	N-6
DVDメニューを使う	N-7
タイトルメニューを使う	N-9
好きな所から再生する(サーチ選択)	N-11
音声言語／字幕言語を切り替える	N-13
TITLE／CHAPTER／TIMEの表示を替える	N-14
リピート(繰り返し)再生する	N-15
アングル(角度)を切り替える	N-16
VRモードディスク内の映像をリストより選び、 再生させる	N-16
DVDの初期設定について	N-18
初期設定を変更する	N-18

各部のなまえとはたらき

VXM-145VSi

VXM-145VS

操作ボタン1表示画面



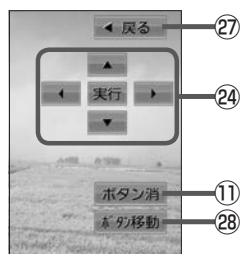
停止画面



操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面／10キー入力画面



操作ボタンは、無操作の状態がしばらく続くと、自動的に消えます。

- ① タイトルメニュー／タイトルリスト表示
- ② DVDメニュー／プレイリスト表示
- ③ 停止画面を表示
- ④ 再生／一時停止
- ⑤ 音声言語／音声チャンネルの切り替え
- ⑥ 字幕言語の切り替え
- ⑦ アングルの切り替え
- ⑧ メニュー画面表示前の再生ポイントに戻って再生
- ⑨ 操作ボタン2画面へ
- ⑩ Quick MENUを表示
- ⑪ 操作ボタンを非表示
- ⑫ 再生時間の表示
- ⑬ リピートモードの切り替え
- ⑭ カーソル表示画面を表示

- ⑮ 10キー入力画面を表示
- ⑯ サーチ選択画面を表示
- ⑰ 選んだ項目を実行
- ⑱ DVDメニュー画面操作時、1つ前の画面に戻る
- ⑲ DVD設定画面を表示
- ⑳ 操作ボタン1画面へ
- ㉑ 入力した数字を訂正
- ㉒ 数字を入力
- ㉓ サーチモードの切り替え
- ㉔ 画面内の項目を選択／実行
- ㉕ 続きメモリー機能を解除
- ㉖ 再生開始
- ㉗ 操作ボタン2画面へ
- ㉘ カーソル表示位置の変更(画面左／右)

視聴制限ディスクを挿入したとき

視聴制限のデータが収録されたDVDビデオを挿入すると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。**はい**を選ぶとパスワード入力画面が表示され、入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

📖 「DVDの初期設定について」N-18

メニュー画面が表示されたときの操作方法について

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチ

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選べません。**ボタン消**をタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選ぶ

① **MENU**を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

② **次へ**をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル**をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



③ **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー)をタッチして項目を選び、**実行**をタッチする。

：選んだ項目が再生されます。

※操作ボタンの表示をやめるには **ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

再生を停止する

1

画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2

■ (停止) をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。

(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に **■** (停止) をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面にメッセージを表示し、映像／音声を止めます。**▶||** (再生) をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
 - 続きメモリー機能は、**続き再生解除** をタッチするかディスクを取り出すと操作で解除されます。
- ※ **DVD設定** を変更した場合、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。**▶** N-18



3

再度再生を始めるには、

▶|| (再生) をタッチする。

停止画面



ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面) のとき **続き再生解除** をタッチし、**▶||** (再生) をタッチしてください。

再生を一時停止(静止)する

1

画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

一時停止アイコン

操作ボタン1表示画面



3

再度再生を始めるには、

▶|| (再生／一時停止) をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

4

画面の操作ボタンの表示をやめるには、

ボタン消 をタッチする。

再生中にチャプターを戻す／進める

1

◀◀ / **▶▶** を押す。

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。

■ 前のチャプターに戻る

◀◀ を2回押す。

※ 1 回押した場合は再生中のチャプターの初めに戻ります。チャプター再生開始からすぐに押した場合は、前のチャプターの初めに戻ります。

■ 次のチャプターに進む

▶▶ を押す。

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- **◀◀** / **▶▶** を長押しすると早戻し／早送りします。

スロー戻し／スロー送りをする

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。3 **◀◀** / **▶▶** を長押しする。

スロー戻し

◀◀ を長押し

：スロー戻しで戻ります。

スロー送り

▶▶ を長押し

：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

アドバース

- スロー戻し／スロー送り中は音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- VRモードでは、スロー戻しに対応していません。

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **メニュー** をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)
の場合はプレイリストが表示されます。
( N-16)

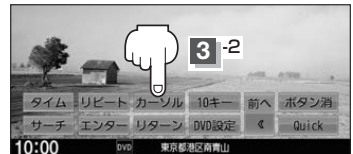
操作ボタン1表示画面



3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



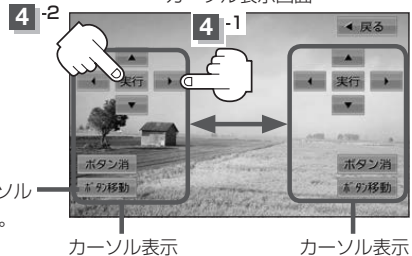
4 (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、
手順 4 を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル
表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示画面



映像
DVD

5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

ディスクによっては手順 4 のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)



- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」などと表示しているものもあります。
また、N-7手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」／「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押してください。

② **リジューム** をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

1

画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2

タイトル をタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
( N-16)

操作ボタン1表示画面

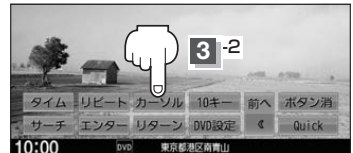


3

次へ をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4

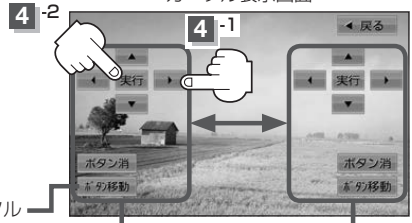
▲ ▼ ◀ ▶ (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示画面



カーソル表示

カーソル表示

5

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドハイス

ディスクによっては手順 **4** のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

DVDプレーヤーを使う



アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターを選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※ VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」などと表示しているものもあります。また、N-9手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」／「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** を押してください。

② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターを入力すると、そこから再生を始めます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **サーチ** をタッチする。

: サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4 サーチ選択画面で **0** ~ **9** (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトルを入力する。

- タイトル、チャプターは **切替** をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
 ↑ 非表示 ↓

サーチ選択画面



モード表示 **0** ~ **9** ボタン(10キー)

例 チャプター番号“04”を入力する場合

- ① 10キーを **0**、**4** とタッチする。

: 表示が“04”となります。



5

実行 をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号から再生を始めます。



6

画面の操作ボタンの表示をやめるには、 **ボタン消** **をタッチする。**

アドバイス

- しばらく何も操作をしなかった場合、モード表示は消えます。その場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** (**⏮** N-11) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** (**⏮** N-11) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトルを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

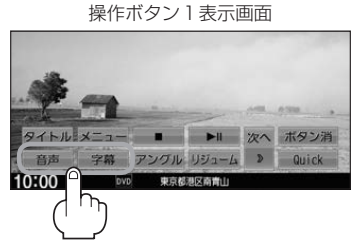
ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものがあります。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **音声** または **字幕** をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は他の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニューや言語設定(▶ N-20)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニューまたは言語設定で切り替えてください。

TITLE / CHAPTER / TIME の表示を替える

- TITLEタイトル番号を表示
- CHAPTER.....チャプター番号を表示
- TIME.....再生時間を表示

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

3 **タイム** をタッチする。

: タッチすることに表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

■ 表示をやめる

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、表示をやめてください。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- CHAPTER REPEAT……………再生中のチャプターを繰り返す
- TITLE REPEAT……………再生中のタイトルを繰り返す
- REPEAT OFF……………リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **リピート** をタッチする。

：タッチすることによりモードが切り替わります。

操作ボタン2表示画面

リピート
モード表示



映像
DVD

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

■ 通常の再生に戻る

上記手順 **1** ～ **3** に従って操作し、“REPEAT OFF” を選ぶ。

DVDプレーヤーを使う

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあり、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **アングル** をタッチする。

：タッチすることによりアングルが切り替わります。

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、**アングル** を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選び、再生させる

DVD-R/RW、DVR-R DL(VRモード)に登録したタイトル名を各リストより選び、再生させることができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 タイトルリストまたはプレイリストを表示する。

操作ボタン1表示画面

タイトルリストより 選ぶ	タイトル をタッチする。 ：タイトルリストが表示されます。
プレイリストより 選ぶ	メニュー をタッチする。 ：プレイリストが表示されます。



アドバイス

タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト/プレイリストの詳細はDVDレコーダーの説明書を参照ください。

3

リストより再生したいタイトル名をタッチする。

: 選んだ項目が再生されます。

タイトルリスト表示



タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示

プレイリスト表示



プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声チャンネルを切り替えることができます。

DVDの初期設定について

VXM-145VSi

VXM-145VS

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 画面をタッチ、または **MENU** を押す。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **DVD 設定** をタッチする。

: DVD 設定画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



アトハイス

■ (停止) → **DVD 設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



DVD 設定 ボタン

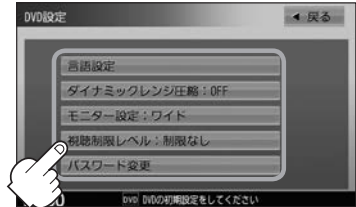
※ **DVD 設定** を変更した場合、設定内容によっては、続き再生メモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。

4

画面の設定したい項目をタッチする。

：選んだ項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え	☞ N-20
ダイナミックレンジ圧縮	● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)	☞ N-23
モニター設定	● TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え	☞ N-23
視聴制限レベル	● レベル ：視聴制限レベルの設定	☞ N-24
パスワード変更	● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更	☞ N-25

映像
DVD



アドバイス

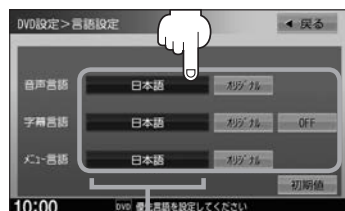
- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニューで切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中でやめる場合は **戻る** をタッチしてください。
※停止画面のとき再度再生させる場合は **▶||** (再生) をタッチしてください。



■ 手順 4 で“言語設定”を選んだとき

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更
したい項目をタッチする。

音声言語	DVDビデオ再生時に優先したい 音声言語を切り替え
字幕言語	DVDビデオ再生時に優先したい 字幕言語を切り替え
メニュー言語	DVDビデオ再生時に優先したい メニュー言語を切り替え



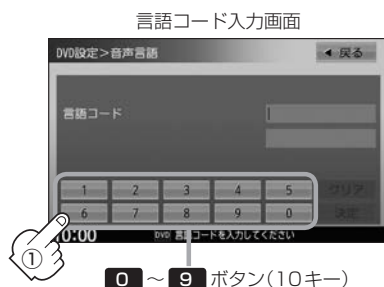
設定されている言語を表示
(タッチすると言語コード入力画面
を表示)
言語が **オリジナル** または **OFF** に
設定されている場合は **言語を選択**
と表示

□ 言語を変更するには

: 選んだ言語の言語コード入力画面が表示
されます。

- ① 言語コードの数字を **0** ～ **9**
(10キー)をタッチして入力する。

言語コード表 **N-22**



0 ～ **9** ボタン(10キー)

- ② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す

言語設定画面で **初期値** をタッチする。

：変更した言語設定がお買い上げ時に戻ります。



アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいコードを入力してください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アプバシア語	1245	IK Inupiak 語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JI イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ペラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスマラ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラピュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

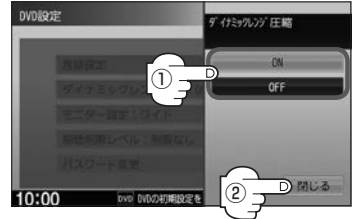
■ 手順 4 で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだとき

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しないの設定をする。

ON	小さい音量でも迫力ある音で楽しみたいとき
OFF	標準音域で聞きたいとき



② **閉じる** をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。

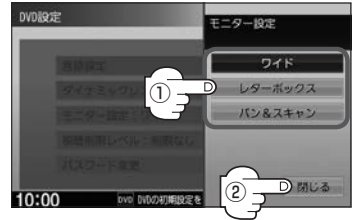
■ 手順 4 で“モニター設定”を選んだとき

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

① 設定したいアスペクト比をタッチする。

※ 16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャンとなります。



② **閉じる** をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、**ワイド** に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、**レターボックス** または **パン&スキャン** に設定してください。(※この場合は、本機のディスプレイ選択を **ノーマル** [H-12] に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、ワイドモニターを“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を **レターボックス** または **パン&スキャン** に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、**レターボックス** や **パン&スキャン** の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば“ノーマルモード”など)に設定してください。

映像
DVD

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどをを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 で“視聴制限レベル”を選んだとき

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

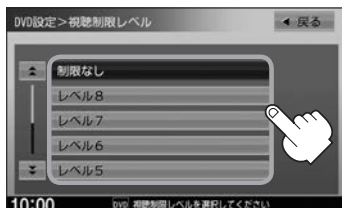
5

① 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

：レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

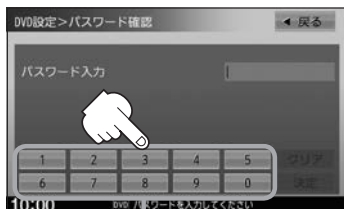
視聴 制限 レ ベ ル	“制限なし”	視聴制限を無効
	“8”	全てのDVDビデオの再生可
	“7”	
	“6”	
	“5”	子供向／一般向のみ再生可
	“4”	
	“3”	
	“2”	
	“1”	子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなります。



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“制限なし”を選んでください。

② 現在のパスワードを 0 ～ 9 (10キー) をタッチして入力する。



0 ～ 9 ボタン(10キー)

③ 入力が終わったら **決定** をタッチする。

アドテック

- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
(パスワードは変更することができます。[25] N-25)
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- お買い上げ時の視聴制限レベルは“制限なし”となっています。
- 上記の設定後に、視聴制限のデータが入ったDVDビデオを挿入すると、確認画面が表示されます。
はい を選ぶと上記のパスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

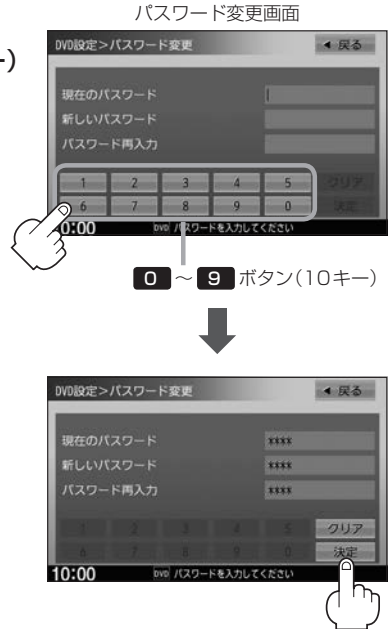
■ 手順 4 で“パスワード変更”を選んだとき

5

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ～ **9** (10キー) をタッチして入力する。

② **決定** をタッチする。

： DVD 設定画面に戻ります。



デトハイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは“0000”に設定されています。

O

ワンセグを見る

VXM-145VSi
VXM-145VS

映像

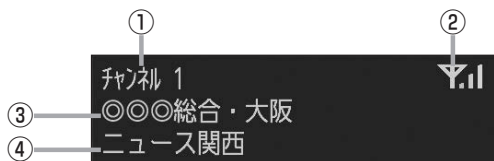
T
V

各部のなまえとはたらき	0-2
バナー表示について	0-2
タッチパネル部について	0-3
ワンセグメニューについて	0-4
ワンセグを見る	0-5
中継・系列局サーチをする	0-6
番組表を見る	0-7
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする	0-8
スキャンする	0-10
初期スキャン／再スキャンをする	0-10
選局する	0-12
手動選局で放送局を選ぶ	0-12
自動選局で放送局を選ぶ	0-12
プリセットで放送局を選ぶ	0-13
リストで放送局を選ぶ	0-14

プリセットボタンにメモリーする	0-16
エリア呼出／プリセット呼出について	0-17
チャンネルリスト／プリセットリストを クリアする	0-18
設定をする	0-19
中継・系列局サーチ設定	0-19
音声と字幕の設定をする	0-20
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、 受信する	0-21
設定を初期化する	0-22

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を選局したときや受信中に画面をタッチすると、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が表示されます。



① チャンネル番号

② 電波状態表示

：本数が多いほど受信状態は良好です。

③ 放送局名

※マルチサービスを受信しているときは、放送局名の後ろにサービス番組が表示されます。

④ 番組名および記号

番組の名称を表示します。

また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

字幕放送

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

※記号は放送局側で付けられています。

※上記以外の記号もあります。

タッチパネル部について

画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が数秒間表示されます。

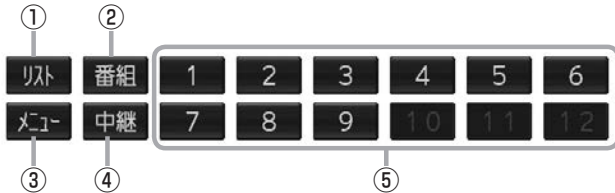
※操作ボタンの表示をやめるには、もう一度画面をタッチするか表示が消えるまで待ちます。



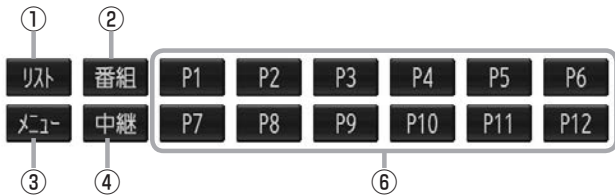
操作ボタンは、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらかを設定しているかによって表示内容(機能)が異なります。[設定] O-14、O-15

操作ボタン

チャンネルリスト 設定中の場合



プリセットリスト 設定中の場合



① リスト ボタン

チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。

[設定] O-14

② 番組 ボタン

番組表を表示します。

[設定] O-7

③ メニュー ボタン

ワンセグメニュー画面を表示します。

[設定] O-4

④ 中継 ボタン

中継・系列局をサーチします。

[設定] O-6

⑤ 1 ~ 12 ボタン(エリア)

あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。

[設定] O-13

⑥ P1 ~ P12 ボタン(プリセット)

プリセットリスト画面でメモリーしたチャンネルを呼び出すことができます。

※ボタンにはメモリーした放送局の物理チャンネル(13~52 ch)が表示されます。

[設定] O-13

ワンセグメニューについて

画面をタッチして操作ボタンを表示させているとき、**メニュー** をタッチするとワンセグメニュー画面を表示させることができます。ワンセグの各機能や設定はこのワンセグメニューを使って行います。

① **エリア変更** ボタン

視聴エリアを変更します。

📖 0-8

② **設定** ボタン

中継・系列局サーチ設定 📖 0-19

③ **音声字幕** ボタン

音声設定、字幕設定をすることができます。

📖 0-20

④ **スキャン** ボタン

初期スキャン／再スキャンをすることができます。

📖 0-10

⑤ **受信レベル確認** ボタン

受信レベルの確認をすることができます。

📖 0-21

⑥ **システム情報** ボタン

メモリの初期化をすることができます。

📖 0-22

⑦ **戻る** ボタン

受信画面または1つ前の画面に戻ります。

⑧ 操作状態を表示

ワンセグを見る

VXM-145VSi

VXM-145VS

AUDIOメニュー(「 A-12」)から「1SEG」をタッチすると、地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)画面が表示されます。



映像は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみご覧になることができます。
(走行中は音声のみになります。)

GPSから得たお車の位置に自動でワンセグの視聴エリアの変更を行い、また中継・系列局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行います。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選んでいる場合

「 O-19(初期は自動に設定)」

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、
視聴エリアの変更を行って地方と県域を設定してください。

「 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」 O-8

映像

T
V

中継・系列局サーチをする

VXM-145VSi

VXM-145VS

中継・系列局サーチとは、走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、受信していた放送局の中継局またはその系列局が受信可能になるまで選局し続ける機能です。

もとの放送局に中継局がある場合、その中継局の選局をしたり、エリア内に同じ系列に属する放送局があった場合、これを選局したりしてサーチ動作を続けます。

1 自動／手動で中継・系列局をサーチする。

■ 中継・系列局サーチを自動でする

：受信できなくなると、自動で中継・系列局をサーチします。

■ 中継・系列局サーチを手動でする

① 画面をタッチし、**中継**をタッチする。



中継・系列局サーチ中画面



：受信状態にかかわらず、すぐに中継・系列局をサーチします。



サーチ中に **⏮** / **⏭** (選局) を押す、または **1** ~ **12** (エリア) / **P1** ~ **P12** (プリセット) をタッチするとサーチは止まり、要求された選局を行います。

VXM-145VS

0-7

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

VXM-145VSi

VXM-145VS

初期設定のエリア変更は「自動」に設定されています。



アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行います。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記に従って操作してください。

現在地によって受信できる放送局(**1** ～ **12** (エリア) に割り当てられる放送局)が異なります。

1

画面をタッチし、**メニュー** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。

**1-2****2**

エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

ワンセグメニュー画面

**3**

手動 をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択可能となります。

■ エリア変更を“自動”にする

① 右記画面のとき **自動** をタッチする。

： “自動” に設定されます。

視聴エリア変更画面



4

現在地の地方と県域をタッチする。

視聴エリア変更画面(地方選択時)



視聴エリア変更画面(県域選択時)



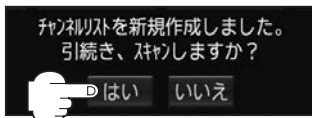
選んだ地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **1** ～ **12** (エリア)にプリセット(メモリー)されます。

※選んでいる地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

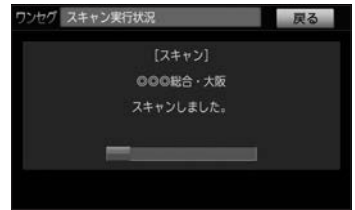
：現在地を変更し、メッセージが表示されます。

■ スキャンを行う

① **はい** をタッチする。



：スキャンを開始します。



※スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行わない

① **いいえ** をタッチする。

：スキャンをしないで受信画面を表示します。



- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行うと視聴エリア(チャンネルリスト、**1** ～ **12** (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行ってください。[電] O-10

初期スキャン／再スキャンをする

1 画面をタッチし、**メニュー** をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **スキャン** をタッチする。

：スキャン画面が表示されます。



3 初期スキャン／再スキャンを選ぶ。

■ 初期スキャンをする

① **初期スキャン** をタッチする。



：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

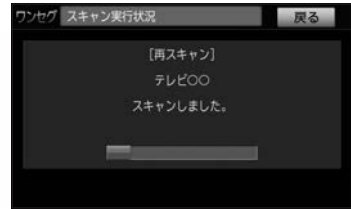


初期スキャンを行うと視聴エリア（チャンネルリスト、**1** ～ **12**（エリア）にメモリーされるエリア）が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときに行います。

① 再スキャン をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、追加でプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。



アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

手動選局で放送局を選ぶ

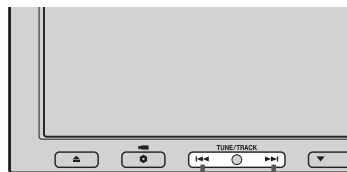
1

⏮ / ⏭ を押す。



アドバース

地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。その場合、ボタンを押すごとにプリセット(メモリー)されている放送局に順に変わります。



⏮ / ⏭ ボタン

⏮ 側ダウン
⏭ 側アップ

自動選局で放送局を選ぶ

1

⏮ / ⏭ を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ / ⏭ を押すと、自動選局は止まり、⏭ を押した場合はチャンネルリストの先頭、⏮ を押した場合はチャンネルリスト最後尾の放送局を選局します。



アドバース

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。この場合、全チャンネルを一通りシーク(探し求めた)後、自動選局は止まります。

プリセットで放送局を選ぶ

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって **1** ～ **12** (エリア) にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、好きな放送局をお客様ご自身が **P1** ～ **P12** (プリセット) にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に放送局をメモリーしておく必要があります。

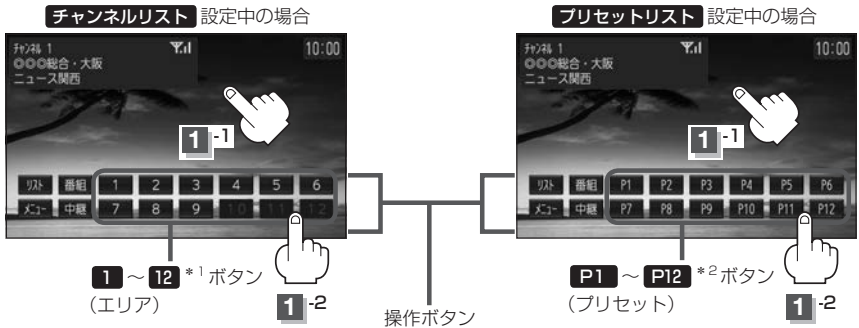
☞ 「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」O-8

☞ 「スキャンする」O-10

☞ 「プリセットボタンにメモリーする」O-16

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**1** ～ **12** (エリア) または **P1** ～ **P12** (プリセット) の中で呼び出したい数字をタッチする。



：選んだボタンにメモリーされている放送局を受信します。

* 1…放送局が割り当てられていないボタンは選べません。

* 2… **P1** ～ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(**13ch** ～ **52ch**)となります。



アドハイス

- **1** ～ **12** (エリア) に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その **1** ～ **12** (エリア) をタッチすることにより設定されたチャンネルを順に選局します。
- **1** ～ **12** (エリア) / **P1** ～ **P12** (プリセット) に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト画面／プリセットリスト画面(☞ O-15)より確認できます。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト	視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧
プリセットリスト	お客様で自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

☑「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」0-8

☑「スキャンする」0-10

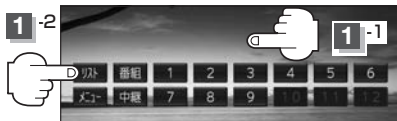
☑「プリセットボタンにメモリーする」0-16

1

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、
リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

1-2



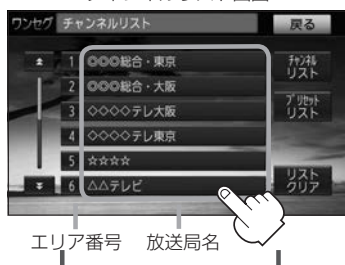
2

チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面



現在の設定内容(エリア番号と放送局名の
組み合わせ)を確認できます。

：選んだ放送局を受信します。



- プリセットリスト(右記)が表示された場合は **チャンネルリスト** をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト／**1** ～ **12** (エリア)は自動で変更されます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。



：プリセットリスト画面が表示されます。



P1～P12表示 放送局名と物理チャンネル

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

：選んだ放送局を受信します。



アドハイス

- チャンネルリストは操作ボタンの **1～12** (エリア) にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。



エリア番号 放送局名



1～12 ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタンの **P1～P12** (プリセット) にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネルを表示します。



プリセット番号 放送局名／物理チャンネル

※メモリーされていない場合、リストに表示されません。



P1～P12 ボタン (プリセット)

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、しばらくすると消えます。

映像
TV

プリセットボタンにメモリーする

VXM-145VSi

VXM-145VS

プリセット選局( O-13)やリスト選局( O-14)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

 /  を押して、メモリーしたい放送局を選局する。

 「手動選局で放送局を選ぶ」 / 「自動選局で放送局を選ぶ」 O-12

2

プリセットリストを呼び出す。

 「リストで放送局を選ぶ」 O-14

3

プリセットリストのメモリーしたい
P1～P12を放送局名が表示されるまで
長押しする。

：選んだボタンに放送局がメモリーされます。



P1 に14チャンネルをプリセット
(メモリー)した場合



メモリーした放送局が表示
されます。



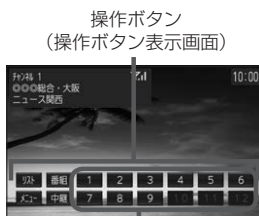
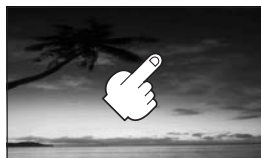
アドバイス

すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

エリア呼出／プリセット呼出について

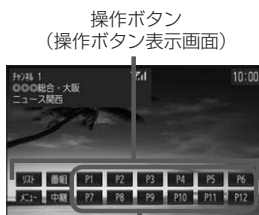
画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

チャンネルリスト設定中(□ 0-14)に
画面をタッチすると



1 ～ **12** (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(□ 0-15)に
画面をタッチすると



P1 ～ **P12** (プリセット)が表示される

※ **1** ～ **12** (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

P1 ～ **P12** (プリセット)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。□ 0-16 メモリーしたボタンは物理チャンネルの表示に変わります。たとえば **P1** に38チャンネルをプリセットすると **P1** は **38ch** 表示になります。

※操作ボタンの表示は **チャンネルリスト** / **プリセットリスト** のどちらを選んだかによって表示が異なります。

チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする

VXM-145VSi

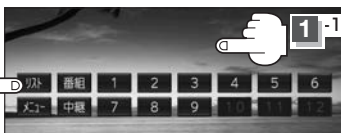
VXM-145VS

1

画面をタッチし、**リスト**をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

1-2



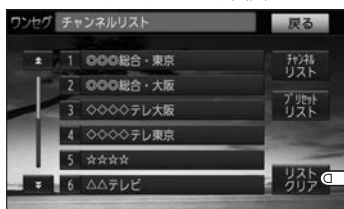
2

チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

■ チャンネルリストをクリアする

① **リストクリア**をタッチする。

チャンネルリスト画面



：メッセージが表示されるので**はい**をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。（視聴エリアのチャンネルリストをセットします。）



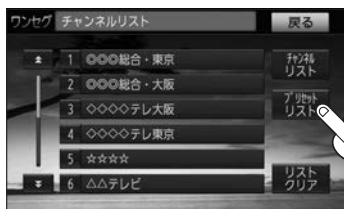
アドバイス

プリセットリストが表示された場合は**チャンネルリスト**をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストをクリアする

① **プリセットリスト**をタッチする。

チャンネルリスト画面



：プリセットリスト画面が表示されます。

② **リストクリア**をタッチする。

プリセットリスト画面



：メッセージが表示されるので**はい**をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。（全ての登録内容が空白になります。）



アドバイス

チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、しばらくすると消えます。

中継・系列局サーチ設定

お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、“自動で中継・系列局サーチを起動”するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし、**メニュー**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **設定**をタッチする。

：設定画面が表示されます。



3 自動／手動の設定をする。

■ **自動**をタッチ

：受信できない状態が一定時間以上続くと、自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ **手動**をタッチ

：放送局が受信できなくなった場合、メッセージが表示されます。



受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

チャンネルを入力して受信可能な放送局かどうかを確認することができます。また、受信状態を確認することもできます。

1 画面をタッチし、**メニュー** をタッチする。

: ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **受信レベル確認** をタッチする。

: 受信レベル確認画面が表示されます。



3 **ch-** / **ch+** をタッチする。

: タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～52ch(物理チャンネル)の中から確認したいチャンネルを選んでください。

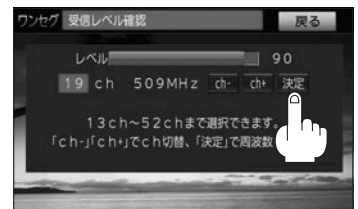


チャンネル表示
(物理チャンネル 13ch～52ch)

周波数表示

4 **決定** をタッチする。

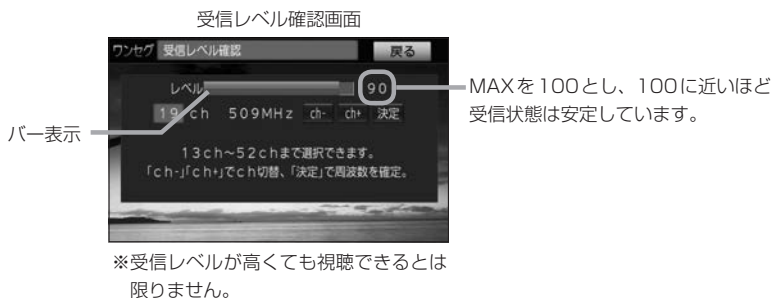
: チャンネルを確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネルの放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。





アドバイス

- 受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を確認することができます。



設定を初期化する

ワンセグメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

1 画面をタッチし、**メニュー**をタッチする。

：ワンセグメニュー画面が表示されます。



2 **システム情報**をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。



3 **メモリ初期化**をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を画面に従ってタッチすると、設定内容を初期化します。



4 初期化を終えたら、メッセージが表示されるので **OK** をタッチする。



アドバイス

他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行い、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行うと設定やデータは消去され、二度と復帰しません。

P

VTR / AUX を使う

VTR /
AUX

各部のなまえとはたらき P-2
接続する P-3

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー( A-12)から **VTR** をタッチすると、再生画面が表示されます。

VTR／AUXソース画面



- ① 操作ボタンを非表示
※操作ボタンを表示するには、画面をタッチします。
- ② Quick MENUを表示

接続する

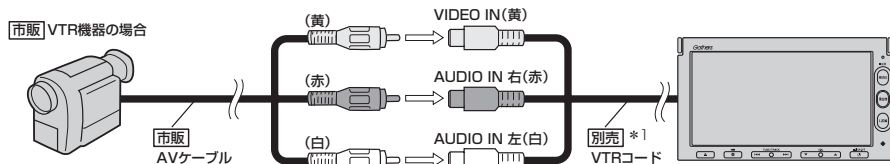
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

※接続の前に車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、接続する機器の電源を切ってください。

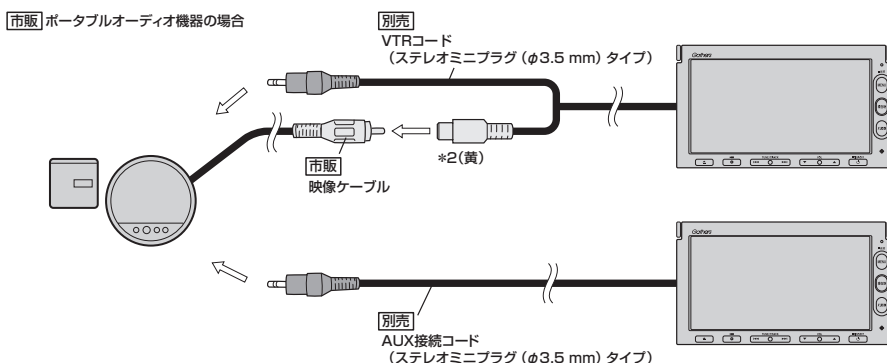
1

機器を接続する。

VTR機能	別売のVTRコードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	別売のAUX接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続



* 1…VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合は外してください。[P.13] L-13イラスト



* 2…DVD プレーヤーなどの場合に使用します。

2

本機と使用する機器の電源を入れ、本機をVTRソースに切り替える。

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

接続する



アドバイス

- 接続される機器の電源をOFF にしてから、本機の電源をOFF(エンジンスイッチを0(ロック))にしてください。
- VTR / AUX端子から入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- VTR / AUXの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声がでない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス 75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス 47 k Ω)

Q

ハンズフリーを使う

初期登録設定	Q-2
携帯電話を登録する	Q-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	Q-5
携帯電話の割り当てを切り替える	Q-6
登録した携帯電話の自動接続を設定する	Q-7
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	Q-8
車載機(本機)のBLUETOOTH情報を 確認／変更する	Q-9
ハンズフリーの通話設定をする	Q-11
携帯電話のメモリを本機に登録する	Q-12
電話を受ける	Q-14
着信音量を調整する	Q-14
電話に出る	Q-14
保留にする	Q-15
通話を拒否(終了)する	Q-16
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	Q-16
通話を携帯電話に切り替える	Q-17
トーン入力する	Q-18

電話をかける	Q-19
電話番号から	Q-19
リダイヤルから	Q-20
履歴から	Q-21
アドレス帳から	Q-22
発着履歴を削除する	Q-24
通話中に地図画面を表示する	Q-24
QQコールを利用する	Q-25
QQコールとは	Q-25
QQコールを利用するまでの流れ	Q-25
QQコールを表示する	Q-25
Siri Eyes Free機能を使う	Q-27
準備する	Q-27
使用する	Q-27

初期登録設定

BLUETOOTH対応携帯電話を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

- 1** **MENU** を押し、**携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※ **携帯電話機器登録** は端末が追加登録可能な場合に選べます。



- 2** **ハンズフリー** をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ **ハンズフリー** は端末が追加登録可能な場合に選べます。

- 3** 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※ 携帯電話の会社名を選ぶことで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行われます。

：接続待機中画面が表示されます。

※すでに登録済み(BLUETOOTH接続済み)の携帯電話(番号)がある場合、メッセージが表示されるので「はい」を選んでください。

“はい”を選ぶと現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選んだ場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、BLUETOOTHに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

携帯電話会社設定画面



ご使用の携帯電話がドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、**その他**を選んでください。本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

4

携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録方法は、お手持ちの携帯電話の説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。



アドバイス

- ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行ってください。
- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。

▶「(車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認/変更する)」Q-9

5

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。

初期登録設定



- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行うことができます。
- 携帯電話は2台までハンズフリー登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。



情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ3本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意味
	割り当てられている携帯電話 (1 / 2) と電波状態 (アンテナ本数多い程良好)
	圏外 (電波は届いていません。)



着信／発信／通話中のとき電波状態を表示



電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※ 登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

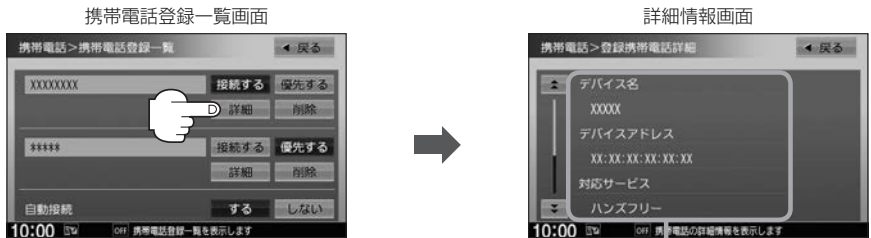
3

詳細情報を見る、または削除する。

■ 詳細情報を見る

① 詳細情報を見たい携帯電話の**詳細**をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。



登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。

(デバイス名^{*1}／デバイスアドレス／対応サービス^{*2}／携帯電話会社／自局番号を表示)

* 1… 携帯電話に設定されている名称を表示します。

* 2… 登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※ お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では“_”(アンダーバー)で表示されます。

※ 本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※ お局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。(取得できなかった場合には“_”(ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話画面に戻ります。



アドバイス

2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は2台まで登録が可能です。常時接続できる携帯電話機は1台です。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

割り当てたい携帯電話の **接続する** をタッチする。

：メッセージを表示しBLUETOOTH接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、BLUETOOTH切断を行ったあとに割り当てを変更します。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

自動接続の設定をする。

する	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末の BLUETOOTH 接続を OFF にしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** をタッチする。

※ VXM-145C をご使用の場合は、手順 **3** へお進みください。

※ 登録されている BLUETOOTH 対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

3

優先したい携帯電話の **優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) または II (ON) にしたときより設定が有効となります。

※ 自動接続をしない設定にすると **優先する** は選べません。[P] Q-7 手順 **3**

携帯電話登録一覧画面



4

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバース

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認／変更する

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

: BLUETOOTH本体情報画面が表示されます。



BLUETOOTH本体情報画面



2

デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する

① **デバイス名変更** を
タッチする。



② 英数パレットよりデバイス名を
入力し、**決定** をタッチする。

カーソルの
位置を移動



: デバイス名は変更され、BLUETOOTH
本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する

① **パスキー変更** をタッチする。

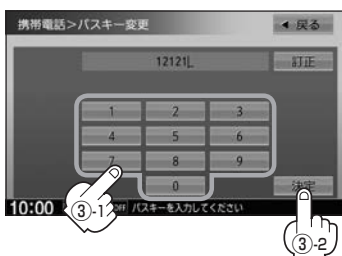


② **ハンズフリー** をタッチする。



※ VXM-145C をご使用の場合は、
手順③へお進みください。

③ 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。



：パスキーは変更されBLUETOOTH
本体情報画面に戻ります。

3

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーの通話設定をする

発信音量と着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 発着信音量・・・発着信音の大きさ(+1～+15)
- 受話音量・・・通話先相手の声の大きさ(+1～+15)
- 送話音量・・・相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1～+7)

1

MENU を押し、**携帯電話** → **設定** →

携帯電話通話設定 をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

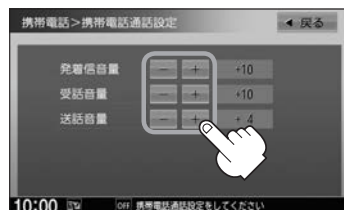


2

調整したい音量の **-** / **+** をタッチする。

- | | |
|----------|----------------------|
| - | 発着信／受話／送話音量が小さくなります。 |
| + | 発着信／受話／送話音量が大きくなります。 |

携帯電話通話設定画面



3

設定を終えるには、**戻る** をタッチ、または **現在地** を押す。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** を押すと現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話ください。
 - 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
 - 着信中／発信中／通話中に調整することもできます。
- 着信音量は Q-14、発信音量は Q-19、受話音量／送話音量は Q-20

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。



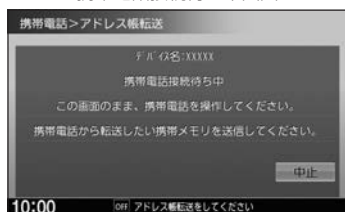
- お使いの携帯電話やスマートフォンの機種によっては、**携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります(この場合の転送は全件転送のみとなります)。
手順 **3** (Q-13)に進み、**終了** をタッチしてください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話やスマートフォン側で操作してください。
詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの説明書でご確認ください。

2

携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選び、データ送信を開始します。

携帯電話接続待ち中画面



：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選んだアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送／全件転送)



- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行ってください。
- アドレス帳のデータ送信やBLUETOOTHの接続／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

1 件転送



全件転送



追加保存するか上書き保存するか選んでください。



本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録してください。

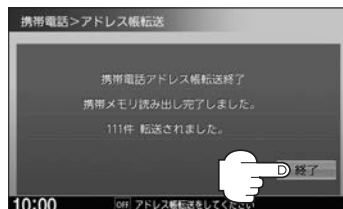
3

読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、

終了 をタッチする。

：携帯電話画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面(全件転送例)



アドバイス

- **中止** をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。
- メモリ読み出し中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前:全角9文字まで／よみ:半角18文字まで／電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 **2** (Q-12)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

なるべく安全な場所に停車してください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 着信音が鳴っているときに、**−**／**+**を
タッチして音量を調整する。

−	着信音量が小さくなります。
+	着信音量が大きくなります。

着信通知画面



携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

「**アドデバイス**」**「ハンズフリーの通話設定をする」** Q-11

電話に出る

1 **開始** をタッチする。

：通話可能となります。

着信中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に
名前／下段に番号を表示、名前登録がない
場合は上段に番号のみ表示)



- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。

- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。

「**アドデバイス**」**「ハンズフリーの通話設定をする」**
Q-11

- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

着信通知画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)
の名称と電池残量
を表示



保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、**保留**をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。



アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に **終了** をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
- ※ 対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

着信通知画面



■ 通話できる状態になった

① **通話** をタッチする。

着信保留画面



：通話可能となります。

② 通話が終わったら **終了** をタッチする。

通話中画面



：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

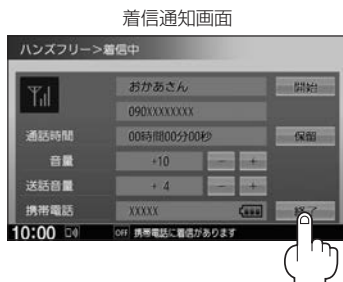
電話を受ける

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で **終了** をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。



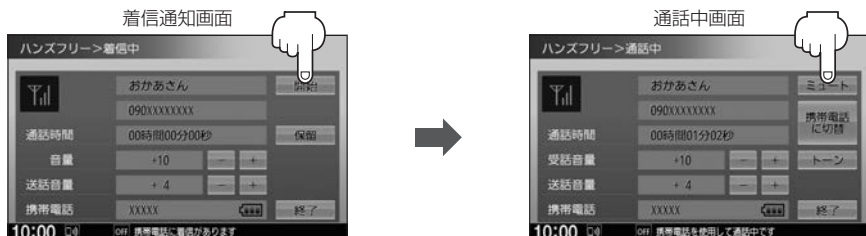
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。

※相手の声は聞こえます。

1 着信通知画面で **開始** をタッチして通話しているときに、**ミュート** をタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)



再度こちらの音声を出す

① **通話** をタッチする。



：自分の声が相手に聞こえます。

通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1

通話中画面で **携帯電話に切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

通話中画面



■ 通話を本機に戻す

① 通話中画面で **カーナビに切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

通話中画面



電話を受ける

トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

： トーン入力画面が表示されます。



2 入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。

： タッチすることによりトーン信号情報を携帯電話に送信します。



アドバース

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみトーン入力することができます。

電話をかける

なるべく安全な場所に停車してください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法で電話をかけることができます。

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1

MENU を押し、 **携帯電話** → **電話** → **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

2

相手の電話番号を入力し、
発信 をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、
発信できないことがあります。この場合、携帯電話
側の仕様をご確認ください。

電話番号入力画面



発信中画面で

発信中画面

- / + タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。



終了 をタッチすると発信を中止することができます。

電話をかける

3 通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

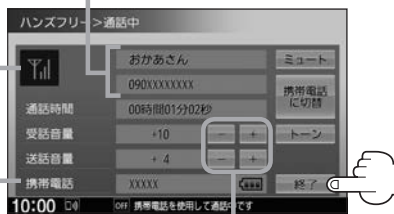
通話中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前／下段に番号を表示、
名前登録がない場合は上段に番号のみ表示)

通話中画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の
名称と電池残量を表示



通話中に **-** / **+** をタッチすると受話音量または送話音量が増減します。

- 受話音量…通話相手の声の大きさ
- 送話音量…相手に聞こえる自分の声の大きさ



アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選ぶ(Ⓕ Q-19手順 1)ことができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は Ⓕ Q-17

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1 **MENU** を押し、**携帯電話** → **電話** → **リダイヤル** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。



アドバイス

発信履歴がない場合 **リダイヤル** は選べません。

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。



発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選べません。

2

発信履歴リスト／着信履歴リストから電話をかけたい相手の番号を選ぶ。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面(例)



全削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
発信履歴／着信履歴を一括で削除



- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。
(施設名／地点名は表示されません。)
- 携帯電話本体を操作して発信を行った場合には、本機の発信履歴には保存されません。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。
また、非通知の場合電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

発信 をタッチする。

発信履歴詳細画面



* 1

削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
選択中の発信履歴／着信履歴を削除

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選んだ発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面(☎ Q-19 アドバイス)を表示し、相手につながると通話中画面(☎ Q-20 の手順 3)になります。

* 1… アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

電話をかける

3 通話が終わったら、**終了**をタッチする。

：電話が切れます。

アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示



- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。



あらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1 **MENU** を押し、**携帯電話** → **電話** → **アドレス帳から** をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 **アドレス帳から** は選べません。

2 名前またはメモリ番号から電話をかける。

■ 名前からかける

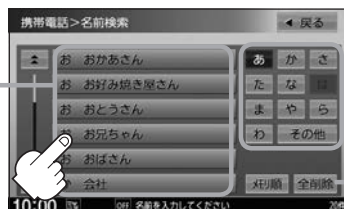
本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選ぶ。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

名前検索画面

名前の頭文字(またはそれ
以外の文字)を表示



名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選べない文字は暗くなります。)

登録されている全ての名前(アドレス)を一括で削除



携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

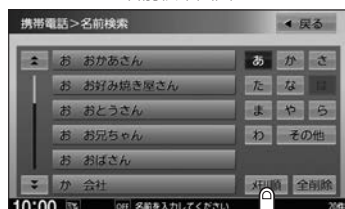
■ メモリ番号からかける

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

① **メモリ順** をタッチする。

：メモリ番号検索画面が表示されます。

名前検索画面

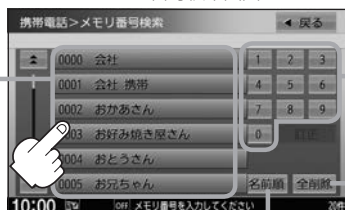


② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選ぶ。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

メモリ番号検索画面

携帯から転送された順番
にリストの上から表示



数字をタッチしてメモリ番号
を入力し、リスト上に呼び出
すこともできます。

全ての名前(アドレス)を
一括で削除

名前検索画面に戻すには **名前順** を
タッチします。

3

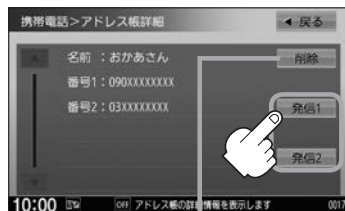
詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、

発信1 または **発信2** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると
電話をかけます。

※発信中画面(☎ Q-19 アドバイス)を表示し、相手に
つながると通話中画面(☎ Q-20 手順 **3**)になり
ます。

アドレス帳詳細情報画面



選択中の名前(アドレス)を削除

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

2

全削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと、
発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。

発信履歴リスト画面(例)



通話中に地図画面を表示する

BLUETOOTH対応携帯電話を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1

通話中に **現在地** を押す。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

■ 再度通話中画面にする

① **MENU** を押し、**携帯電話** をタッチする。

：通話中画面に戻ります。



アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

QQ コールを利用する

QQ コールとは

「QQ コール」とは、QQ コール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda 販売店やサービス工場など、Honda ネットワークでお客様をサポートするシステムです。

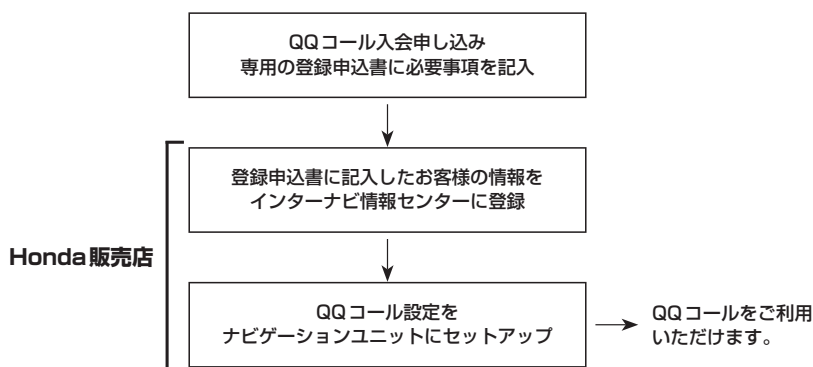
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQ コール」は、Honda 販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQ コールの紹介ページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/qqcall/>

QQ コールを利用するまでの流れ

QQ コールを利用するには、Honda 販売店での入会登録手続きが必要です。



QQ コールを表示する

QQ コールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQ コール は Honda 販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU を押し、**携帯電話** → **電話** →
QQ コール をタッチする。

: QQ コールセンターの電話番号と現在地の
マップコードが表示されます。



ハンズフリー

2

QQ コールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH接続されている

① **発信** をタッチする。

※走行中、**発信** はタッチできません。



※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH接続されていない

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。



② 会話終了後は、**通話終了** をタッチする。

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。



アドバイス

- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
 - ・ 地図表示(方位)の切り替え
 - ・ 地図の拡大／縮小
 - ・ 地図スクロール
 - ・ オーディオモードの音量調整
 - ・ オーディオモード(AV電源)のON／OFF
- 走行中はQQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQ コール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

BLUETOOTH接続時のQQ コール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

Siri Eyes Free 機能を使う

VXM-145VSi

VXM-145VS

Siri Eyes Freeは、iPhoneを本機とBLUETOOTH接続し別売のマイクに話しかけることにより、手で操作することなくiPhoneが利用できる機能です。

※利用できる機能に制限がかかる場合があります。利用できる操作はお使いのiPhoneによります。

準備する

Siri Eyes Free機能はiPhone 5、iPhone 4Sでご利用になれます。iOS6.1.3以降をご利用ください。あらかじめiPhoneを本機とBLUETOOTH登録・接続する必要があります。別売のマイクが必要です。

使用する

1 iPhoneのSiri機能をオンにする。

※詳しくはiPhoneのユーザガイドなどをご覧ください。

2 **AUDIO** またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。

: Smartphone VR画面が表示されます。

3 ビピッと音が鳴るのでマイクに発話する。

※再度ビピッと鳴り、Siri Eyes Free機能が動作します。

※再度発話する場合は、以下いずれかの操作をして発話してください。

- ・ **AUDIO** を押す
- ・  をタッチ
- ・ オーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を押す

VXM-145VSi(例)



4 Siri Eyes Free機能を終了するには、**AUDIO** またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。



アドバイス

- Siri Eyes Free 起動中でも **現在地** や **MENU** を押すと、地図画面やトップメニューに切り替えることができます。地図画面などでも Siri Eyes Free 機能はご利用になれます。
Smartphone VR 画面に戻るにはトップメニューの **Smartphone VR** をタッチします。



VXM-145VSi(例)



- 走行中などの使用状況によっては、iPhone が音声を認識できない場合があります。
例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境
- iPhone の電波が届きにくいところでは、Siri が適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンスイッチが 0 (ロック) のときに iPhone で Siri 機能を起動し、その後エンジンスイッチを I (アクセサリー)、または II (ON) にすると、本機の Smartphone VR 画面が表示されない場合があります。その場合は Siri 機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri 起動中でも、iPhone 側の動作状態によっては、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 接続中の iPhone に対し、楽曲再生指示を行い、BLUETOOTH より再生が開始された場合は、自動的に Siri 機能を終了して、本機の BLUETOOTH Audio ソースに切り替わります。
- オーディオ再生中に Siri を起動した場合、楽曲再生指示を行わなくても、本機が BLUETOOTH Audio ソースに切り替わる場合があります。
- iPhone が USB 接続中の場合、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 再生開始時、iPhone が読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iOS のバージョンによっては、Siri Eyes Free の終了に時間がかかる場合があります。
- 電話発信指示が行われたことによるハンズフリー通話は、発信履歴には保存されません。
- BLUETOOTH Audio ソースから再生が開始されない場合は、iPhone 出力先から音楽が再生されます。
- 本機と iPhone を接続中に、iPhone 側から Siri を起動しないでください。Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- オーディオ リモコン スイッチの操作は車両によって異なる場合があります。
- Siri Eyes Free 起動中は、オーディオの音声はでません。
- Siri Eyes Free が起動しないときは以下を確認してください。
 - ・ Siri Eyes Free に対応している iPhone がハンズフリー登録されていること。
 - ・ iPhone の Siri 機能がオンになっていること。
 - ・ 本機と iPhone の BLUETOOTH 接続を一度 OFF にし、再度接続を行う。

必要なとき

初期設定一覧	R-2
個人情報の取り扱いについて	R-5
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	R-5
GPS衛星の電波受信と測位	R-6
GPS(Global Positioning System)について	R-6
受信しにくい場所について	R-6
受信するまでの時間について	R-6
自律航法とマップマッチング	R-7
現在地の誤差について	R-7
自律航法&マップマッチング	R-7
学習度と現在地	R-7
交通情報(VICS情報)について	R-8
VICS情報の更新に伴う表示変更について	R-8
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信に ついて	R-9
音声案内について	R-10
ETCについて	R-11
ディスクの取り扱いかた	R-12
本機で再生できるディスクについて	R-13
SDカードの取り扱いかた	R-15
SDカードについて	R-16
USB機器について	R-17
iPod／iPhoneについて	R-18
対応可能なiPod／iPhone	R-18
使用上のお願い	R-18
BLUETOOTH Audioについて	R-19
使用上のお願い	R-19
ハンズフリーについて	R-20
使用上のご注意	R-20
音楽ファイル(MP3／WMA／AAC)について	R-22
画像ファイル(JPEG)について	R-26
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26

ワンセグについて	R-28
ワンセグの番組受信について	R-29
マルチサービスについて	R-29
ワンセグの画像について	R-29
オーディオ リモコン スイッチ	R-30
地図ソフトについて	R-32
出発地・経由地・目的地の設定について	R-36
経由地、目的地の設定の注意点	R-36
ルート案内時の注意点	R-38
地図に表示される記号	R-42
市街地図(10 m／25 m／50 mスケール) の収録エリア	R-44
細街路(日本全国)探索エリア	R-47
VICSについてのお問い合わせ	R-48
故障かな?と思ったら	R-52
メッセージ表示について	R-69
用語説明	R-74
構成内容	R-78
主な仕様	R-79
別売品(システムアップ)について	R-80
保証／アフターサービスについて	R-82
商標など	R-83
さくいん	R-85

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

●ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝100 m	
	右画面	北方向を上 スケール＝400 m	
CZMZKOCQ	自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、 渋滞地点、再探索、地点を登録、周辺施設、 右画面表示、昼夜切替、道路切替		
情報	FM多重	受信番組設定	交通情報番組(VICS)
		周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
報	ecoドライブ設定	急加減速のお知らせ＝する eco速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝しない 評価履歴＝残す 評価レベル＝初級 ecoドライブ表示＝しない	
設定	地図表示	[メイン画面の設定] 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
		[右画面の設定] 右画面に地図表示＝しない 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
		[地図色設定] 昼夜切り替え＝スモール連動 地図切り替え＝ノーマル 標高地図色＝季節連動	
		[情報バー表示設定] MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO情報を表示＝しない	
		[その他設定] 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する	

設定	ルート案内	全ルートの表示＝する 交差点情報の表示＝する ルート色の表示＝ピンク ETCレーンの表示＝する ルート情報の表示＝しない ハイウェイモードの表示＝する JCT ビューの表示＝する 交差点拡大図の表示＝する リアル 3D 表示＝する 方面看板の表示＝する AV 画面中の案内割込み＝する 盗難多発地点案内＝しない 目的地方向を表示＝しない	
	ランドマーク	カーディーラー＝Honda Cars 店、オートテラス	
	現在地(カーマーク)	矢印	
	音声案内	合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝ON 高速走行時の音声切替＝ON VICS 案内＝ON 案内音量＝15 目盛中左から 7 目盛目	
	探索条件	探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマート IC を利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS 自動再探索＝する internavi 交通情報を考慮＝する* ¹ VICS 情報を考慮＝する* ²	
	VICS	一般道＝ON 駐車場＝ON 渋滞無し＝OFF 点滅＝ON	有料道＝ON 規制＝ON 渋滞混雑＝ON
	到着予想	自動 ※自動を OFF にすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。 一般道路＝30 km/h 国道＝40 km/h 有料道路＝80 km/h	
	走行軌跡	軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし	

* 1…VXM-145VSi の場合
* 2…VXM-145VS / VXM-145C の場合

設 定	オプションボック	自宅
	お知らせ * 1	オイル交換＝しない クリーンフィルター交換＝しない 車検・点検＝しない タイヤローテーション＝しない 結婚記念日＝しない 誕生日 1＝しない 誕生日 2＝しない お好み＝しない
	ETC	カード挿入アイコン表示＝する 本体ブザー音＝する 音声案内＝する カード入れ忘れ警告＝する カード有効期限案内＝する 表示割込み時間＝5秒
	セキュリティ	セキュリティ設定＝する セキュリティインジケータ＝する
	フロント／コーナーカメラ設定	フロント／コーナーカメラ自動表示＝いいえ 登録地点検知＝はい カメラインジケータ表示＝はい ※別売のフロント／コーナーカメラ接続時のみ
	リアカメラ設定	リアカメラ設定次回表示ビュー ＝前回表示ビューと同じ ※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時
	その他	キー操作音＝キー操作音 1 映像中の時計表示＝する

* 1…VXM-145VS／VXM-145Cの場合

初期設定一覧

● 音量調整

音量 = 3

● 画質調整

明るさ

・イルミ^{*1} OFF時 = 25(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

・イルミ^{*1} ON時 = 8(ナビ)

16(フロント/コーナーカメラ)

12(リアカメラ)

コントラスト = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

色の濃さ = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

色合い = 16(ナビ、カメラ映像^{*2}共通)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ/色合い/ディスプレイ選択は表示されません。

※1…イルミ=イルミネーション

※2…カメラ映像=リアカメラ・フロントカメラ・
コーナーカメラ

● USB / SD

選曲モード = 全曲

再生モード = 未選択

モード切替 = 音楽ファイル

● サラウンド設定

OFF

※DSP選択時 = HALL

● イコライザー設定

OFF

● フェード・バランス調整

各項目の調整値 = 0

● 車速連動音量

設定 = MIDDLE

● FM / AM(ラジオ)

FM / AM = FMモード

FM周波数 = 76.0 MHz

AM周波数 = 522 kHz

交通情報 = 1620 kHz

● iPod

モード = ミュージック

● BLUETOOTH Audio^{*1}

パスキー = 0000

● DVD^{*1}

音声言語 = 日本語

メニュー言語 = 日本語

字幕言語 = 日本語

ダイナミックレンジ圧縮 = OFF

モニター設定 = ワイド

視聴制限レベル = 制限なし

● ワンセグ^{*1}

エリア変更 = 自動

視聴エリア = 東京

チャンネルリスト = 登録済(東京)

プリセットリスト = 未登録

音声設定 = 音声1、主

字幕設定 = 字幕なし

設定

中継・系列局サーチ = 自動

● ハンズフリー

パスキー = 1212

発着信音量 = +10

受話音量 = +10

送話音量 = +4

自動接続 = する

デバイス名 = Gathers

*1…VXM-145VSi / VSの場合

個人情報取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

必要なとき

■ 個人情報に関わる設定を初期化する

☞ 「データを初期化(消去)する」 G-24

■ それぞれの設定箇所で消去する

- 本機から発信または本機に着信した電話の履歴情報の削除

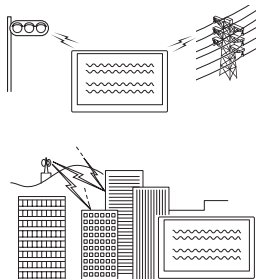
☞ 「発着履歴を削除する」 Q-24

- 本機に転送したアドレス帳の情報の削除

☞ 「**アドレス帳から**」 Q-22の手順 **2** で **全削除** をタッチする

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
 - ・ 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
 - ・ 携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
 - ・ ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

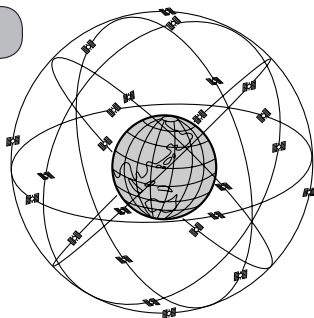


GPS 衛星の電波受信と測位

グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※本機では高度は表示しません。



GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

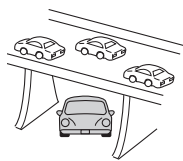
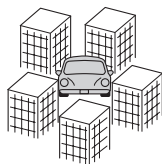
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところ です。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行ってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法*¹ & マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自転車マークの位置を補正します。

- * 1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- * 2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自転車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

交通情報(VICS 情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



アドバース

表示されるFM VICS 情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS 情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

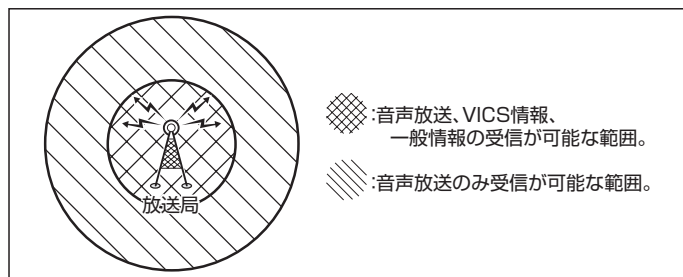
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などについては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。[📄]「[VICSの概要](#)」R-48

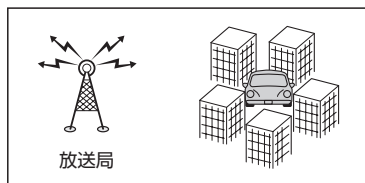
交通情報(VICS 情報)／一般情報の受信について

必要なとき

- VICS 情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FM ラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。(すべての FM ラジオ放送局で VICS 情報、一般情報を放送しているわけではありません。) デジタルデータは正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FM ラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくる VICS 情報、一般情報は受信できない場合があります。

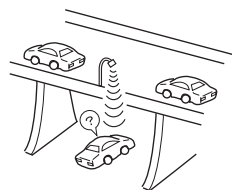


- 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。



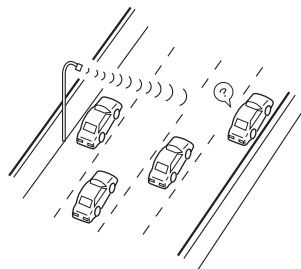
<一般道路走行中には>

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路の VICS 情報を受信することがあります。



<高速道路走行中には>

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS 情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時には、VICS 情報を受信しにくいことがあります。



音声案内について

音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくとき“まもなく経由地 1 付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。



アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は、「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-18をご覧ください。
 - 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
 - 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
 - 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 **現在地** を押すと、再度音声案内を聞くことができます。
- 「**■ 音声案内をやめる**」F-18で **消音** を選んでいる場合は、**現在地** を押しても音声案内を聞くことはできません。

ETCについて

<ETCとは>

インターチェンジランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因となっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

<ETCを利用するには>

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。



アドバイス

- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーンの表示(「 F-8)を「しない」に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。

予告案内について

- ETC車載器からの予告案内を受信すると、予告案内が表示、一部音声でのお知らせをします。内容は以下の通りです。

“ETCが利用できません”

“ETCが利用可能です”

- 予告案内は料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

- セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク、また、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。

- ディスクは使用中、高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

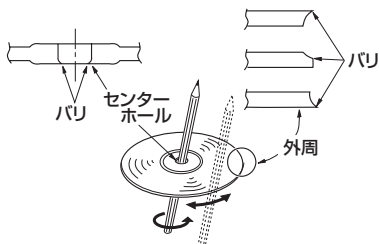
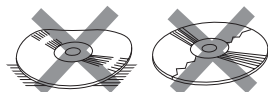
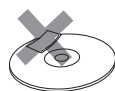
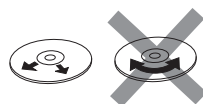
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。

※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。



本機で再生できるディスクについて

必要なとき

VXM-145VSi		DVD-R / -RW / -R DL
VXM-145VS	 	CD-R / -RW
VXM-145C	 	CD-R / -RW

※ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

■下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R / +RW / +R DL

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り可能です。(☞下記表)

※DVD-R / -R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。

DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの説明書をよくお読みください。

ビデオ再生のディスク対応一覧表

メディアの種類 (記録方式)	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画映像の種類							
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

本機で再生できるディスクについて

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

■CD-R、CD-RWについて

拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

■8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CDがCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CDの再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CDの発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

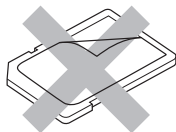
ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

SDカードの取り扱いかた

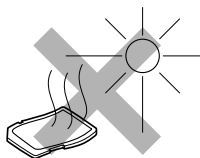
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



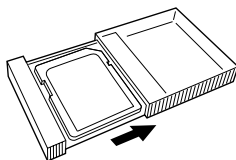
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



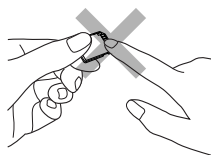
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。
SDカードが使用できなくなる場合があります。



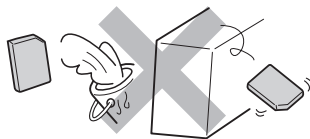
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



SDカードについて

- 本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。
- 本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。

使用できるSDカードの種類(下記以外のSDカードは使用できません)	
・SDカード(2 GB以下、256 MB以上を推奨) ・SDHCカード(4 GB～32 GB)(Class2～10)	※SDロゴ、SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。弊社では、スピードクラス10以上のパナソニック製・東芝製・サンディスク製カードの使用を推奨しております。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの初期化は本機で行ってください。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中など)にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できません。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。取り出した後は、ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など)でのご使用や保存はしないでください。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に表示されたメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売会社にご相談ください。

●操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりです。

機 能	SDカード (2 GB以下)	SDHCカード (4 GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録*1*3	○	○	○	○
音楽ファイル再生(MP3／WMA／AAC)	○	○	○	○
画像ファイル再生(JPEG)	○	○	○	○
動画ファイル再生(MPEG4／H.264)*2	○	○	○	○

- ※1…SDカードに保存した地点を本機に登録することができます。
- ※2…VXM-145VSi／VSの場合
- ※3…VXM-145VSiの場合
- 長時間ご使用になったあと、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

USB 機器について

USB 機器に MP3 / WMA / AAC / JPEG / MPEG4 / H.264 形式で作成された音楽 / 画像 / 動画データを本機で再生することができます。(VXM-145C は、動画データは再生できません。)

必要なとき

- 本機には USB 機器は付属していません。
- 本機に接続されている別売の USB 接続ジャックに USB 機器を接続してご使用ください。
- USB 機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB 機器の再生中に USB 機器を外さないでください。
- 32 GB までの容量の USB フラッシュメモリに対応しています。(256 MB 以上を推奨)
- マスストレージクラスの USB フラッシュメモリに対応しています。
- FAT16 / FAT32 のファイルシステムに対応しています。
- 下記の USB 機器、接続には対応していません。
 - ・パーティションが複数ある USB 機器
 - ・電流が 500 mA を超える USB 機器
 - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求される USB 機器
 - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いている USB 機器
 - ・USB ハブ、USB 延長ケーブルを介した接続
- 全ての USB 機器の動作を保証するものではありません。

iPod / iPhone について

対応可能な iPod / iPhone

2013年2月現在

iPod / iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod用接続ケーブル(別売)で接続		LIGHTNINGケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 5	6.1.2以上	×	×	○	×
iPhone 4S	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 4	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	6.1.2以上	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.2以上	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3以上	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2以上	○	○	×	×
iPod Video	1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2以上	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2以上	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2以上	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4以上	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3以上	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1以上	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。



● iPod / iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。

※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。

● ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod / iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod / iPhone側で操作しないでください。

● iPod / iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。

● ソフトウェアのバージョンはiPod / iPhone本体の“情報”よりご確認ください。

● 各iPod / iPhoneの仕様はiPod / iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

● VXM-145Cは、ビデオ再生には対応していません。

使用上のお願い

● iPod / iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod / iPhoneの故障の原因となります。

● iPod / iPhoneのユーザガイドもあわせてご確認ください。

● 本機への接続前と取り外し後で、iPod / iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。

● iPod touch / iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch / iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

BLUETOOTH Audio対応機器をお持ちの場合に、BLUETOOTH無線技術を利用して本機のBLUETOOTH Audio機能を使用することができます。

必要なとき

使用上のお願ひ

- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
接続するBLUETOOTH Audio対応機器はBluetooth SIG. Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH Audio対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、音が飛ぶなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器と本機以外が接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続できない場合があります。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- BLUETOOTH対応機器のアプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

ハンズフリーについて

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応携帯電話はBluetooth SIG, Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応携帯電話が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 通話エリア外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいます
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーはマイクを使用して通話します。
マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。

- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解や改造をする
 - ・ ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。



アドバース

携帯電話にはご利用にならない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。**DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。**

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

●AACとは？

Advanced Audio Cordingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 / WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

●音楽データの規格について

* 1…VXM-145VSi / VSの場合

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL *1、 SD、USB	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL *1、 SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名 / ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD、DVD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角 / 半角)、0～9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数: ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD、DVD: 512 SD、USB: 10,000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD、DVD: 255 SD、USB: 400		
表示可能なタグ	CD、DVD: トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 SD、USB: トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1 : 全角15 / 半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3 : CD : 全角30 / 半角60文字 SD、USB : 全角32 / 半角64文字	CD、DVD : 全角30 / 半角30文字 SD、USB : 全角32 / 半角64文字	全角32 / 半角64文字
ジャケット写真	CD、DVD: 非対応 SD、USB: 対応		

※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスは非対応。

※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessは非対応。

※ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

※ チャンネル数が2を超える音楽データは再生できません。

※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

●音楽ファイルの再生について

- ・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- ・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

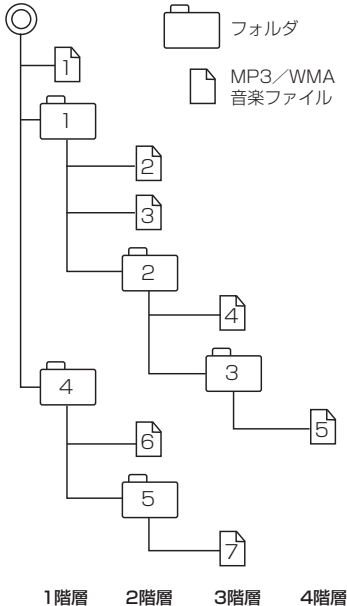
●音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

●ジャケット写真について

- ・パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付与することができます。
- ※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
- ・MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
- ・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- ・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- ・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

●階層と再生順序について



(以下はCDのMP3／WMAのみ)

- ・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- ・本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ・ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- ・再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- ・使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- ・通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- ・同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ・8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

音楽ファイル(MP3／WMA／AAC)について

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

		MP3		WMA		AAC
		MPEG1	MPEG2	WMA7	WMA9 standard	
サンプリング 周波数 (kHz)	16.000	—	○	—	—	○
	22.050	—	○	—	—	○
	24.000	—	○	—	—	○
	32.000	○	—	○	○	○
	44.100	○	—	○	○	○
	48.000	○	—	—	○	○
ビット レート (kbps)	8	—	○	—	—	○
	16	—	○	—	—	○
	24	—	○	—	—	○
	32	○	○	—	—	○
	40	○	○	—	—	○
	48	○	○	○	○	○
	56	○	○	—	—	○
	64	○	○	○	○	○
	80	○	○	○	○	○
	96	○	○	○	○	○
	112	○	○	—	—	○
	128	○	○	○	○	○
	144	—	○	—	—	○
	160	○	○	○	○	○
	192	○	—	○	○	○
	224	○	—	—	—	○
	256	○	—	—	○	○
	320	○	—	—	○	○
	VBR (可変ビットレート)	○	○	—	○	○

- ・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

●MP3／WMA／AACファイルの作り方について

MP3／WMA／AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・音楽CDをMP3／WMA／AACファイルに変換する場合

パソコンと市販のエンコーダソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA／AAC形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

・ディスクに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。このとき、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

●MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

●マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。



アドバース

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
 - ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
 - ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
 - MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
 - MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
 - MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
 - 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
 - MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“MP3”／“WMA”／“m4a”の拡張子を付けないでください。
- MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

画像ファイル(JPEG)について

- SD / USB モードのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。
- 再生可能な JPEG ファイルについて

対応形式	Baseline JPEG 方式
再生可能な拡張子	JPG / jpg (大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名 / ファイル名	全角 32 文字 / 半角 64 文字
最大フォルダ階層	8 階層
1 フォルダ内の最大ファイル数	255 (ファイル数 + フォルダ数 : ルートフォルダ含む)
1 メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A ~ Z (全角 / 半角)、0 ~ 9 (全角 / 半角)、_ (アンダースコア)、 全角漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)
ファイルサイズ	10 MB 以下
画像サイズ	16 × 16 ピクセル ~ 4092 × 4092 ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットが Gray scale、RGB、CMYK の JPEG ファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイル(MPEG4 / H.264)について

VXM-145VSi

VXM-145VS

- SD / USB ソースのとき、動画ファイル(MPEG4 / H.264)を再生させることができます。
- 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps ~ 4 Mbps	15 fps、30 fps	720 × 480
H.264	216 kbps ~ 4 Mbps	15 fps、30 fps	720 × 480

※ MPEG4 (ビデオコーデック) の対応プロファイルは Simple Profile レベル 3 までです。

※ ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。

※ H.264 (ビデオコーデック) の対応プロファイルは、Baseline Profile レベル 2.1 までです。

※ 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※ Windows Media Video には対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps ~ 320 kbps	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、 44.1 kHz、48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※左記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかつたり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。

※動画ファイル(MPEG4／H.264)の作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れる場合があります。

再生可能な拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※WMVは再生できません。

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

●動画ファイルの再生について

- ・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ・チャンネル数が2を超える音楽データを含む動画ファイルは再生できません。
- ・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめます。
- ・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- ・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ・SDカード／USBメモリデバイスの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

●著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

ワンセグについて

VXM-145VSi

VXM-145VS

地上デジタルテレビ放送は、地上アナログ放送がデジタル化された放送で、2003年12月から東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の一部で開始された放送です(その他の地域では2006年末までに放送が開始されました)。データ放送を利用することもできます。また、地上デジタルテレビ放送の電波の一部を使用して携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送を見ることができる地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」があります。地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」とは地上デジタルテレビ放送の電波の約6 MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。なお、地上デジタルテレビ放送や地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログ放送のUHF帯の電波を使用して放送されています。

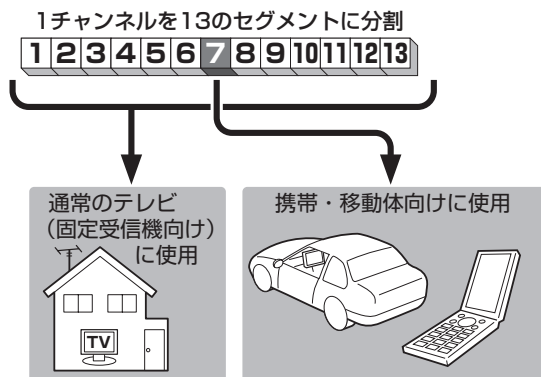
※本機はワンセグ受信中に緊急警報放送を受信した際、自動的に電源をONにする機能は持ちません。



アドハイス

「ワンセグ」サービスの詳細につきましては、下記ホームページなどでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>



ワンセグは13個のセグメントのうちの1つを使って、携帯電話などの小型機器に向けた地上デジタルテレビ放送です。

ワンセグの番組内容は、12セグメントを使っている通常のテレビ(固定受信機向け)の番組内容と異なる場合があります。

ワンセグの番組受信について

VXM-145VSi

VXM-145VS

必要なとき

- 地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声か乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声か乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声か乱れる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

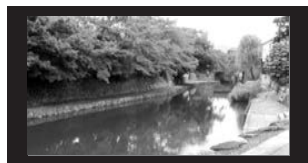
マルチサービスについて

「マルチサービス」とは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

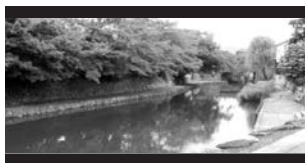
ワンセグの画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示しています。データによって画像の大きさ(比率)が異なります。チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなど、下記のように画像の周りや上下、左右が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。

(例)周りが黒く表示される



(例)上下が黒く表示される



(例)左右が黒く表示される

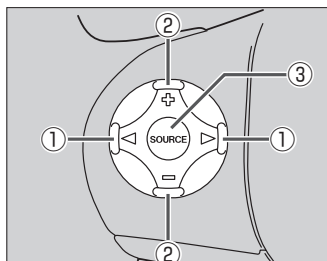
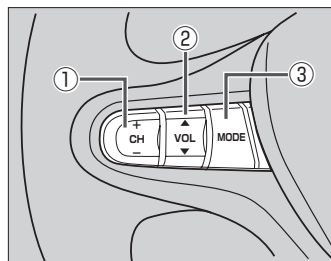


オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。

イラストはイメージ図です。



車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH- / CH+ スイッチ、◀ / ▶ スイッチ

- ラジオを聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。

CH+ / ▶ / CH- / ◀ を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- ワンセグ*2を見ているとき

CH+ / ▶ を押す。：チャンネルリスト上の次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：チャンネルリスト上の前の放送局を選局します。

CH+ / ▶ / CH- / ◀ を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- MP3 / WMA / AAC ファイル (CD・DVD*1 / SD / USB) を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

CH+ / ▶ を長く押す。：フォルダアップします。

CH- / ◀ を長く押す。：フォルダダウンします。

- CD / iPod / BLUETOOTH Audio*2 を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

- DVD を見ているとき*2

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次のチャプターの頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前のチャプターの頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

② VOL▲ / VOL▼ スイッチ、+ / - スイッチ

VOL▲ / + を押す。：オーディオ音量が大きくなります。

VOL▼ / - を押す。：オーディオ音量が小さくなります。

VOL▲ / + を長く押す。：連続してオーディオ音量が大きくなります。

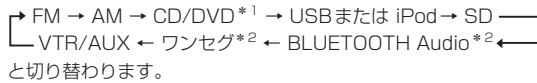
VOL▼ / - を長く押す。：連続してオーディオ音量が小さくなります。

* 1…CD・DVDでのAAC再生はできません。(VXM-145Cの場合、DVDの再生はできません。)

* 2…VXM-145VSi / VSの場合

③ **MODE**、**SOURCE** スイッチ

MODE / **SOURCE** を押す。: スイッチを押すたびに、



と切り替わります。

MODE / **SOURCE** を長く押す。: Siri Eyes Free機能が起動します。*2

* 1…VXM-145Cの場合は、CDのみです。

* 2…VXM-145VSi / VSの場合

※ USBとiPodは同時に接続できません。

※ iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。



アドドライブ

- オーディオモード ↔ ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の **AUDIO** ↔ **現在地** を押して切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
 - ・ディスク、SDカード未挿入
 - ・USB / iPod / VTR / AUX / BLUETOOTH Audio 機器未接続

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
 - (3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-950号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平23情使、第768-001号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認 11-080)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2012年11月のものを使用しています。

地図ソフトについて

- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2012年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2012年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆ 3D交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
(1,790交差点、5,770画像)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ ジャンクションビュー…………… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
(4,120ヶ所、8,260方面)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ 方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2012年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2012年11月発行)をもとに作成しています。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元：NTTデータ 予測の基となる情報：JARTIC/VICSセンター)
なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICIS に関するお問い合わせ

(一財) 道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜、日曜、祝日を除く)

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■ 道路：2012年12月(高速・有料道路)／2012年9月(国道・都道府県道)

■ 交通規制^{※1}：2012年11月

■ 住所検索：2012年11月

■ 電話番号検索：2012年11月

■ 個人宅電話番号検索：2012年8月

■ 郵便番号検索：2012年11月

■ ジャンル検索：2012年10月

■ 高速・有料道路料金^{※2}：2012年11月

■ 市街地図：2012年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICIS レベル3 対応データ収録エリア】 全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICISサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2013年9月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2011 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない
場合がございます。

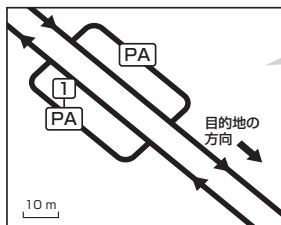
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の設定の注意点

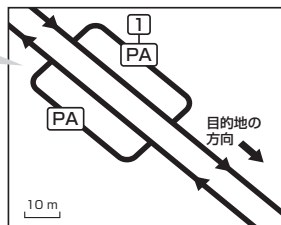
通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。

最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



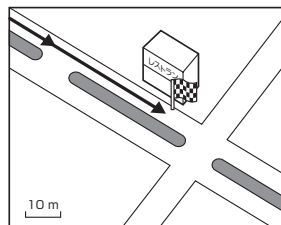
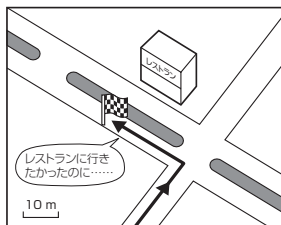
最詳細地図で
見てみると…



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

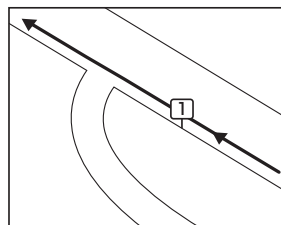
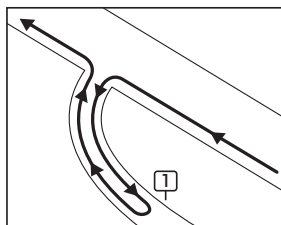
例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

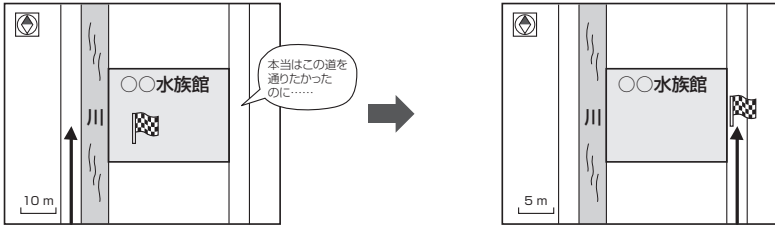
例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
(駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。



アドバイス

出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。

経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。

ルート案内時の注意点

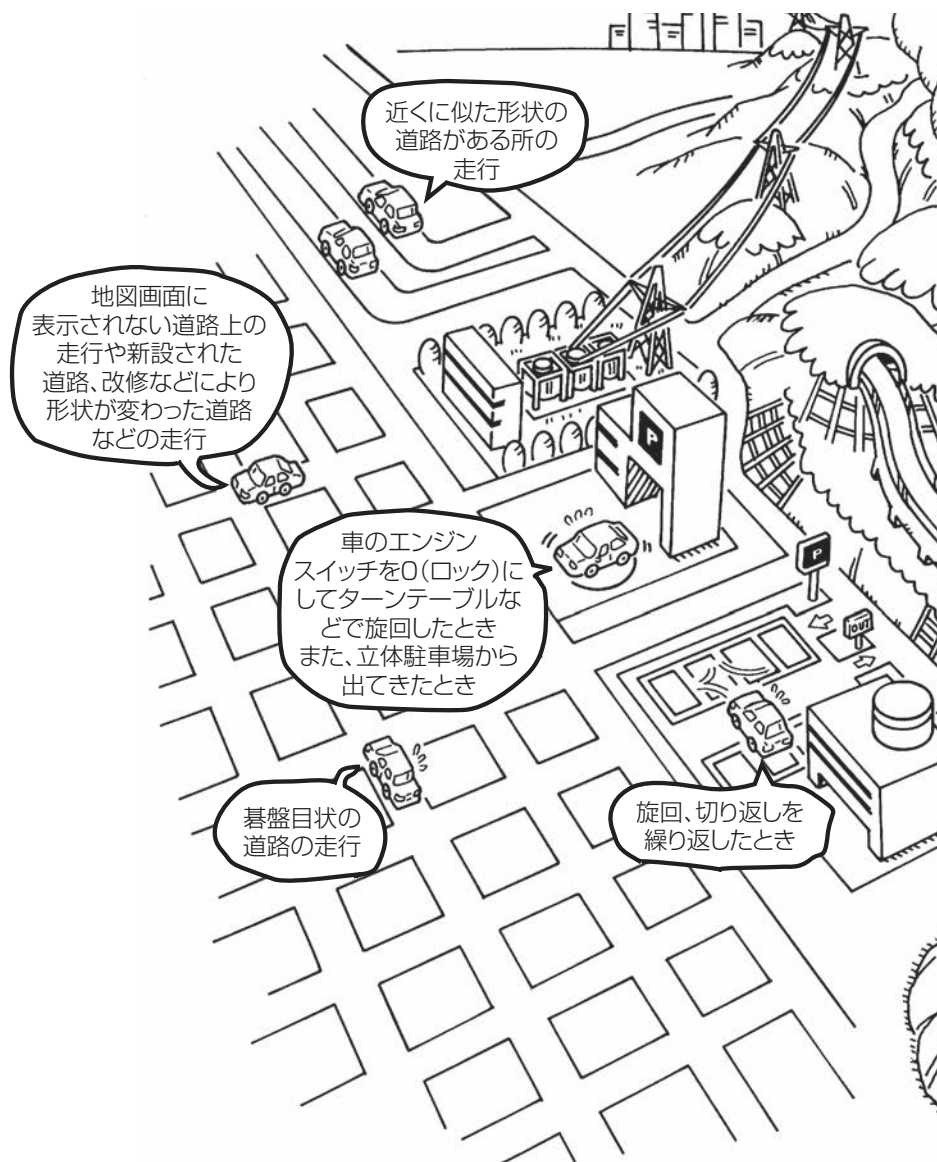
- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。
- ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探るか、ルート削除したときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どこか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートがつかないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
 - 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
 - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行いません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
 - 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
 - 極度に迂回したルートしかない場合。
 - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

● 以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示されることがあります。
この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示されることがあります。
修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- **一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや **探索条件** の設定でフェリーを優先 **しない** に設定しても、フェリー航路でのルートが設定されることがあります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

自車マークの表示誤差について

自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

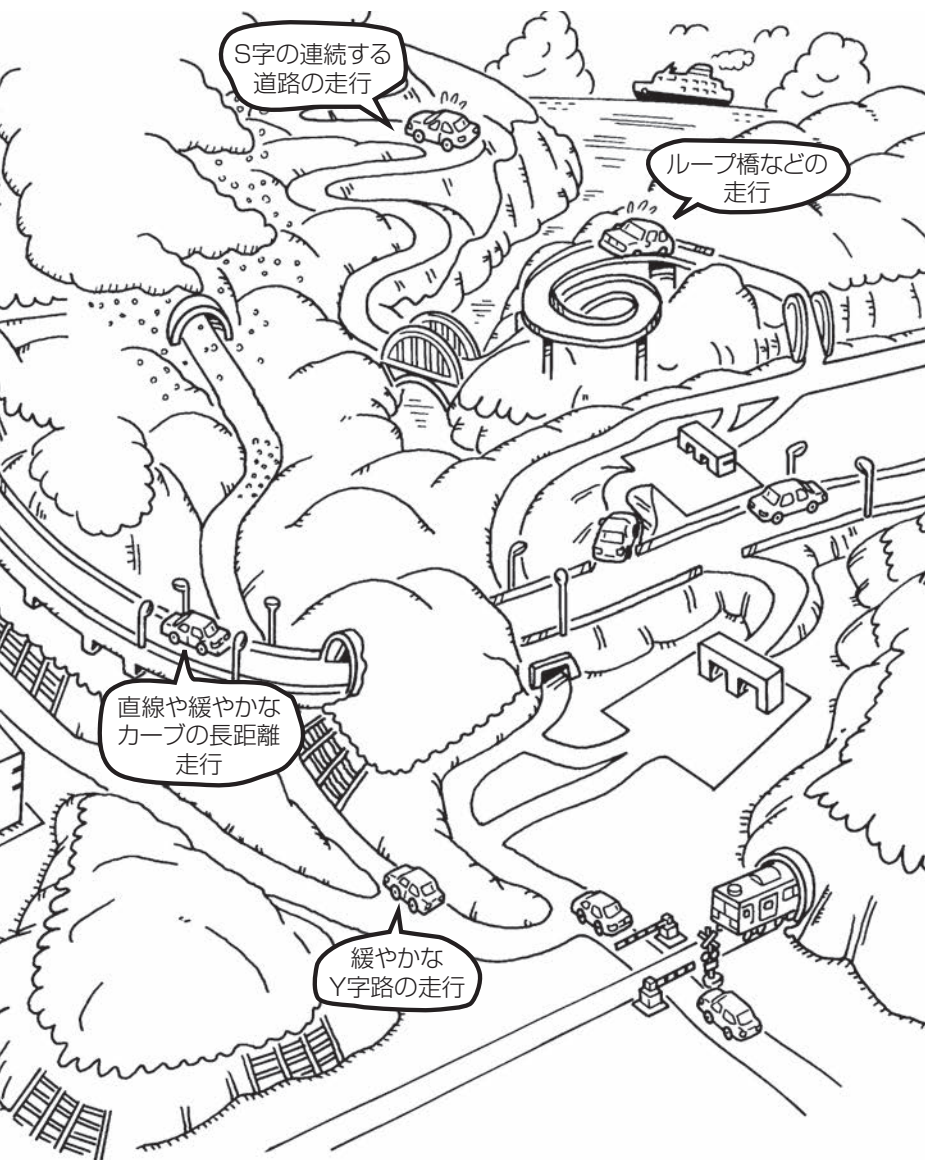




アドバイス

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

必要なとき



地図に表示される記号

地図表示記号(例)

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路

赤色：国道

緑色：主要地方道、県道

灰色：一般道、細街路

青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。



道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選んだときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-4

立体アイコン(例)



東京タワー



新宿センタービル



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



原爆ドーム



JR 東京駅

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

北海道	札幌市、函館市、 小樽市 、旭川市、室蘭市、釧路市、 帯広市 、 北見市 、夕張市、 苫小牧市 、稚内市、 美唄市 、 芦別市 、 江別市 、 赤平市 、紋別市、 士別市 、 名寄市 、 三笠市 、 根室市 、千歳市、 恵庭市 、 北広島市 、 石狩市 、 当別町 、 釧路町 、 岩見沢市 、 網走市 、 留萌市 、 滝川市 、 砂川市 、 歌志内市 、 深川市 、 富良野市 、 登別市 、 江差町 、 斜里町 、 伊達市 、 白老町 、 音更町 、 北斗市 、 池田町 、 洞爺湖町 、 新ひだか町 、 清水町 、 芽室町 、 幕別町 、 七飯町 、 八雲町 、 岩内町 、 余市町 、 奈井江町 、 鷹栖町 、 東神楽町 、 美瑛町
青森県	三沢市、 青森市 、 弘前市 、 八戸市 、 黒石市 、 五所川原市 、 十和田市 、 むつ市 、 藤崎町 、 大鰐町 、 東北町 、 つがる市 、 平川市 、 野辺地町 、 田舎館村
岩手県	盛岡市 、 宮古市 、 大船渡市 、 花巻市 、 北上市 、 久慈市 、 遠野市 、 陸前高田市 、 釜石市 、 二戸市 、 雫石町 、 岩手町 、 滝沢村 、 一関市 、 紫波町 、 矢巾町 、 大槌町 、 山田町 、 岩泉町 、 八幡平市 、 奥州市 、 金ヶ崎町 、 平泉町
宮城県	多賀城市、 仙台市 、 石巻市 、 塩竈市 、 気仙沼市 、 白石市 、 角田市 、 名取市 、 岩沼市 、 大河原町 、 山元町 、 松島町 、 七ヶ浜町 、 利府町 、 富谷町 、 色麻町 、 加美町 、 登米市 、 栗原市 、 東松島市 、 美里町 、 大崎市 、 蔵王町 、 村田町 、 柴田町 、 亘理町 、 大和町 、 大衡村 、 涌谷町
秋田県	秋田市 、 能代市 、 横手市 、 大館市 、 男鹿市 、 湯沢市 、 鹿角市 、 五城目町 、 井川町 、 由利本荘市 、 潟上市 、 大仙市 、 北秋田市 、 にかほ市 、 仙北市 、 八郎潟町
山形県	山形市 、 米沢市 、 鶴岡市 、 酒田市 、 新庄市 、 寒河江市 、 上山市 、 村山市 、 長井市 、 天童市 、 東根市 、 尾花沢市 、 南陽市 、 山辺町 、 中山町 、 河北町 、 高畠町 、 川西町 、 庄内町
福島県	福島市 、 会津若松市 、 郡山市 、 いわき市 、 白河市 、 須賀川市 、 喜多方市 、 相馬市 、 二本松市 、 桑折町 、 国見町 、 本宮市 、 鏡石町 、 西郷村 、 矢吹町 、 小野町 、 田村市 、 南相馬市 、 伊達市 、 川俣町 、 会津美里町 、 石川町 、 玉川村 、 三春町 、 広野町 、 楡葉町 、 富岡町 、 大熊町 、 双葉町 、 浪江町
茨城県	水戸市、 日立市 、 土浦市 、 取手市 、 ひたちなか市 、 五霞町 、 境町 、 守谷市 、 利根町 、 古河市 、 石岡市 、 結城市 、 龍ヶ崎市 、 下妻市 、 常陸太田市 、 高萩市 、 北茨城市 、 笠間市 、 牛久市 、 つくば市 、 鹿嶋市 、 潮来市 、 茨城町 、 大洗町 、 東海村 、 鉾田市 、 神栖市 、 阿見町 、 常陸大宮市 、 那珂市 、 筑西市 、 坂東市 、 稲敷市 、 かずみがうら市 、 桜川市 、 行方市 、 常総市 、 つくばみらい市 、 小美玉市 、 河内町 、 城里町 、 大子町 、 美浦村 、 八千代町
栃木県	宇都宮市 、 小山市 、 足利市 、 栃木市 、 佐野市 、 鹿沼市 、 日光市 、 真岡市 、 大田原市 、 矢板市 、 上三川町 、 益子町 、 市貝町 、 芳賀町 、 壬生町 、 野木町 、 那須町 、 那須塩原市 、 さくら市 、 那須烏山市 、 下野市 、 茂木町 、 岩舟町
群馬県	前橋市 、 高崎市 、 伊勢崎市 、 太田市 、 桐生市 、 榛東村 、 吉岡町 、 甘楽町 、 中之条町 、 東吾妻町 、 嬬恋村 、 草津町 、 みなかみ町 、 玉村町 、 板倉町 、 明和町 、 千代田町 、 大泉町 、 邑楽町 、 沼田市 、 館林市 、 渋川市 、 藤岡市 、 富岡市 、 安中市 、 みどり市 、 下仁田町 、 昭和村
埼玉県	川越市 、 熊谷市 、 川口市 、 さいたま市 、 所沢市 、 飯能市 、 加須市 、 本庄市 、 春日部市 、 狭山市 、 深谷市 、 上尾市 、 草加市 、 越谷市 、 蕨市 、 戸田市 、 入間市 、 朝霞市 、 志木市 、 和光市 、 新座市 、 桶川市 、 久喜市 、 北本市 、 八潮市 、 富士見市 、 三郷市 、 蓮田市 、 鶴ヶ島市 、 吉川市 、 三芳町 、 毛呂山町 、 松伏町 、 行田市 、 秩父市 、 東松山市 、 羽生市 、 鴻巣市 、 坂戸市 、 幸手市 、 日高市 、 伊奈町 、 越生町 、 滑川町 、 嵐山町 、 小川町 、 川島町 、 吉見町 、 鳩山町 、 横瀬町 、 皆野町 、 長瀬町 、 小鹿野町 、 東秩父村 、 美里町 、 神川町 、 上里町 、 寄居町 、 宮代町 、 白岡市 、 杉戸町 、 ふじみ野市 、 ときがわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市中区、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 % 以上収録地域 → 無印、50 % 以上収録地域 → 、50 % 未満収録地域 →

三重県	津市、 松阪市 、 いなべ市 、東員町、 菟野町 、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 尾鷲市 、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、南伊勢町、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、太地町、 串本町
滋賀県	近江八幡市 、草津市、 大津市 、 彦根市 、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、日吉津村、 八頭町 、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、 宮津市 、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮岡市 、 亀岡市 、 長岡京市 、 宇治田原町 、 笠置町 、 和束町 、 南山城村 、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町	松江市、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 安来市 、 江津市 、 雲南市
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、 笠岡市 、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西栗倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、 豊岡市 、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、朝来市、たつの市、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、加東市、 市川町 、 神河町	呉市 、尾道市、 福山市 、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、 広島市 、 竹原市 、 三原市 、 三次市 、 庄原市 、 大竹市 、 東広島市 、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、 宇陀市 、三宅町、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村	山口県 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、 山陽小野田市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、周南市、和木町、平生町、周防大島町、 田布施町
		徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町
		香川県 、 高松市 、 丸亀市 、坂出市、善通寺市、 観音寺市 、さぬき市、東かがわ市、土庄町、 綾川町 、宇多津町、 まんのう町 、 琴平町 、 多度津町 、 三豊市 、 小豆島町 、 三木町
		愛媛県 、 松山市 、 今治市 、 宇和島市 、 八幡浜市 、 新居浜市 、 西条市 、 大洲市 、 伊予市 、 四国中央市 、 松前町 、 砥部町 、 伊方町 、 久万高原町 、 西予市 、 東温市 、 内子町

高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、橘原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、刈田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市 ^{*1} 、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町 *1…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町

沖縄県

那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町



- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2012年7月です。

細街路(日本全国)探索エリア

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行うことができます。

探索されたルートは細街路中ではピンクで表示されます。



- 狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。
- 運転の際は現地の状況に従ってください。

VICS についてのお問い合わせ

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*¹から、FM多重放送*²を使ってリアルタイム*³に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

* 1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

* 2 FM多重放送では広域情報を提供します。

* 3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成24年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。

FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。

※ VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICS リンクデータベースの著作権について〉

VICS リンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICS リンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICS リンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICS リンクデータベース：VICS リンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICS に関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 問い合わせ項目	お買い上げの Honda 販売店	VICS センター
VICS の概念、計画		○
レベル 1 の表示内容		○
レベル 2 の表示内容		○
レベル 3 の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

※ VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、レベル 3 (地図) 表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

※ VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。(ただし、レベル 3 (地図) 表示の表示内容は除く。)

VICS センター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

電話番号 0570-00-8831

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間 平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX 番号 (03)3562-1719

FAX 受付時間 24 時間

URL <http://www.vics.or.jp/index1.html>

* お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの Honda 販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※ PHS からはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める月額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	▼／▲ (VOL)で調整してください。	—
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	H-14
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
	Siri Eyes Freeが起動中である。*1	Siri Eyes Freeを終了してください。	Q-27
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	R-12
ディスクを読み込まない。			
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。	保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	—
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量をOFFに設定してください。	H-19
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。	—
	ディスクを長時間再生していた。		

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

モニター

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	H-10
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	H-13
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	H-10
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—

自転車マーク関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	R-6
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 を押してください。	—
自転車マークが表示されない。			
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	A-6
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	—
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	R-6
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	—
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-18
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	—

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	－
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示）	探索されたルート上を走行してください。	－
自動再探索ができない。	道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。	D-17
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	－

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	－
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	－
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	－
遠回りな自動ルートを探索する。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、遠回りなルートになることがあります。	基本道路(細街路以外の道路)に近づけて設定してください。	－

* 1…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
遠回りな自動ルート を探索する。	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示 が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	R-36
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	R-36

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	—

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS 情報(レベル3)が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	—
	地図の縮尺スケールが拡大されている。	地図の縮尺スケールを 1 km 以下にしてください。	B-7
一般情報が表示されない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	一般情報番組 を選んでいない。	一般情報番組 を選んでください。	—

カメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
フロント・コーナーカメラ映像が出ない。	高速で走行している。	低速で走行してください。	—
リアカメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。	—
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	—
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	—
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
カメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。	—
	ガイド表示が“OFF”になっている。	コーナーカメラのガイド表示の場合は、画面をタッチして ガイドON をタッチしてください。	G-14
		リアカメラのガイド表示の場合は、セレクトレバーがR(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	G-18
	フロントカメラはガイドを表示しません。	—	—
カメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。	—

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	I-3
放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。	場所を移動し、手動でリスト更新してください。	I-6
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声流れない。* 1	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	—
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	L-13
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	—
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善場合があります。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。	H-3、 L-13

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビデオ再生しない。 (映像がでない。)	ケーブルを正しく接続していない。 またはiPod本体に付属のケーブル を使用している。	音声・映像を再生させる(出力させる)には、別売のiPod接続コードに別売のUSB接続ジャックとVTRコードを全て接続する必要があります。	L-13
選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などの タイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム 情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes ^{*1} で再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。	—
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	Lightningケーブルで接続するiPod／iPhoneでは、ビデオ再生できません。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。	—
	別売のiPod用接続ケーブルで接続 されていない。	ビデオ再生するには、別売のiPod用接続ケーブルで接続してください。	—
ジャンルが正しく表示されない。	iPod／iPhoneが間違ったデータを送信している。	iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
再生中のタイトルが正しく検索されない。	iPod/iPhoneが間違ったデータを送信している。	iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
	タイトル情報が入っていない曲を検索している。	タイトル情報が入っていない曲はiPod／iPhoneの機種／バージョンによっては検索ができない場合があります。	—

* 1…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

CD・MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDに切り替わらない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	—
● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ● 音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	R-12
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているところしたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと言切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がリ、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD・MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3／WMA ファイルを再生できない。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DA データと MP3 ファイルが混在している場合、MP3 ファイルは再生できません。	—
	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録された MP3／WMA ファイルにしてください。	R-24
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMA ディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA 以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください。 (MP3 形式でないファイルに「.mp3」、WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けた CD-R、CD-RW を再生しないでください。)	—
聞きたい MP3／WMA ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」、WMA ファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、WMA ファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMA ファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW 書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。	G-24
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	K-7
		対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	R-22、 R-26
	動作モードが間違っている。	再生したい動作モードを選んでください。	H-9
	結露している。	SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	拡張子を確認してください。	R-22、 R-26
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	SD / USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD / USB機器へ書き込み際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3 / WMA / AACファイルにしてください。	R-22
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替 で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	H-9

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生でき ない。	著作権保護された音楽データで記録 されている。	著作権保護された音楽ファイル(SD- Audio規格など)は再生できません。 対応しているファイル形式で記録さ れたMP3 / WMA / AAC ファイル を再生してください。	—
	SD-Audioで録音された音楽を再生 しようとした。		
JPEG ファイルを再 生できない。	対応していないファイル形式で記 録されている。	対応しているファイル形式で記録さ れたJPEG ファイルにしてください。	R-26
	「画像ファイル」モードになってい ない。	モード切替 で「画像ファイル」モード に切り替えてください。	H-9
AAC ファイルを再生 できない。	AAC ファイルに画像データ(iTunes のネットワークを除く)、映像デー タが混在しているSDカードまたは USB 機器を再生しようとした。	AAC ファイルに画像データ(iTunes の ネットワークを除く)、映像データ、そ の他音楽データでないものが含まれる 場合 AAC ファイルは再生できません。	—
MP3 / WMA / AAC 再生時にエラーメッ セージが表示される。	Mac で作成したファイルをSDカー ド / USB フラッシュメモリで再生 している。	Mac でファイルを作成すると、作成 したファイルと一緒に隠しファイル が作成されます。そのファイルを一緒 にフォルダの中にコピーしていると、 再生時にエラーが発生します。 使用するSDカード / USB フラッ シュメモリから隠しファイルを削除 してください。	—
USB 機器を認識して いない。	対応していないUSB機器の可能性 があります。	別のUSB 機器で試してください。	—
	USB 機器が正しく接続されていな い。	正しく接続されているか確認してく ださい。	K-7
	USB 接続ジャックが正しく接続さ れていない。	Honda 販売店にお問い合わせくださ い。	—
ジャケット写真が 表示できない。	MP3 / WMA / AAC ファイルに ジャケット写真が登録されていな い。	iTunes、Windows Media Player などのアプリケーションを使用して、 パソコンでジャケット写真を登録し てください。	—
	登録する画像が対応していない ファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録さ れたJPEG ファイルを使用してくだ さい。	—
	登録されているジャケット写真の 画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登 録されているジャケット写真の画像 サイズが大きいと表示できない場合 があります。 小さい画像サイズのジャケット写真 を登録してください。	R-23
	1つの音楽ファイルに複数のジャ ケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画 像のみ登録してください。	—

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3 / WMA / AAC ファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

- 対応ファイル形式については「」音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について」R-22 / 「画像ファイル(JPEG)について」R-26 / 「動画ファイル(MPEG4 / H.264)について」R-26

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。 字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がOFFになっている。	設定を変えてください。	N-13、 N-20
音声が出ない。	静止画、コマ戻し / コマ送り、スロー戻し / スロー送り中である。	静止画、コマ戻し / コマ送り、スロー戻し / スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	R-12
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部に付まって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	R-13
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。 リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—

* 1…VXM-145VSi / VSの場合

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
再生を始めない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	N-24
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	R-12
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	N-24

DVD * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語” が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語” を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	N-20
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

ワンセグ * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	—
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	O-20
受信できない。	● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。 ● 放送エリア内にいない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	O-8
		地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に付属の地上デジタルTV用フィルムアンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書に従って正しく設定してください。	—
映像が止まったりモザイクがかかる。	周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。	受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。	—
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	—

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

ワンセグ* 1

症 状	原 因	処 置	参考ページ
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

BLUETOOTH Audio* 1

症 状	原 因	処 置	参考ページ
BLUETOOTH Audio 対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えてしまう。	再度登録してください。	—
	BLUETOOTH Audio 対応機器の設定が、BLUETOOTH 接続待ちの状態になっていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器の説明書をご確認ください。	—
	本機から接続を受けつけない。		
	特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。		
音楽が流れない。	BLUETOOTH Audio の音声転送プロファイルである、A2DP が接続されていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器が A2DP に対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、A2DP に対応していても音楽が流れない場合があります。	—
BLUETOOTH Audio 対応機器の操作を本機からできない。	BLUETOOTH のリモコン操作プロファイルである、AVRCP が接続されていない。	BLUETOOTH Audio 対応機器が AVRCP に対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio 対応機器の仕様によっては、AVRCP に対応していてもリモコン操作ができない場合があります。	—
● 音が飛ぶ。 ● 操作がおくれる。 ● 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	BLUETOOTH Audio 対応機器が本機から離れすぎている。	BLUETOOTH Audio 対応機器を本機に近づけてください。	—
	ハンズフリー、データ通信などを行っている。	故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。	—

* 1…VXM-145VSi / VS の場合

BLUETOOTH Audio * 1

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.4 に対応した機器を使用してください。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。	—

ハンズフリー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで音声がかかる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさざぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声がブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ● 相手の声が聞こえない。 ● 着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	Q-11
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中)	送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。	Q-11、 Q-16
通話後、オーディオの音が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	—
携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0 (ロック)→Ⅱ (ON)にしてください。	—
	BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	R-21 アドバイス
Siri Eyes Free が起動しない。* 1	対応機器が接続されていない。	Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneをハンズフリー登録してください。	Q-2
	接続機器が利用できない状態になっている。	iPhoneのSiri機能をオンにしてください。	—
		本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行ってください。	—

* 1…VXM-145VSi／VSの場合

メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

必要なとき

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	—
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。	E-11
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居る。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっている。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	E-3
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信している。	全てのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	E-8
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。	安全な場所に車を止めてから操作をしてください。	—

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがない。	指定のホームページからデータを書き込みしてください。	F-29
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	オーディオでSDカードを使用している。	オーディオを終了してください。	H-3
“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”	SDカードが差し込まれていない。	車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをII(ON)にしてください。	A-14
	SDカードが挿入されていない。	指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	F-29
	SDカードは挿入されているが、認識できていない。	SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。	—
“ETCカードを確認してください”	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。	正常な状態のETCカードを挿入してください。	—
“ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください”	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。	Honda販売店にご相談ください。	—
“ETCカードが挿入されていません”	カード入れ忘れ警告の設定を する に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。	ETCカードを挿入してください。	—
“ETCユニットがセットアップされていません”	ETC車載器本体がセットアップされていない。	ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。	—
“ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません”	カード有効期限内案の設定を する に設定しているときに、有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にした。	有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンコードが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	N-24
“入力されたパスワードが間違っています。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	N-24
“走行中は映りません。”	走行中にDVD／ワンセグ／VTR／iPodの映像を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆に挿入されている。 ● ディスクに汚れ／異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まへのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“再生可能な曲がありません。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	R-22
	USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	R-22

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をOFFにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	H-3
“SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	H-3
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	
“信号が受信できません。[202] 中継局を探しますか？”	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	O-21
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	一般社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—
“バスキーが一致していません。再度登録操作を行ってください。”	入力したバスキーが本機に設定されているバスキーと異なる。	本機に設定されているバスキーを確認のうえ、正しいバスキーを入力してください。	Q-3、Q-9

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。	G-24
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—
“USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されている。	本機に対応しているUSB機器を使用してください。	R-17
“対応していない機器が接続されています。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。		
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れた。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	R-21 アドバイス
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	Q-9
	他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。	—

用語説明

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

ID3タグ／WMAタグ

MP3 ファイル、WMA ファイルには、ID3 タグ、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3 タグ、WMA タグに対応したプレイヤーでID3 タグ、WMA タグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet

Microsoft 社が開発したCD 上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Joliet ではスペースを含む最大64 文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

SDHC

SD アソシエーションによって規格化されたSD メモリーカードの上位規格で、4 GB 以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC 記録メディアです。“SD カード” 対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚の“SD カード” に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR 機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR 端子から入力された映像や音は、VTR ソースに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、おもに4：3と16：9の2種類があります。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行うソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

カスタマイズ

お客様の好みや使いかたにあわせて機能を設定しなおすことです。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行うかを表す数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言います。プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行います。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

BLUETOOTH接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。BLUETOOTH機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行われます。

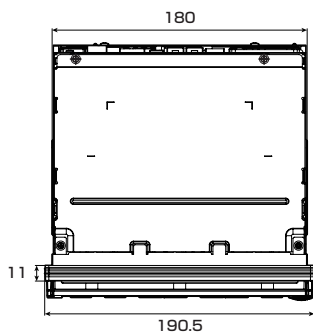
ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

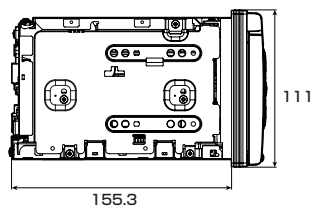
構成内容

外形寸法図(単位：mm)

本体

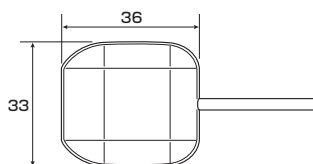


[平面図]

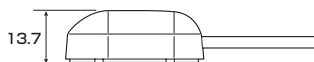


[左側面図]

GPS アンテナ



[平面図]



[側面図]

主な仕様

必要なしき

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部*1

受信チャンネル	UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S/N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S/N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオ セパレーション	FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部*1

対応ディスク	DVD ビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S/N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミック レンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	3ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント/コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子*1	GT13専用コネクター
マイク入力端子*1	ミニジャック
LUF入力端子*2	4ピン専用コネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	45 W×4 ch(15.2 V)
外形寸法	190.5×111×166.3 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	{VXM-145VSi} 2.3 kg {VXM-145VS} 2.3 kg {VXM-145C} 2.4 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

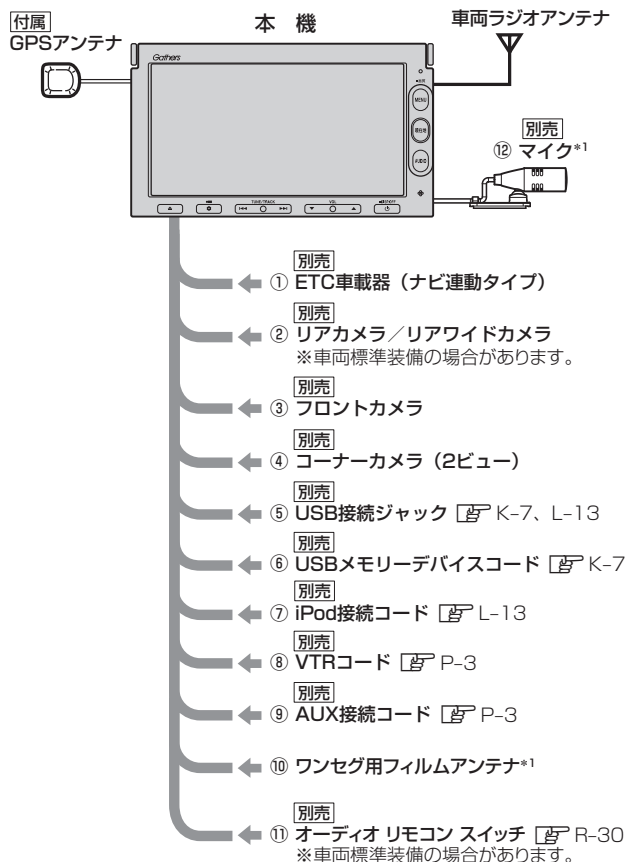
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(7 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

* 1…VXM-145VSi/VSの場合

* 2…VXM-145VSiの場合

別売品(システムアップ)について



① ETC 車載器(ナビ連動タイプ)

② リアカメラ／リアワイドカメラ

③ フロントカメラ

④ コーナーカメラ(2ビュー)

⑤ USB 接続ジャック

USB 機器やiPodを再生する場合に必要です。

⑥ USB メモリーデバイスコード

⑦ iPod 接続コード

iPodを再生させる場合に必要です。

⑧ VTR コード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

※iPodで映像を再生させる場合にも必要となります。*1

⑨ AUX 接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

⑩ ワンセグ用フィルムアンテナ*1

地上デジタルテレビ放送(ワンセグ)を受信する場合に必要です。

⑪ オーディオ リモコン スイッチ

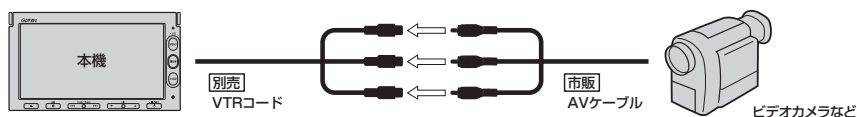
⑫ マイク*1

※マイクを付けると、内蔵マイクは無効になります。

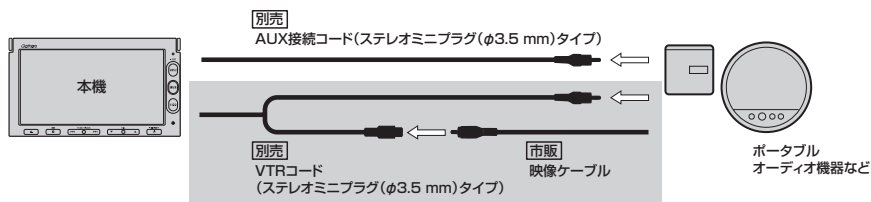
*1…VXM-145VSi/Vsの場合

※本機で利用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

■ ビデオカメラなどを使う



■ ポータブルオーディオ機器などを使う

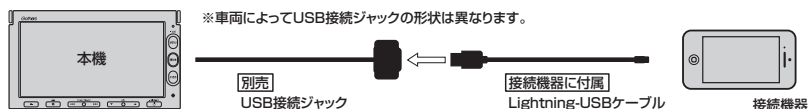


■ iPod / iPhoneを使う

Lightning コネクタの場合

※ビデオ再生には対応していません。

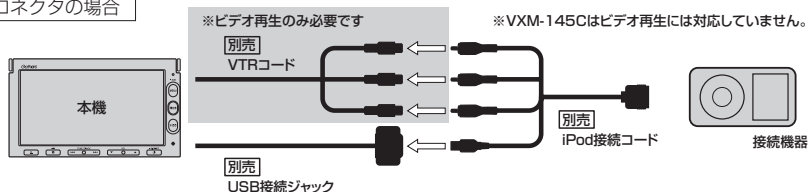
※車両によってUSB接続ジャックの形状は異なります。



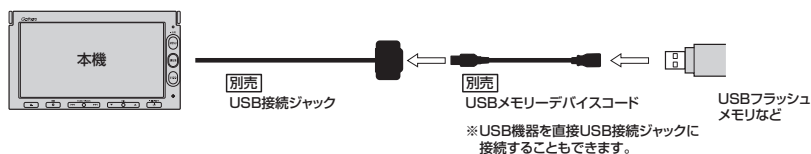
Dock コネクタの場合

※ビデオ再生のみ必要です

※VXM-145Cはビデオ再生には対応していません。



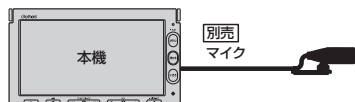
■ USB 機器を使う



※USB機器を直接USB接続ジャックに接続することもできます。

■ Siri Eyes Freeを使う

※VXM-145CはSiri Eyes Free機能には対応していません。



※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
-  はDVD フォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。
-  ETCは一般財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- "NaviCon" は株式会社デンソーの登録商標です。
-  およびマップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSはコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されており、分解したり、改造することも禁じられております。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSは、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSは、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をMPEG-4 Visual規格に準拠して(以下、MPEG-4ビデオ)記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for



iPod



iPhone

- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siri and Siri Eyes Free are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iOS 商標は、米国 Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。

商標など

-  vic[®] は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- VXM-145VSiおよびVXM-145VSは株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。

NetFront[®] Browser

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標、または商標です。
© 2013 ACCESS CO.,LTD. ALL rights reserved.
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

あ 行

アフターサービス	R-82
案内スタート	D-12
案内ストップ	D-12
イコライザー設定	H-16
イコライザー表示	I-2, J-2, K-2, L-2, M-8
一般情報(FM多重放送)	E-6
一般情報放送局(FM多重放送)	E-6
一般優先	D-3, D-11
迂回探索	D-16
映像調整(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い調整)	H-10
映像の表示について	H-2
エリア更新/エリア選局/エリア表示(FM/AMソース)	I-5
オーディオ リモコン スイッチ	R-30
オーディオをOFFする	H-3
オプションボタンの設定をする	G-2
主な仕様	R-79
音楽/画像/動画の切り替え	H-9
音質(イコライザー調整)	H-16
音声案内について	R-10
音声案内の音量調整(ナビゲーション)	F-18
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)	F-18
高速走行時の音声切替	F-19
合流案内/踏み切り案内	F-19
専用レーン案内	F-19
VICS案内	F-20
音声案内をやめる(ナビゲーション)	F-18
音声はそのまま画面を消す	H-13
音声はそのままナビゲーションを表示する	H-9
音量調整(オーディオモード)	H-8

か 行

カーマーク設定	F-15
外形寸法	R-78
回転ボタン	K-9
各部のなまえとはたらき	
BLUETOOTH Audio	M-8
CD・MP3/WMA	J-2
DVD	N-2
FM/AM	I-2
iPod	L-2
SD	K-2

USB	K-2
VTR/AUX	P-2
パネル部	A-11
ワンセグ	O-2
画質調整	H-10
初期値に戻す	H-13
画像再生(USB/SD機器)	K-8
画像ファイル	K-8
画像を回転させる/リストより画像を選ぶ	K-9
スライドショーを表示する	K-8
画像ファイル(JPEG)について	R-26
カメラ	
フロントカメラ/コーナークメラ設定	G-10
リアカメラ映像設定	G-17
画面を消す	H-13
キー操作音設定	G-23
軌跡	
削除する	F-32
表示/非表示	F-31
季節連動	F-4
基本操作	
SDカードを入れる/取り出す	A-14
映像の表示について	H-2
オーディオをOFFする	H-3
ソース選択	H-2
ディスクを入れる/取り出す	A-14
距離優先	D-3, D-11
クイック ルート探索	D-2, D-6
経由地に設定	D-9
経由地の入れ替え	D-10
経由地の変更/削除	D-10
経由地をスキップする	D-14
経由地を追加	D-9
現在地表示	B-8
現在地マーク	
位置を変更する	F-16
マークの種類を設定する	F-15
現在のルートを表示	D-12
交通情報	I-8
交通情報(VICS 情報)	E-3, E-4
交通情報(VICS 情報)表示レベル	E-4
コーナークメラ映像を表示する	G-10
故障かな?と思ったら	R-52
個人情報の取り扱いについて	R-5
コピー防止機能付CD	R-14
小文字に変換	A-16

さ 行

再生できるディスク	R-13
再生モード	H-5
再探索	D-17, D-18, D-20
削除	
軌跡を削除	F-32
自宅を削除	F-28
ハンズフリー	
・携帯電話を削除	Q-5
・発着履歴を削除	Q-24
評価履歴を削除	E-17
サラウンドの設定	H-18
サンプリング周波数	R-24
市街地図	
収録エリア	R-44
時間規制道路を考慮	D-20
時間運動	F-4
自車マーク	
位置を変更する	F-16
種類を設定する	F-15
システムアップ(別売品)	R-80
施設詳細	C-4
施設情報	
ジャンルから探す	C-12
周辺にある施設から探す	C-8
表示できる施設	C-10
名称で探す [名称 50 音]	C-2
自宅	B-12, D-6, G-2
自宅の位置修正	F-27
自宅登録	B-12
自宅へのルートを探索	D-6
自動再探索の設定	D-18
絞込み	C-6
車速運動音量設定	H-19
ジャンクションビュー(JCTビュー)	F-10
ジャンル(ナビゲーション)	C-12
住所検索	C-6
渋滞情報	E-5
渋滞地点	D-14
周辺施設検索	C-8
出発地・経由地・目的地の設定について	R-36
出発地に設定	D-7
出発地の変更	D-7
仕様	R-79
詳細情報ボタン	D-12

初期化

チャンネルリスト/プリセットリストを クリアする	O-18
登録データの初期化	G-24
ワンセグの設定の初期化	O-22
初期設定一覧	R-2
初期登録設定 (BLUETOOTH Audio)	M-2
自律航法とマップマッチング	R-7
スクロール(ナビゲーション)	B-5
スマートIC	D-18, D-20
スモール運動	F-4
スライドショー	K-8
設定	

ナビゲーション

・3D 表示の角度調整	F-3
・AUDIO 情報の表示設定をする	F-5
・ETC の各機能設定	G-7
・MAPCODE の表示設定をする	F-5
・VICS 表示設定	F-17
・緯度・経度の表示設定をする	F-5
・キー操作音の設定をする	G-23
・現在地(自車)マークの種類を設定する	F-15
・現在地(自車)マークの位置を変更する	F-16
・車速運動音量設定	H-19
・地図情報の表示設定をする	F-5
・地図色を設定する	F-4
・登録地点の表示設定をする	F-5
・平均時速を設定する	F-20
・メイン画面設定	F-2
・メンテナンス情報設定	G-3
・ランドマーク表示の設定をする	F-14
・リアカメラ映像設定	G-17
・ルート案内画面の設定をする	F-7
ハンズフリー初期登録設定	Q-2
ワンセグ	
・音声と字幕設定	O-20
・中継・系列局サーチ設定	O-19
設定ルート	D-12

選局

VICS	E-8
ラジオ	I-3
ワンセグ	O-12

選曲

タッチパネル部	
・BLUETOOTH Audio	M-9
・CD・MP3/WMA	J-3
・iPod	L-3
標準キーのボタンで選曲する	H-4
選曲モード	K-5, L-4, M-10
ソース選択	H-2

た 行

代表地点	B-12
探索開始	D-4, D-8
探索条件	D-3, D-11, D-18
地図	
市街地図の収録エリア	R-44
地図画面の表示について	A-6
地図ソフトについて	R-32
地図に表示される記号	R-42
地図の色を設定する	F-4
表示(方位)を切り替える	B-4
見かた	B-2
右画面に地図を表示する	B-14
地図を拡大／縮小する	B-7
地図をスクロール(地図を動かす)	B-5
地点	
位置修正	F-27
削除する	F-28
登録する	B-13
並び替えをする	F-25
編集	F-21
地点を探す	
緯度・経度から	C-19
施設のジャンルから	C-12
住所から	C-6
周辺にある施設から	C-8
地図から	C-18
電話番号から	C-4
登録地点から	C-16
マップコードから	C-17
名称から	C-2
郵便番号から	C-18
地名入力	C-6
昼夜切替	H-12
著作権について	A-8
続きメモリー機能(DVD)	N-4
ディスクを入れる／取り出す	A-14
ディスプレイの角度調整	A-14
データを初期化	
SDカード／学習結果／出荷状態に戻す	G-24
ハンズフリー(アドレス帳)	Q-22
テナント情報	B-11
デモ走行	D-15
デモ走行中止	D-15
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26
動作モード(音楽／画像／動画)切替	H-9
盗難多発地点案内	F-13
道路切替	B-10

登録

携帯電話登録	Q-2
地点を登録する	B-13
登録地点の編集	F-21
並び替えをする	F-25
登録ルート	B-9, D-13
道路メイン(地図カスタマイズ)	F-4
独立情報番組(FM多重放送)	E-6
時計表示	H-8

な 行

ナビゲーション画面を表示する	H-9
ナビ設定	F-1
入力	
文字／数字の入力方法	A-16

は 行

パーソナルHPと同期	F-30
ハイウェイモード	B-15, F-9
パスキー(BLUETOOTH)	M-2, M-6, M-7
バックライト(画面を消す)	H-13
早戻し／早送り	H-4
ハンズフリー	
BLUETOOTH情報を見る	Q-9
初期登録設定	Q-2
・携帯電話登録	Q-2
・携帯電話のメモリを本機に登録する	Q-12
・携帯電話の割り当てを切り替える	Q-6
・自動接続設定	Q-7
・通話設定(音量の設定)	Q-11
・デバイス名／パスキー変更	Q-9
・優先接続設定	Q-8
通話中に地図画面を表示する	Q-24
電話を受ける	Q-14
・着信音量設定	Q-14
・通話拒否(終了)	Q-16
・通話切替(携帯⇄カーナビ)	Q-17
・電話に出る	Q-14
・トーン入力する	Q-18
・保留にする	Q-15
・ミュートする	Q-16
電話をかける	Q-19
・アドレス帳から	Q-22
・電話番号から	Q-19
・リダイヤルから	Q-20
・履歴から	Q-21

登録した携帯電話の詳細情報を見る	Q-5
登録した携帯電話を削除する	Q-5, Q-6
発着履歴を削除する	Q-24
微調整をする(地図をスクロールする)	B-6
ビットレート	R-24
表示項目	
MAPCODE／地図情報／AUDIO 情報／	
緯度・経度／登録地点表示	F-5
表示できる施設	C-10
フェード・バランス調整	H-14
フェリーを優先	D-18
フォルダ(オーディオ関係)	J-2, R-23
複数探索	B-11, D-4, D-8
複数ルート探索	D-3, D-8
プリセット機能(ラジオ)	I-2
フロントカメラ映像を表示する	G-10
平均時速設定	F-20
別売品(システムアップ)について	R-80
方面看板	R-34
保証／アフターサービスについて	R-82
保存	
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書きをする	E-12
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
ボタン消	N-2, P-2
本機で再生できるディスク	R-13
本体情報	E-13

ま 行

マーク順	C-16
マーク詳細情報(VICS)	E-5
毎年通知	G-4
マップコード	C-17, D-4
マルチセッション	R-25
右画面	
3D 表示の角度調整	F-3
地図／情報を表示する	B-14
右画面の設定をする	F-2
右画面表示	B-14
メイン画面／右画面の設定をする	F-2
メッセージ表示について	R-69
メニュー画面	
ワンセグメニュー画面について	O-4
メニュー画面	A-12
メンテナンス情報の設定	G-3
モード切替ボタン	H-9, K-2

目的地

緯度・経度で目的地を探す	C-19
施設のジャンルから目的地を探す	C-12
住所で目的地を探す	C-6
周辺にある施設から目的地を探す	C-8
地図から目的地を探す	C-18
電話番号で目的地を探す	C-4
登録地点で目的地を探す	C-16
表示できる施設	C-10
マップコードで目的地を探す	C-17
名称で目的地を探す(施設 50 音)	C-2
郵便番号で目的地を探す	C-18
履歴から目的地を探す	C-7
目的地周辺	C-8
目的地に設定	D-4, D-6, D-7
目的地の入れ替え	D-10
目的地の追加	D-8
目的地の変更	D-7
目的地までのルートを探索する	D-2, D-4, D-6
文字／数字	
入力方法	A-16
文字訂正	A-17

や 行

有料道路	D-5, D-6, D-8, D-12, D-18, D-19, E-5, R-11
有料優先	D-3, D-11
用語説明	R-74

ら 行

ラジオ

FM／AM を切り替える	I-3
エリア選局	I-5
選局する	I-3
操作画面の見かた	I-2
道路交通情報を聞く	I-8
道路交通情報をメモリーする	I-8
プリセットボタンに放送局をメモリーする	I-7
ランドマーク表示設定	F-14
リアカメラ映像を設定する	G-17
カメラ映像について	G-21
警告文の位置を上げる	G-19
リアカメラ映像を表示する	G-17
リアカメラガイドの見かた	G-20
リアカメラガイドを表示する	G-18
リアカメラの次回表示ビュー設定	G-22
立体アイコン	R-43

リピート／ランダム／スキャン／	
シャッフル再生	H-5
ルート案内時の注意点	R-38
自車マークの表示誤差について	R-40
ルート案内設定	F-7
AV画面中の音声案内割り込み設定	F-12
ETCレーン表示	F-8
JCTビュー表示	F-10
交差点拡大図	F-11
交差点情報	F-7
全ルート表示	F-7
盗難多発地点案内	F-13
ハイウェイモード表示	F-9
方面看板表示	F-12
目的地方向表示	F-13
リアル3D表示	F-11
ルート情報表示	F-8
ルート色	F-8
ルート案内をストップ／スタートする	D-12
ルート学習	D-18, D-20
ルート削除	D-13
ルート情報	B-15, F-8
ルート設定	D-2
ルート全表示	D-12
ルート沿い	C-8, C-12
ルート探索	D-3, D-6
ルート探索条件設定	D-18
ルート編集	B-9, D-7, D-8, D-10, D-11
ルート保存	D-13
ルートを変更する	D-7
レベル1(文字)表示	E-4
レベル2(簡易図形)表示	E-4
レベル3(地図)表示	E-4
連動情報番組(FM多重放送)	E-6

わ 行

ワンセグ

視聴エリアの変更をする	O-8
初期スキャン／再スキャン	O-10
設定	
・音声と字幕設定	O-20
・受信レベル確認	O-21
・設定を初期化する	O-22
・中継・系列局サーチ設定	O-19
選局する	
・エリア呼出／プリセット呼出	O-17
・手動／自動	O-12

・チャンネルリスト／プリセットリスト	O-14
・プリセット	O-13
タッチパネル部について	O-3
チャンネルリスト／プリセットリストを	
クリアする	O-18
中継・系列局サーチをする	O-6
バナー表示	O-2
番組表を見る	O-7
プリセットボタンにメモリーする	O-16
マルチサービスについて	R-29
ワンセグについて	R-28
ワンセグの画像について	R-29
ワンセグの番組受信について	R-29
ワンセグメニューについて	O-4

数字・アルファベット

1 ルート探索	D-2, D-3, D-4
3D地図	B-4
3D表示の角度調整	F-3
AAC	K-2, R-17, R-22
AUX	P-1
AV MENU画面	H-2
BLUETOOTH Audio	
再生／操作画面の見かた	M-8
初期登録設定	M-2
・BLUETOOTH 情報を確認／変更する	M-6
・自動接続設定	M-5
・デバイス名変更	M-6
・登録機器の切り替え	M-4
・登録機器の削除	M-3
・登録機器の情報を見る	M-3
・パスキー変更	M-7
・優先接続設定	M-5
選曲モード選択	M-10
トラックリストより再生	M-9
CD・MP3／WMA	
再生／操作画面の見かた	J-2
トラックリストより再生	J-3
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
フォルダ選択(MP3／WMA)	J-2
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
CPRM対応	R-13
DSP(サラウンドの設定)	H-18
DVD	R-13
DVDの初期設定について	N-18
DVDプレーヤーを使う	N-3
・DVDメニューを使う	N-7
・VRモードディスクの再生	N-16

・ 音声／字幕言語切替	N-13
・ サーチ選択(好きな所から再生)	N-11
・ 再生一時停止	N-5
・ 再生停止	N-4
・ 時間表示切替	N-14
・ スロー戻し／スロー送りをする	N-6
・ タイトルメニューを使う	N-9
・ チャプターを戻す／進める	N-5
・ リピート再生	N-15
再生／操作画面の見かた	N-2
早戻し／早送りをする	H-4
ecoドライブ	
グラフ表示	E-16
設定する	E-15
評価を開始する	E-14
評価を止める	E-15
右画面に表示する	B-14
履歴を削除する	E-17
履歴を見る	E-16
ETC	R-11
ETC 情報を見る	E-2
各機能を設定する	G-7
予告案内について	R-11
ETC 情報	E-2
ETC レーン表示	R-11
ETC レーン表示設定	F-8
FM多重	E-3, E-4, E-6, E-7
GPS	
GPS 受信表示	B-3
GPSについて	R-6
アンテナについて	A-7
受信しにくい場所について	R-6
受信するまでの時間について	R-6
H.264	K-2, R-26
internavi 情報	E-13
internavi 設定について	G-2
internavi ルート	D-2, D-11
iPod	
iPod を接続する	L-13
再生一時停止	L-9
再生／操作画面の見かた	L-2
選曲モード選択	L-4
トラックリストより選曲	L-3
早戻し／早送りをする	H-4
ビデオモード(ビデオ再生)	L-10
標準キーのボタンで選曲する	H-4
モード切替	L-10
リピート／シャッフル再生	H-5, H-7
iPod／iPhone 対応可能機種	R-18
JPEG	K-2

JPEG(画像ファイル)	R-26
MP3	K-2, R-17, R-22
MPEG4	K-2, R-17, R-26
NaviCon	C-20
QQ コール	
表示する	Q-25
利用する	Q-25
Quick MENU	D-6, D-14, I-2, J-2, K-2, L-2, M-8, N-2, P-2, R-2
Quick MENU の設定	B-9
Quick 機能	B-10
SDHC	R-16
SD カード	A-14, R-16
SD カードの取り扱いかた	R-15
SD カードを入れる／取り出す	A-14
再生可能なデータ(ファイル)について	(音楽／画像／動画) R-22, R-26
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
SD カードから地点を登録する	F-29
Sound(イコライザー設定)	H-16
Sound ボタン	I-2, J-2, K-2, L-2, M-8
USB	
画像ファイル(JPEG)について	R-26
接続する	K-7
接続をやめる	K-7
選曲モード選択	K-5
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	R-26
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リストより再生	K-3
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
VICS	E-4
VICS 情報の受信について	R-9
エリア選局	E-10
概要／お問い合わせ	R-48
緊急情報を見る	E-7
契約約款	R-50
自動選局	E-8
自動選局をやめる	E-9
手動選局	E-9
表示設定	F-17
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書き	E-12
プリセット(保存)の呼び出し	E-12
VICS 自動再探索	D-20

VICS 渋滞情報(矢印表示)	E-5
VICS 情報マーク	E-5
VICS タイムスタンプボタン	D-14, E-3, E-5
VICS マーカー一覧表	E-5
VR モードディスク	N-16, R-13
VTR / AUX を使う	P-1
WMA	K-2, R-17, R-22

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間:9時～12時、13時～17時／

但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く)

発売元 株式会社 ホンダ アクセス
〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地